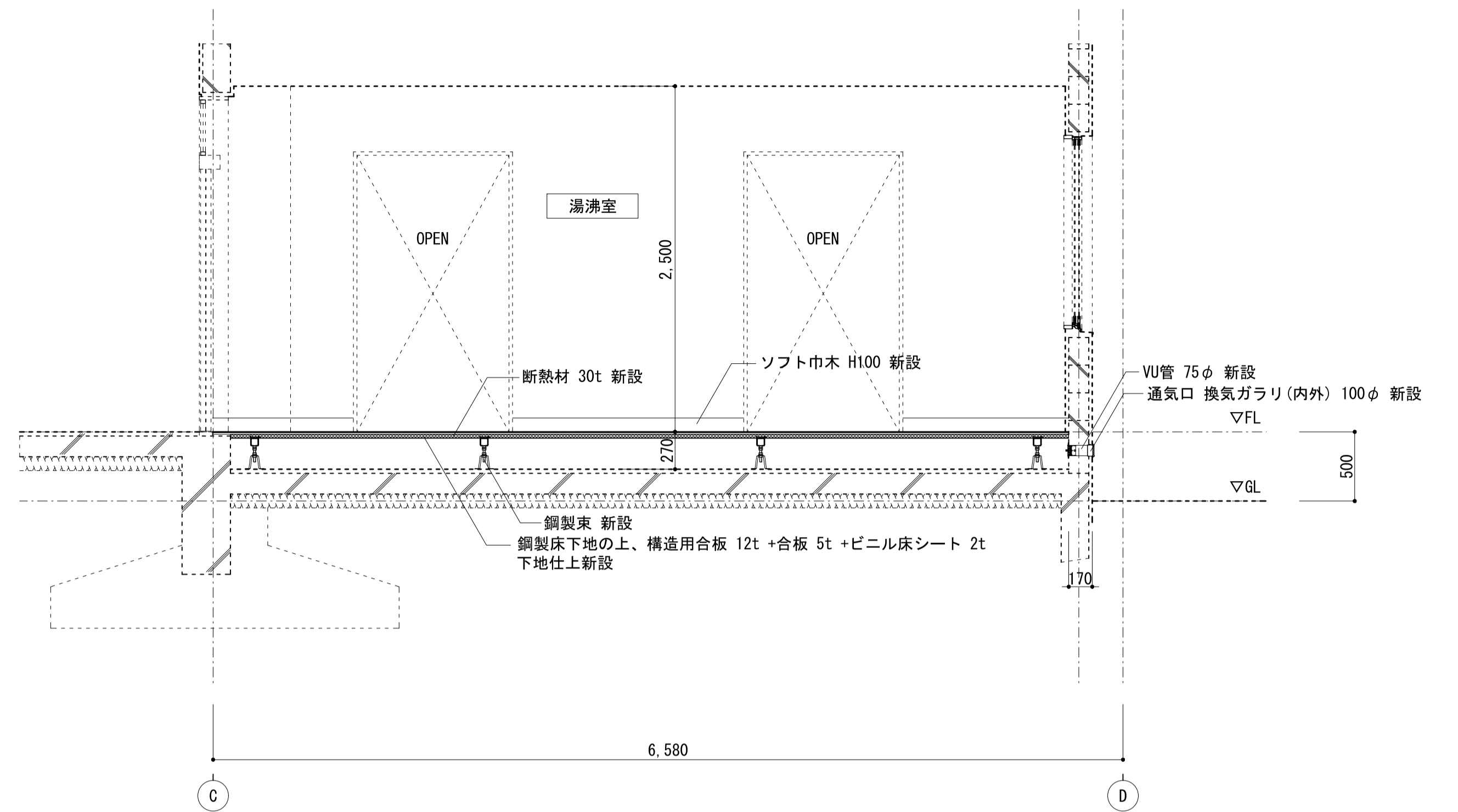
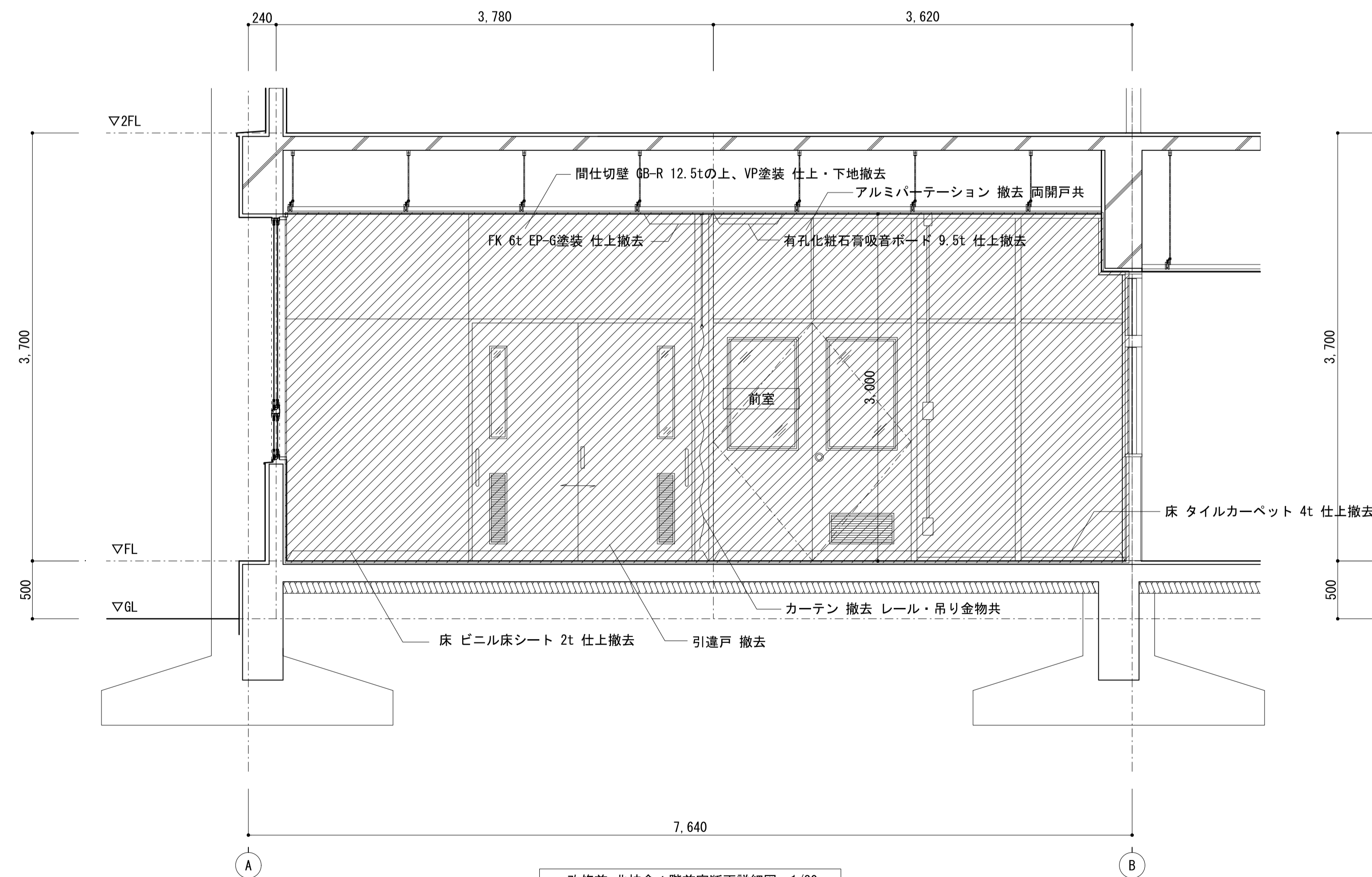


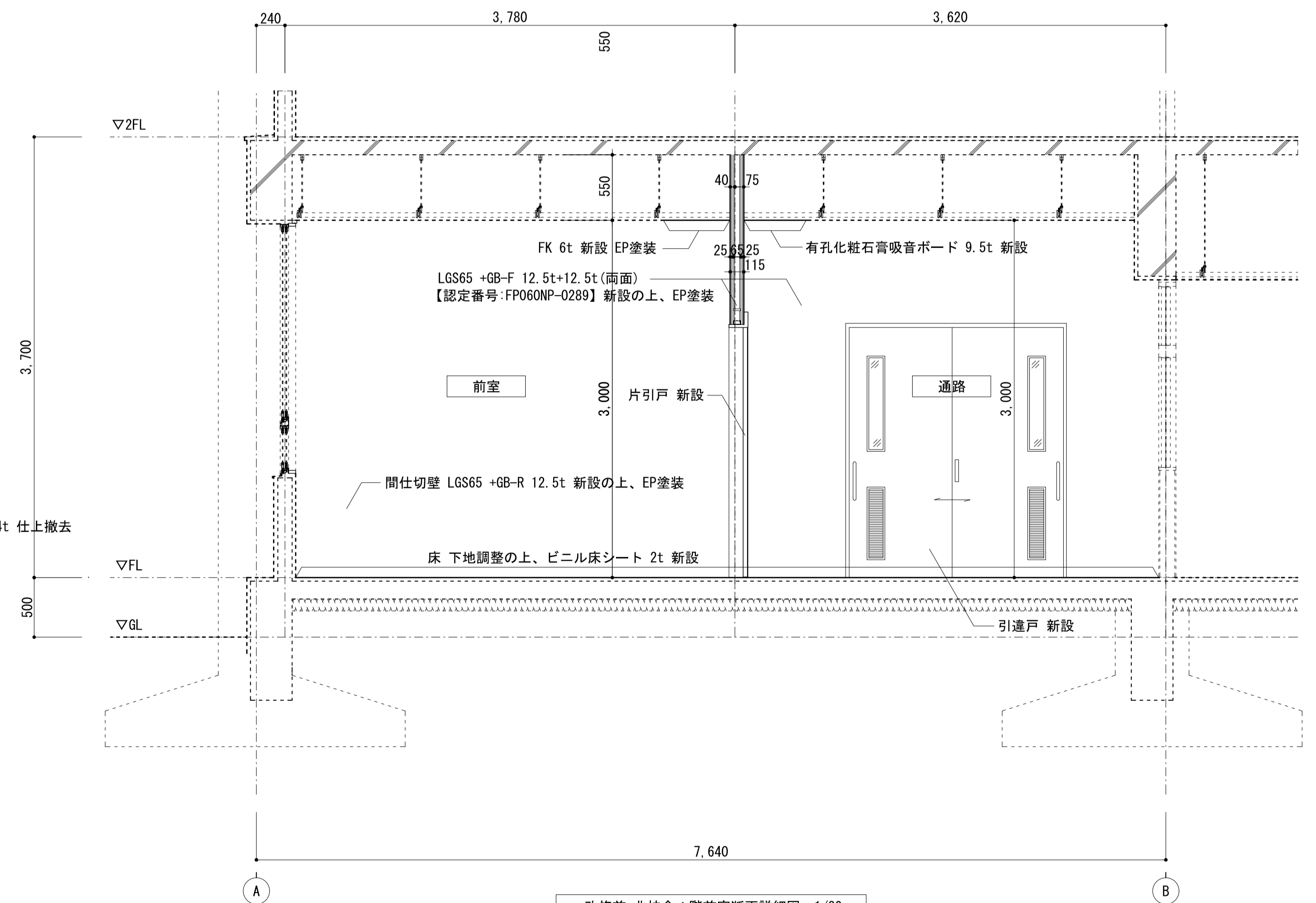
改修前 南校舎湯沸室断面詳細図 1/30



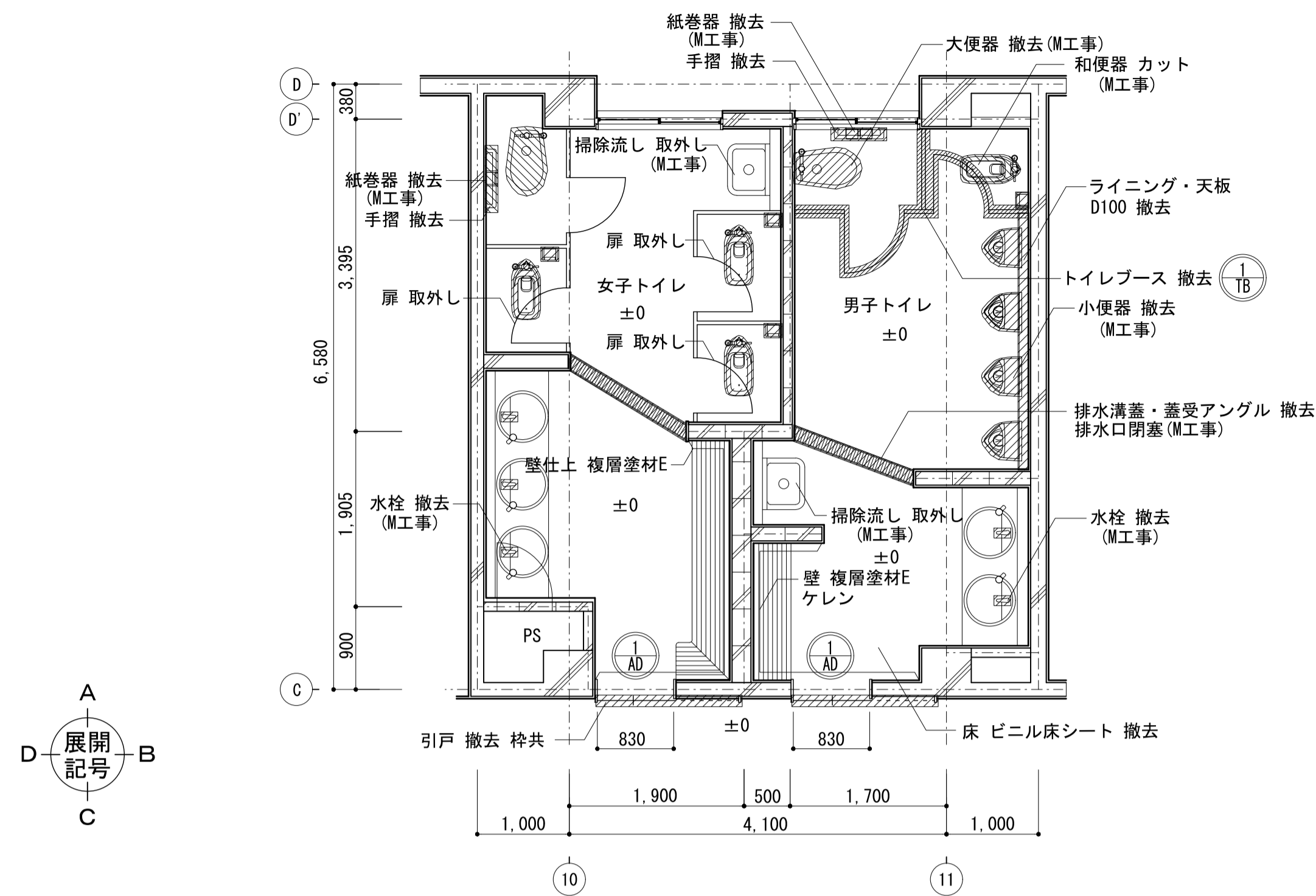
改修後 南校舎湯沸室断面詳細図 1/30



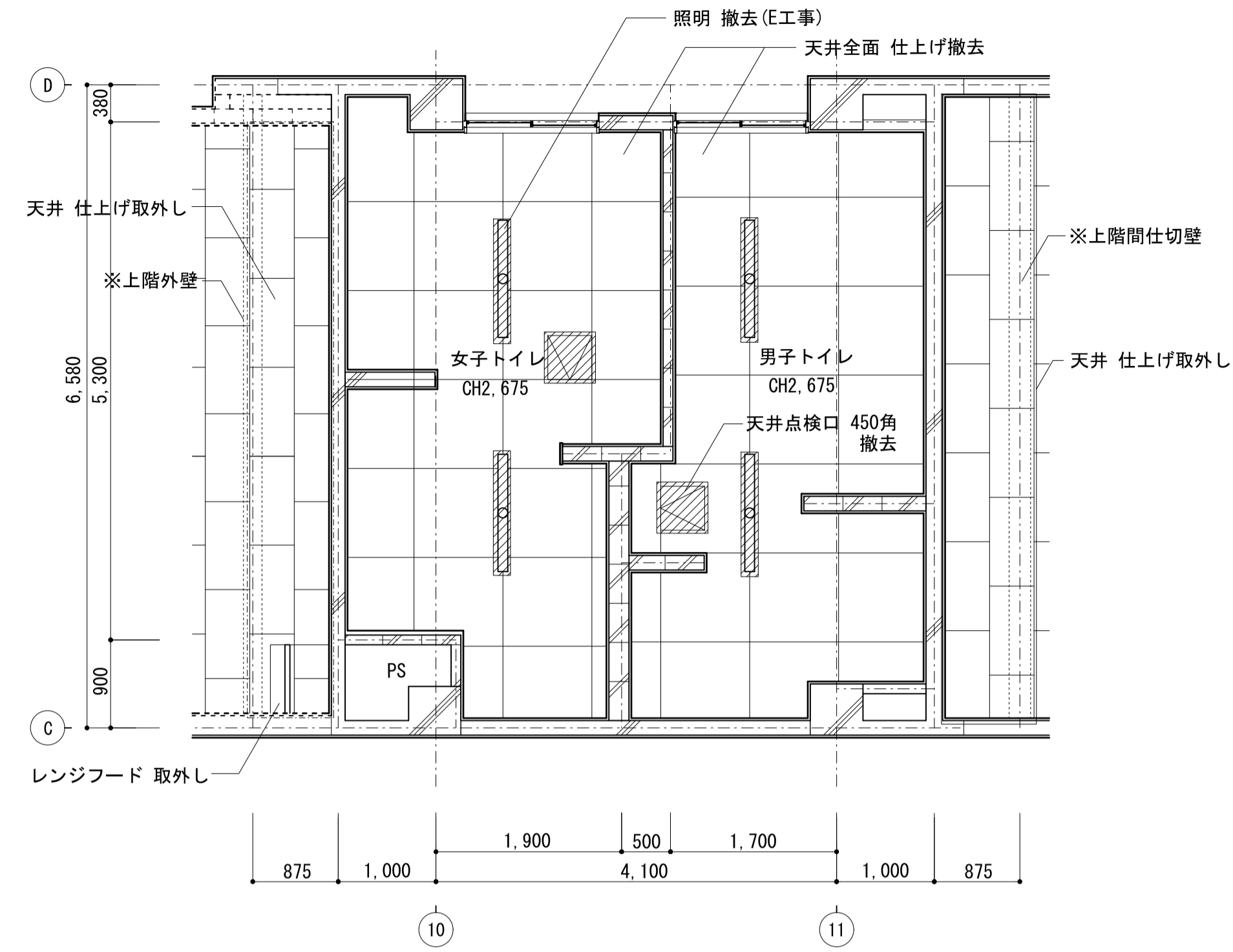
改修前 北校舎1階前室断面詳細図 1/30



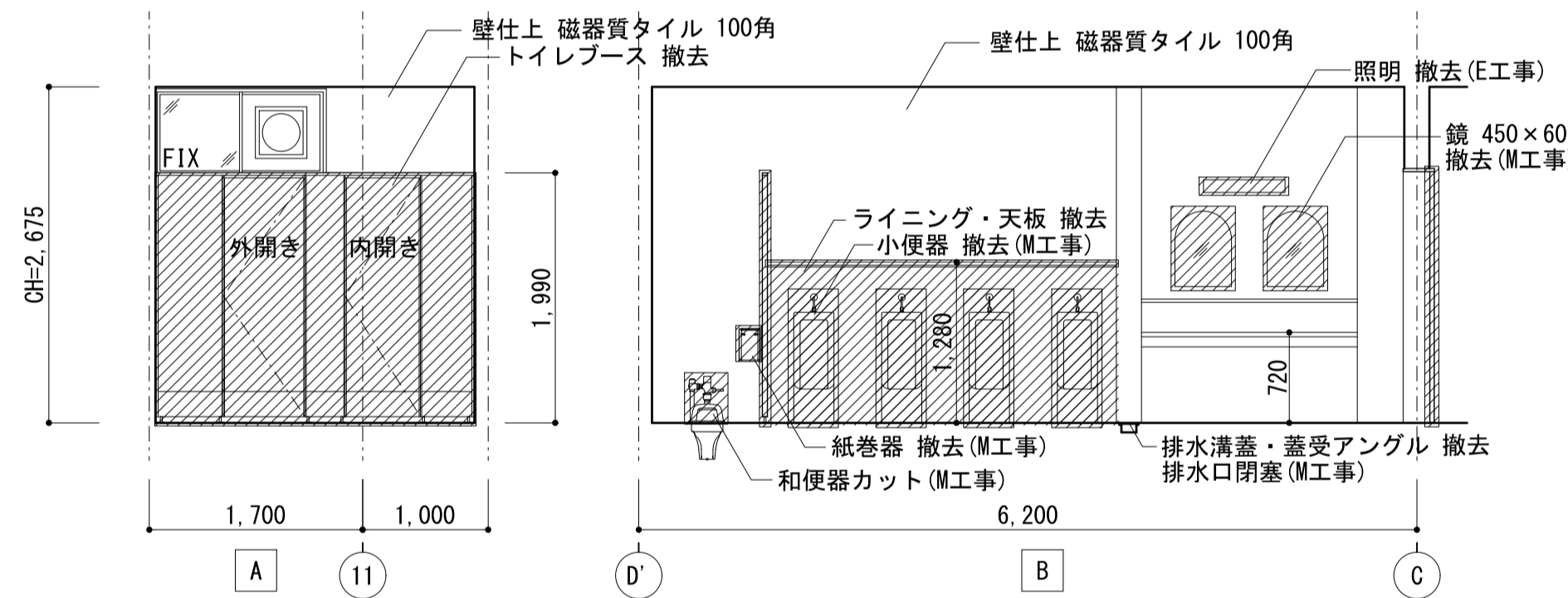
改修前 北校舎1階前室断面詳細図 1/30



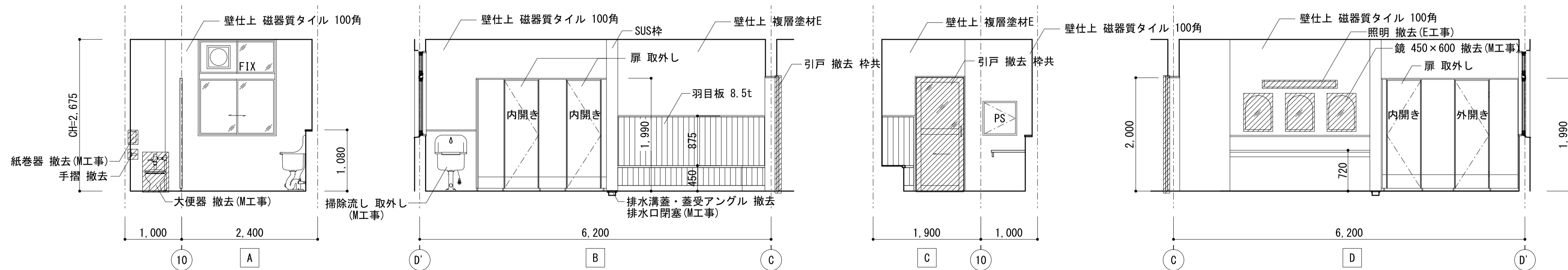
改修前 南校舎 1階トイレ 平面詳細図 1/50



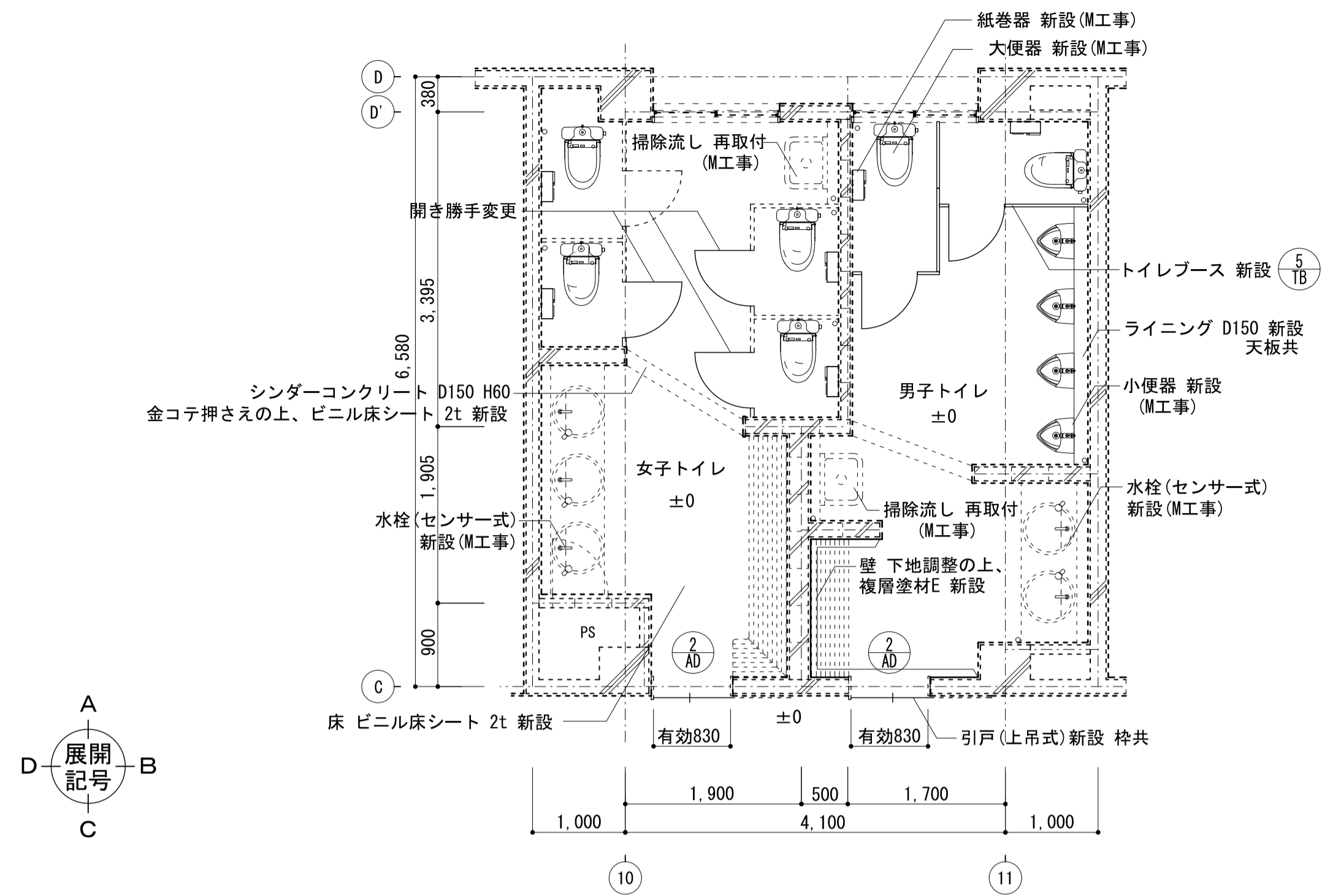
改修前 南校舎 1階トイレ 天井伏図 1/50



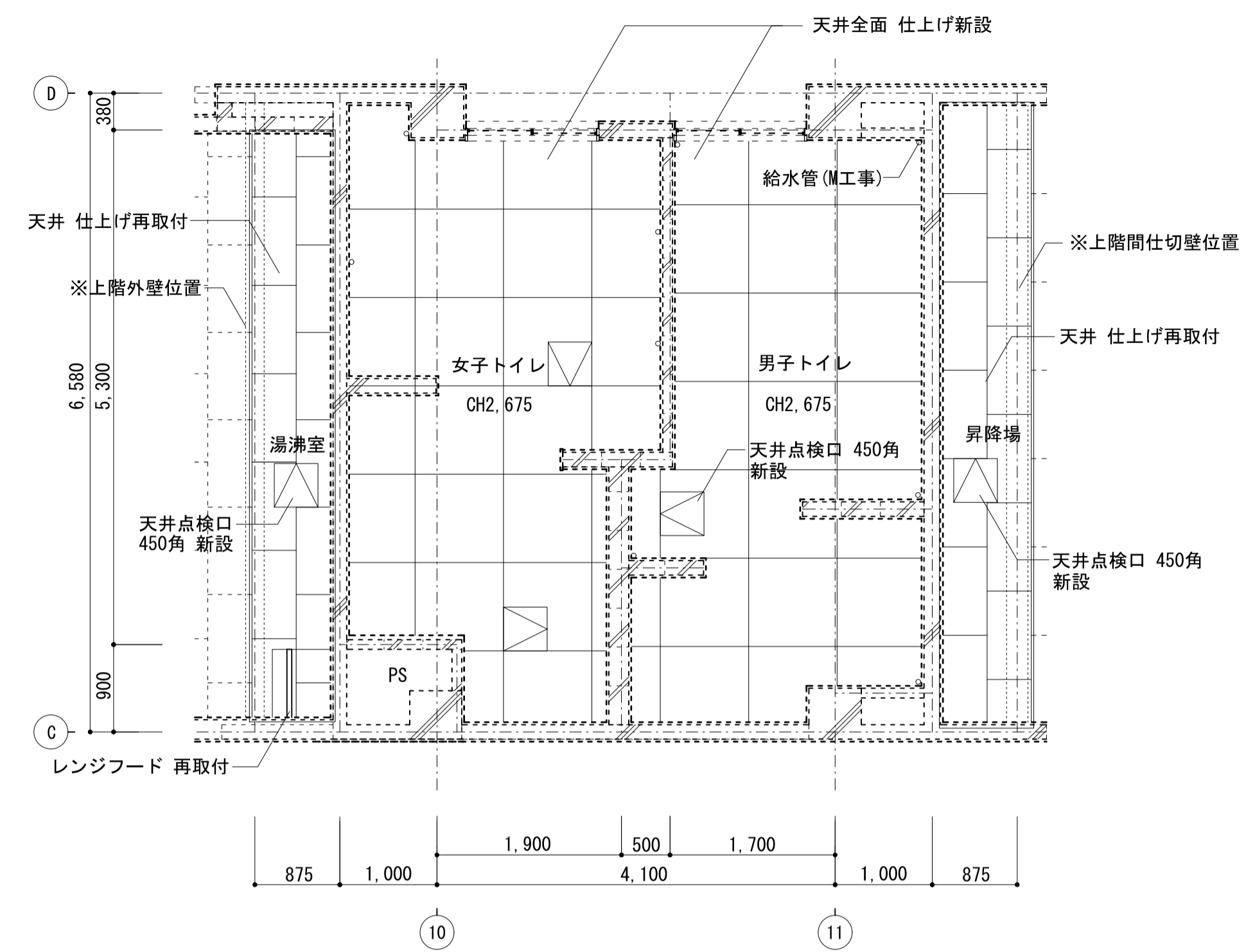
改修前 南校舎 1階男子トイレ 展開図 1/50



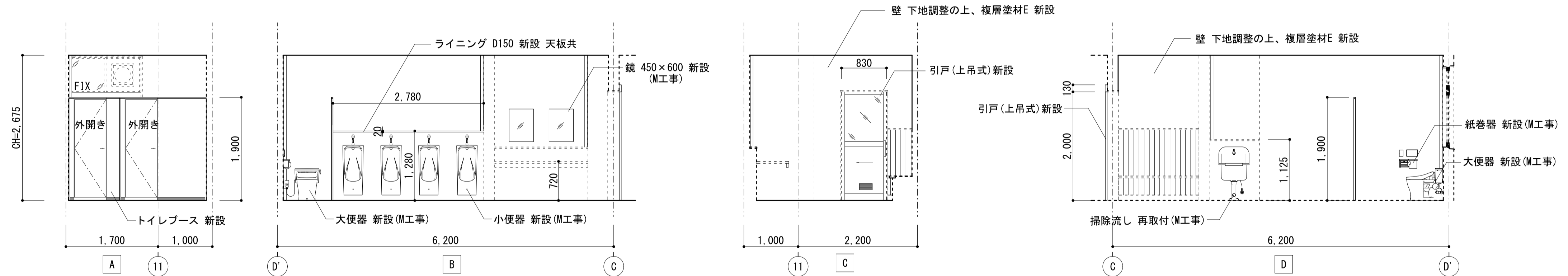
改修前 南校舎 1階女子トイレ 展開図 1/50



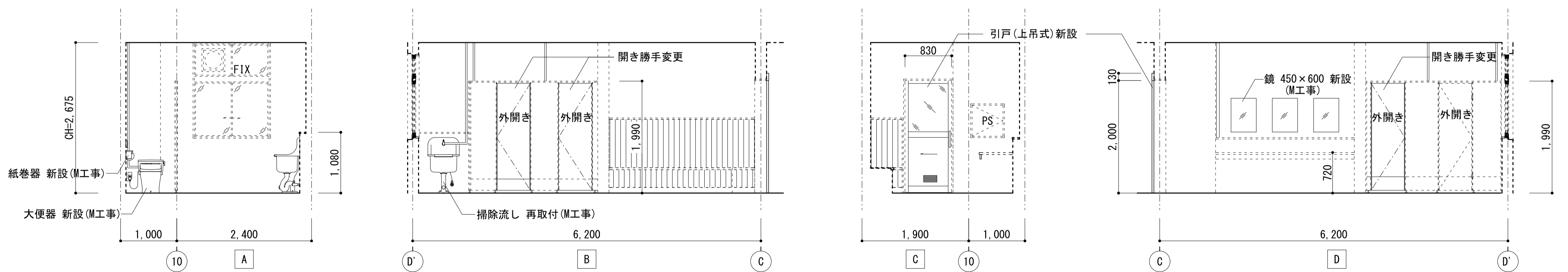
改修後 南校舎 1階トイレ 平面詳細図 1/50



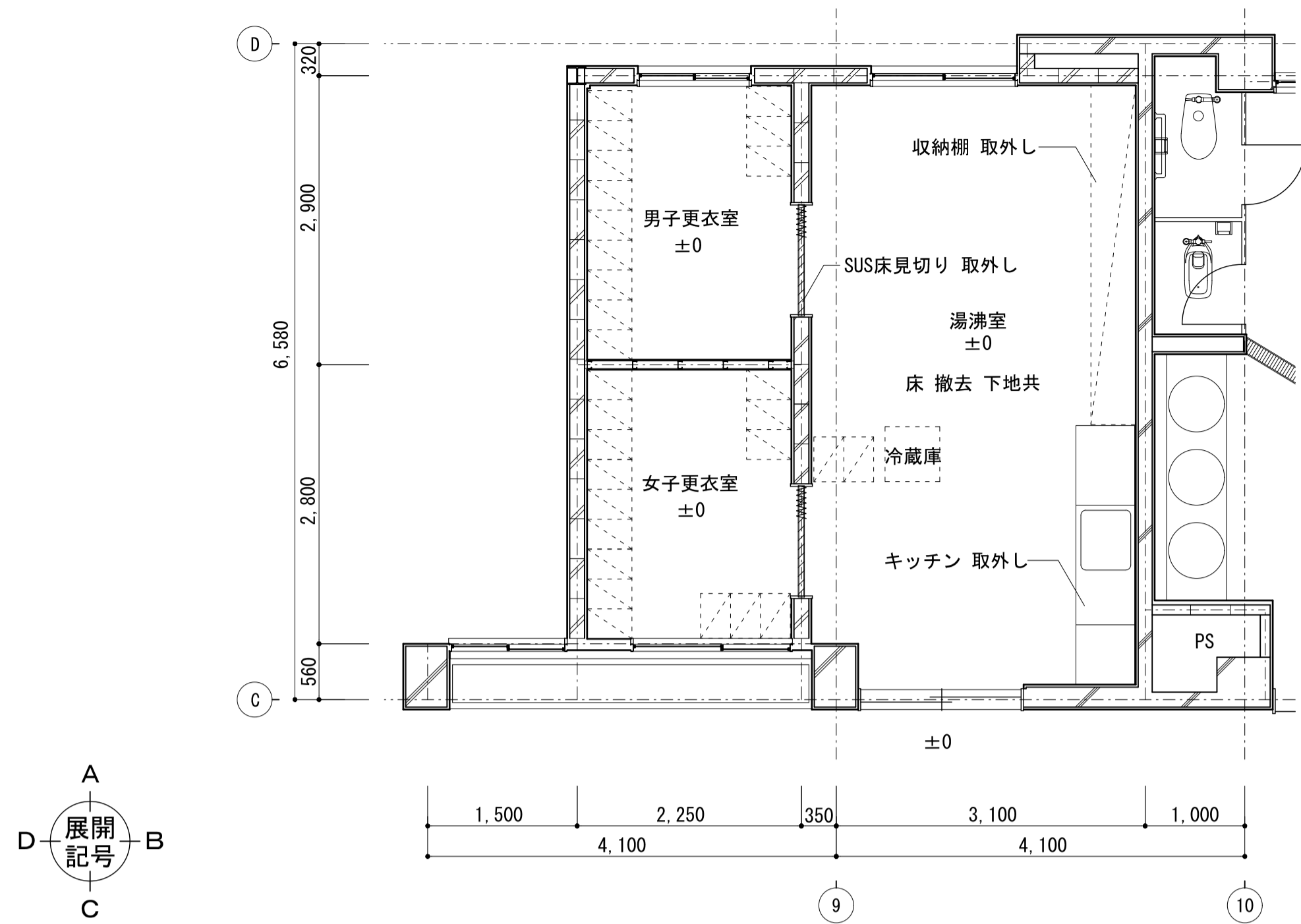
改修後 南校舎 1階トイレ 天井伏図 1/50



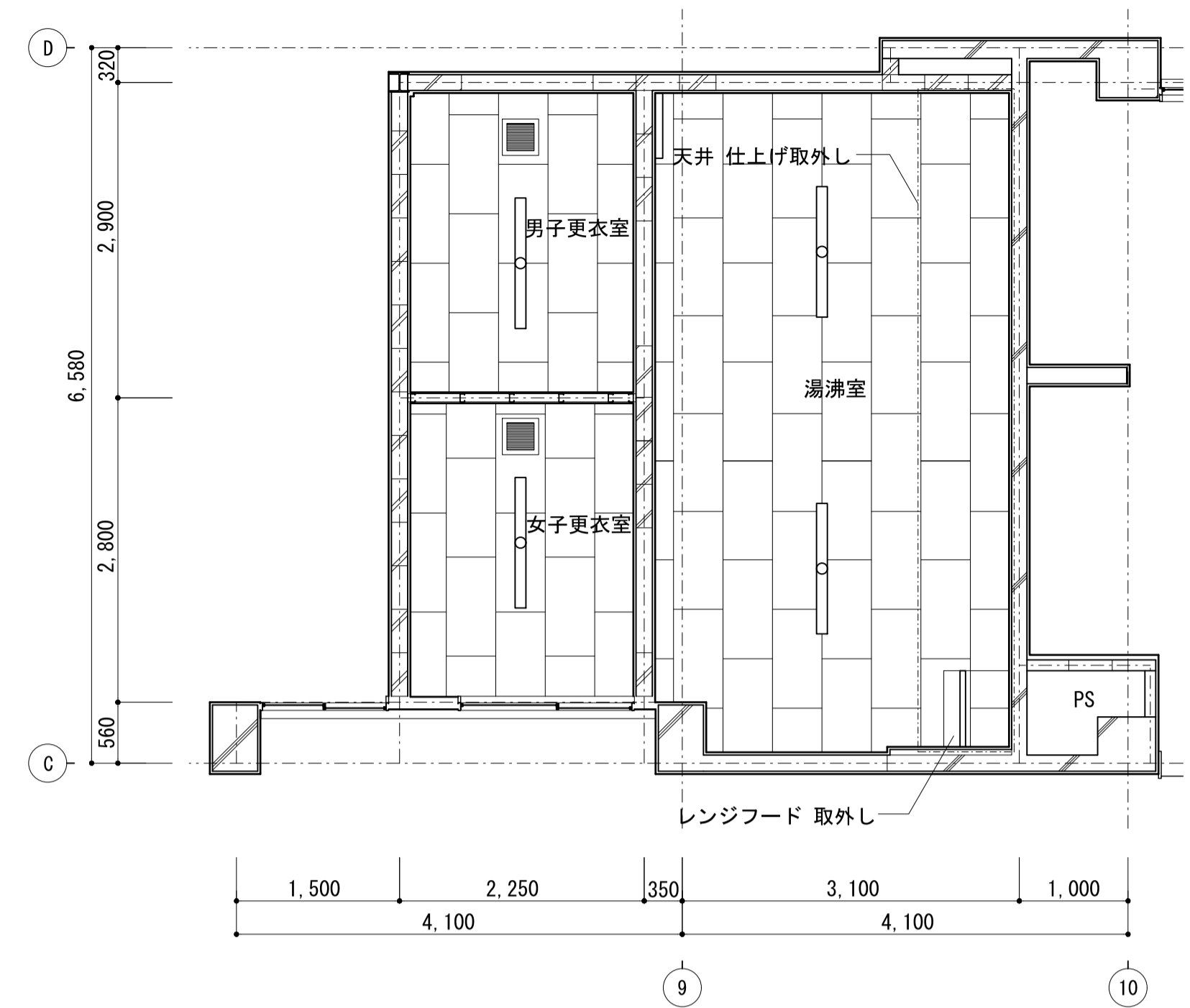
改修後 南校舎 1階男子トイレ 展開図 1/50



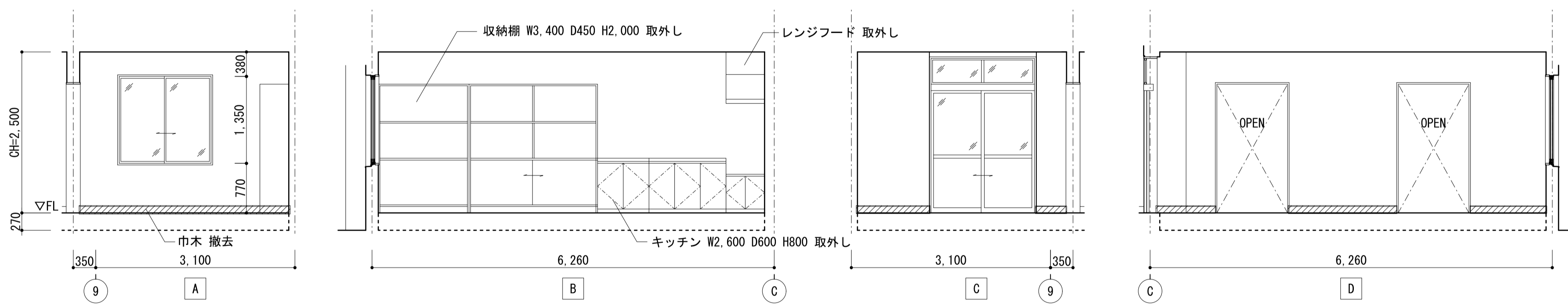
改修後 南校舎 1階女子トイレ 展開図 1/50



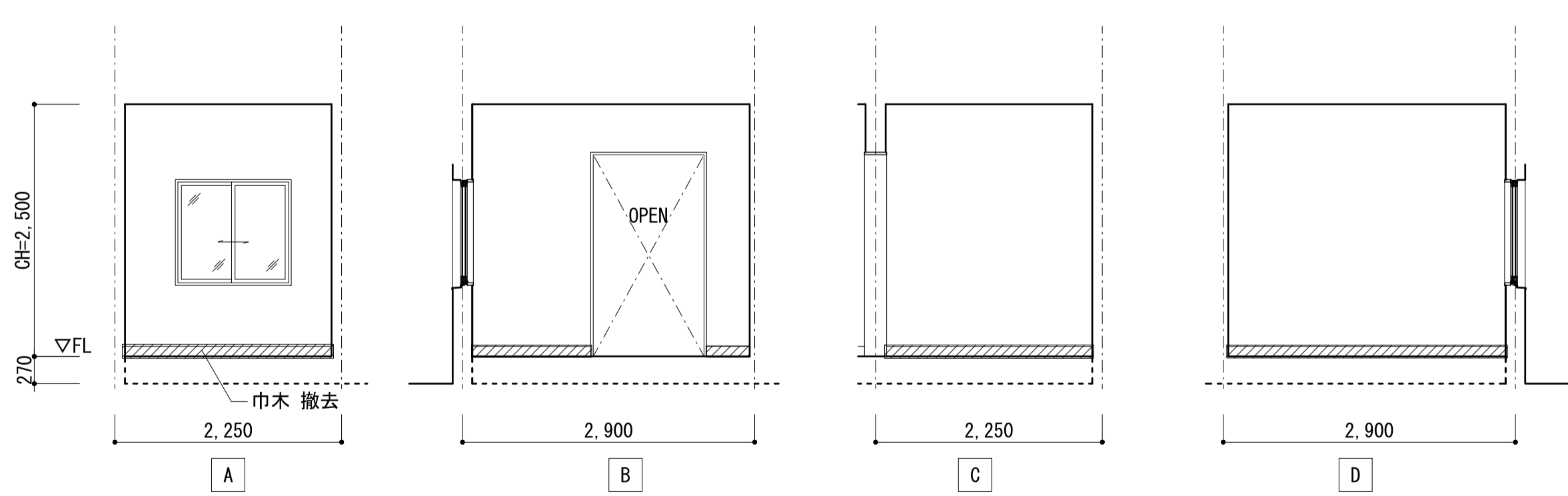
改修前 南校舎1階湯沸室・更衣室 平面詳細図 1/50



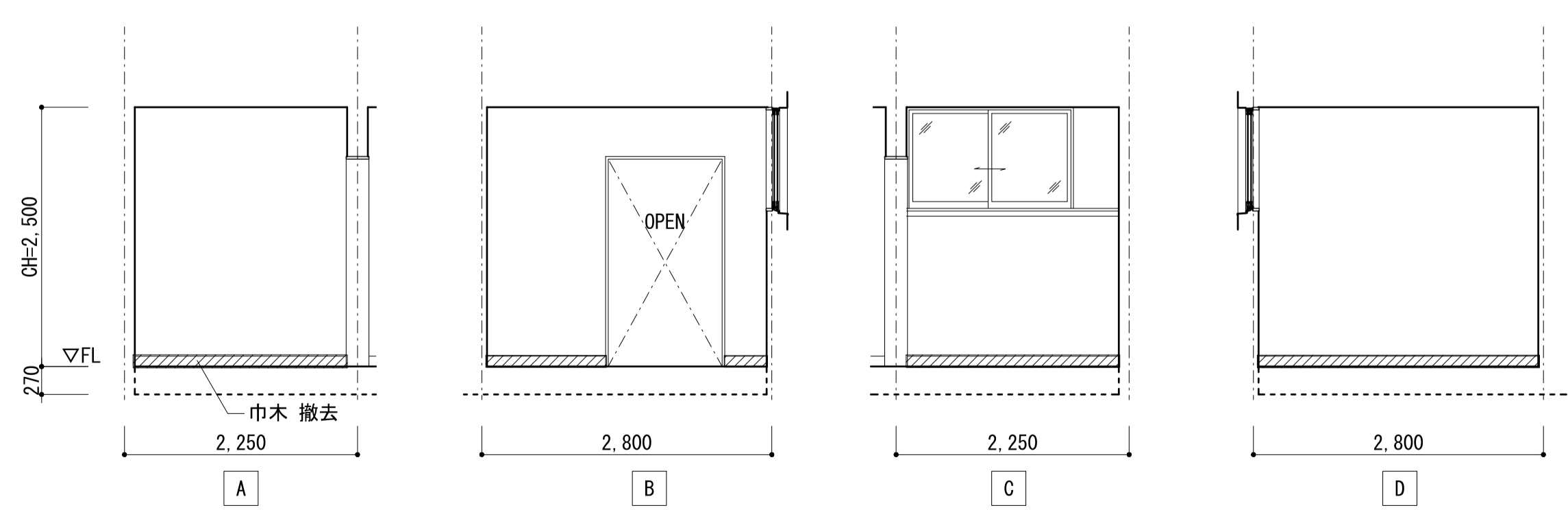
改修前 南校舎1階湯沸室・更衣室 天井伏図 1/50



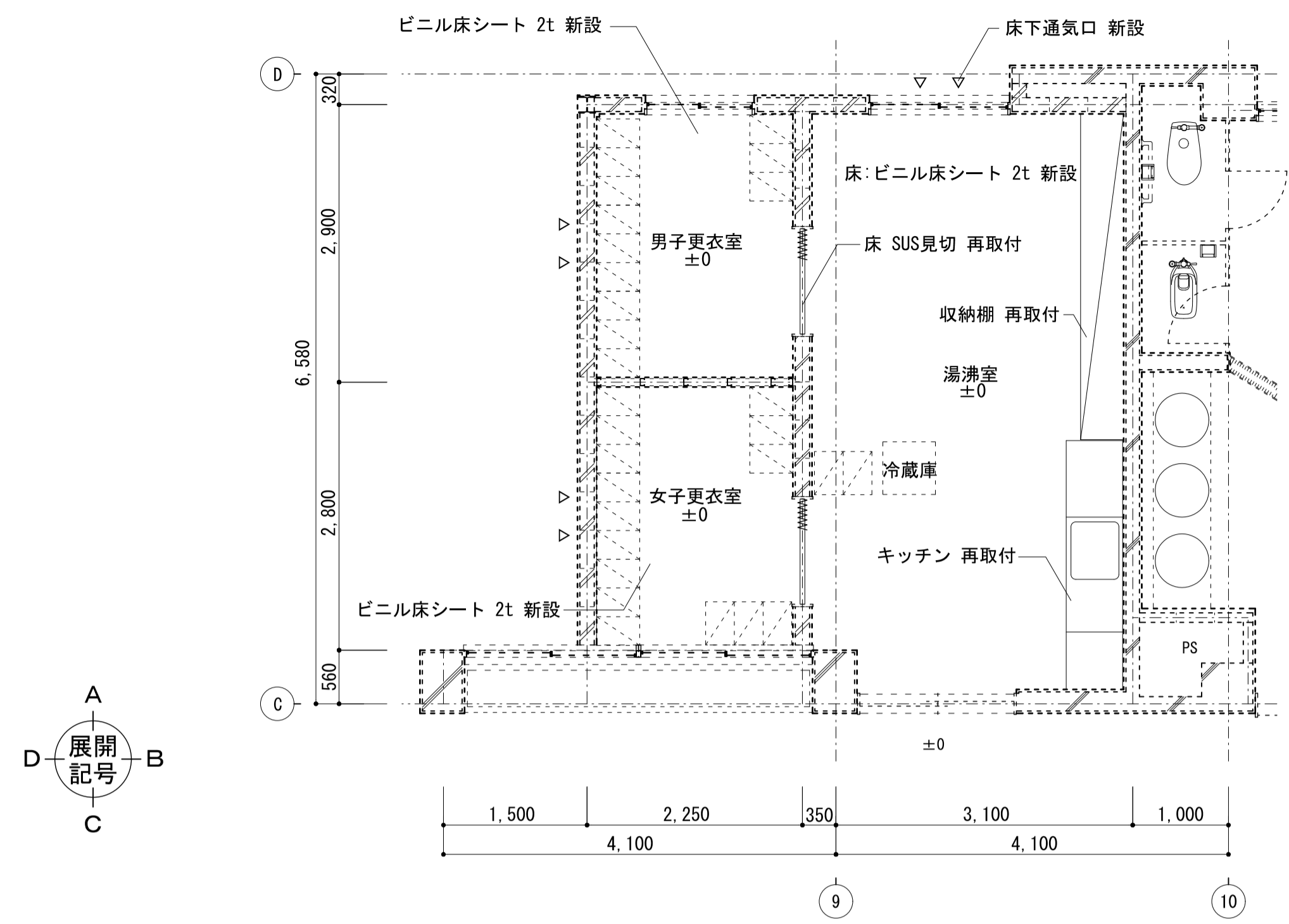
改修前 南校舎1階 湯沸室 展開図 1/50



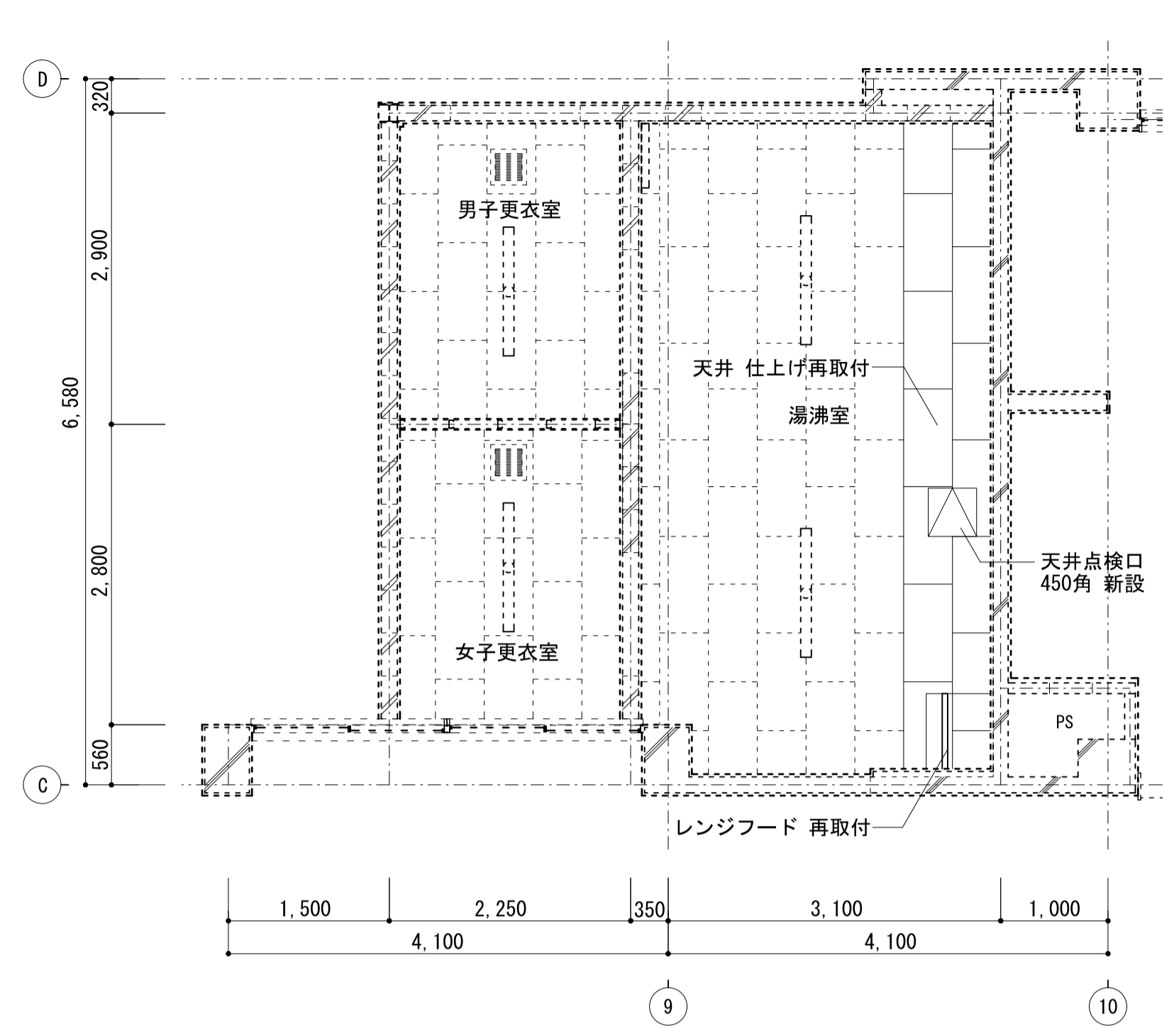
改修前 男子更衣室 展開図 1/50



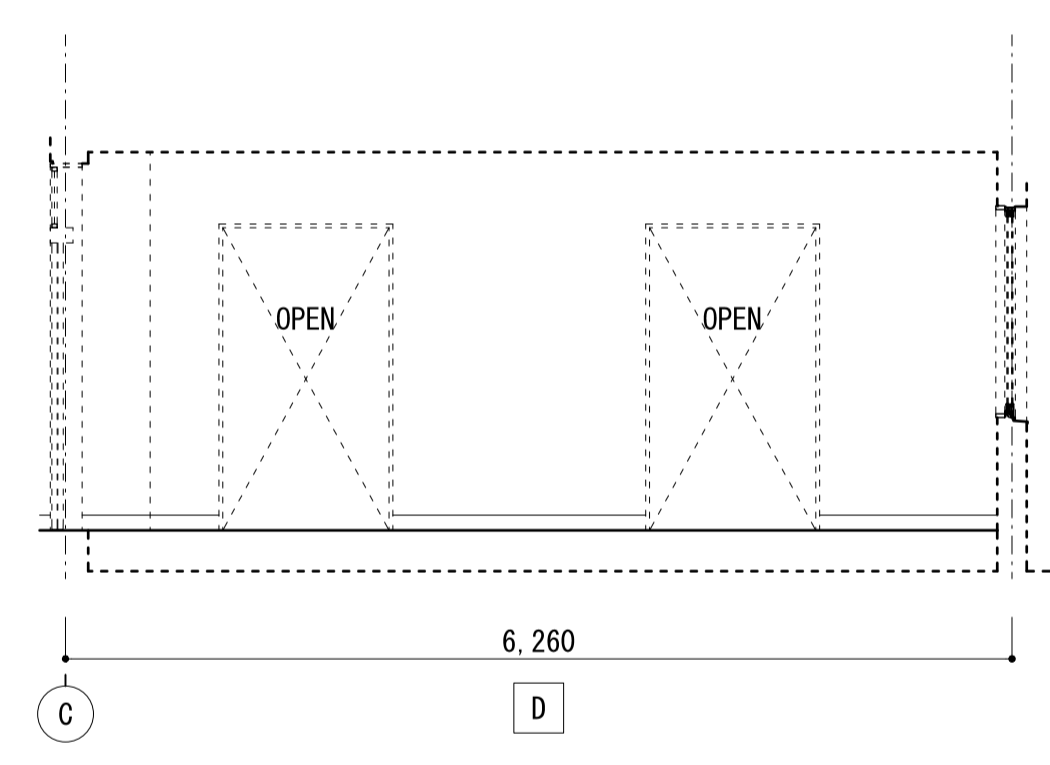
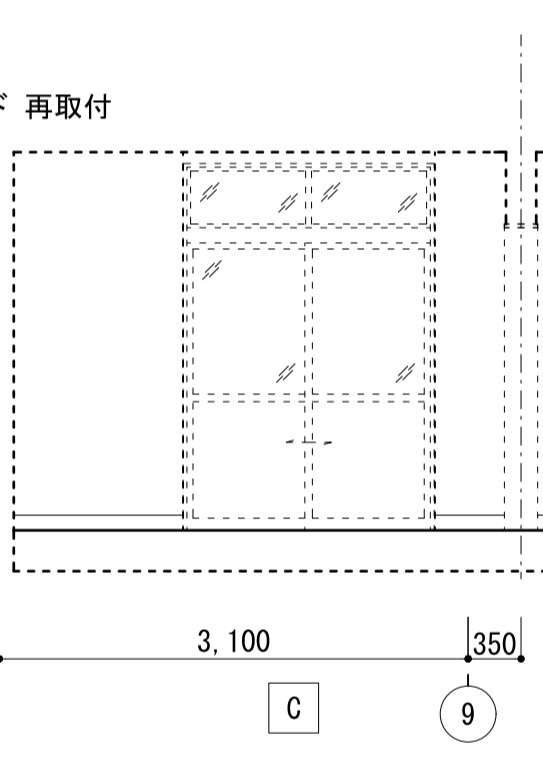
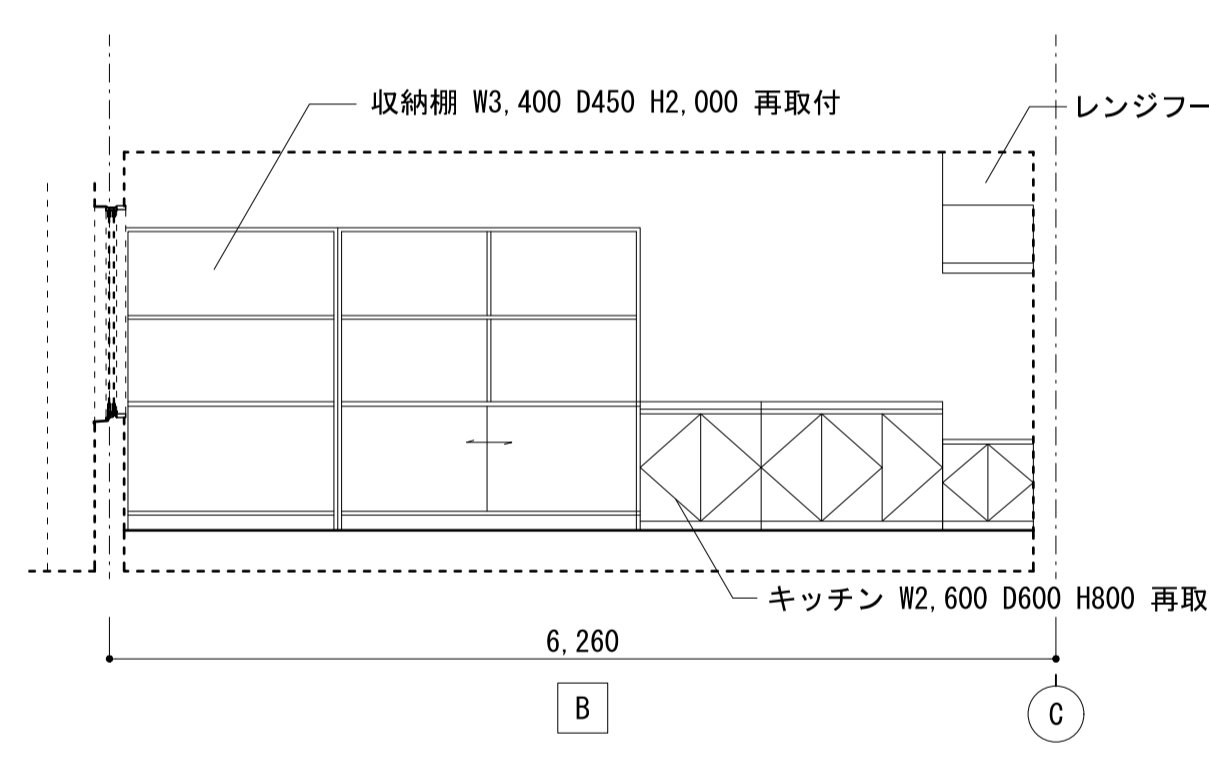
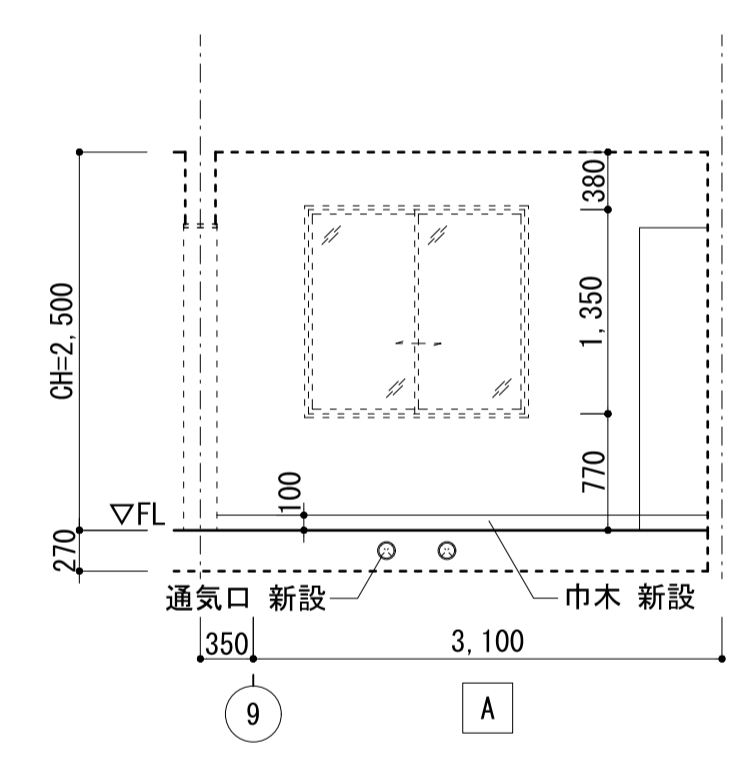
改修前 女子更衣室 展開図 1/50



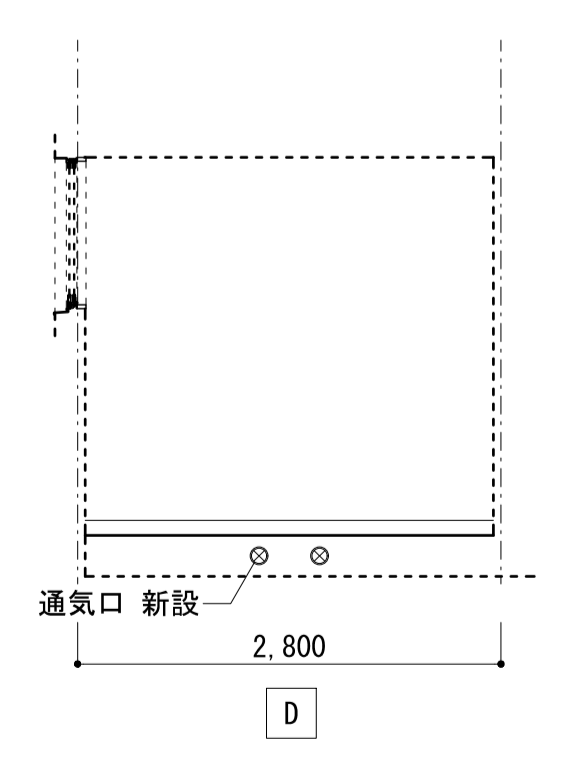
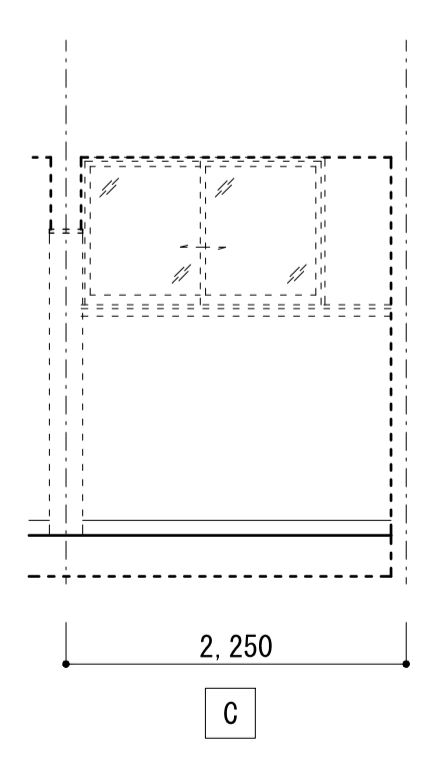
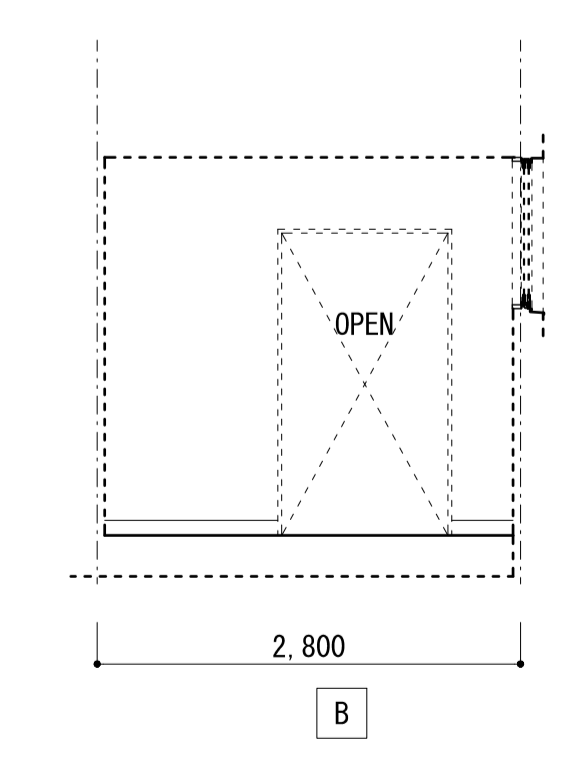
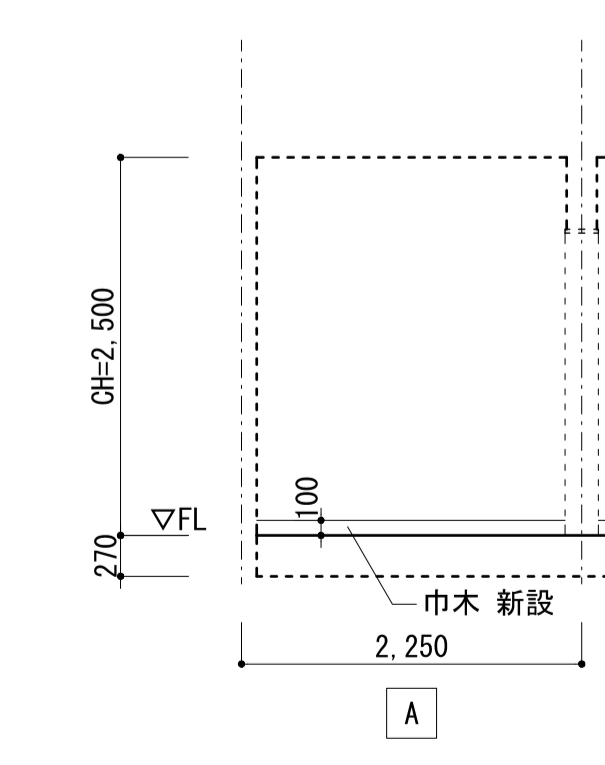
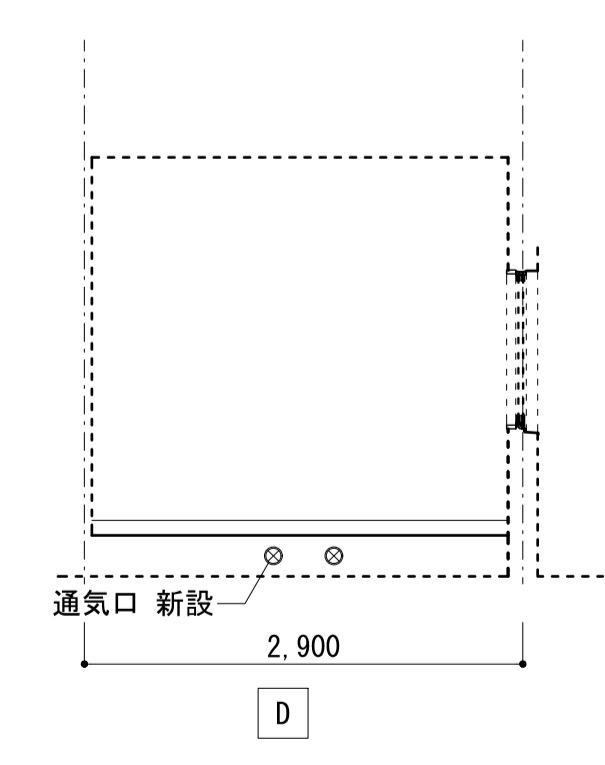
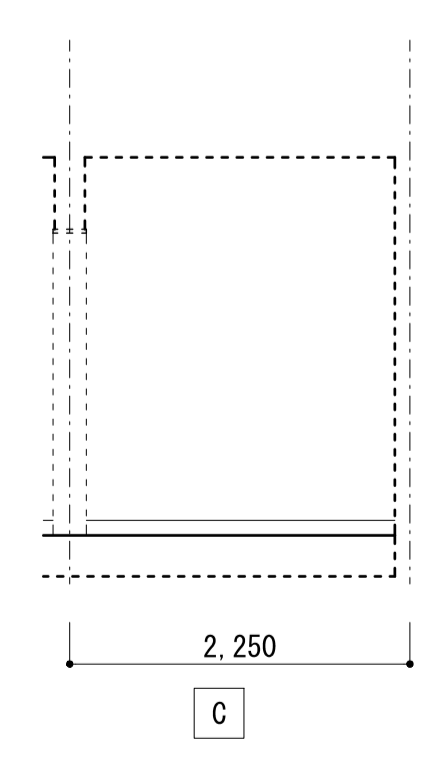
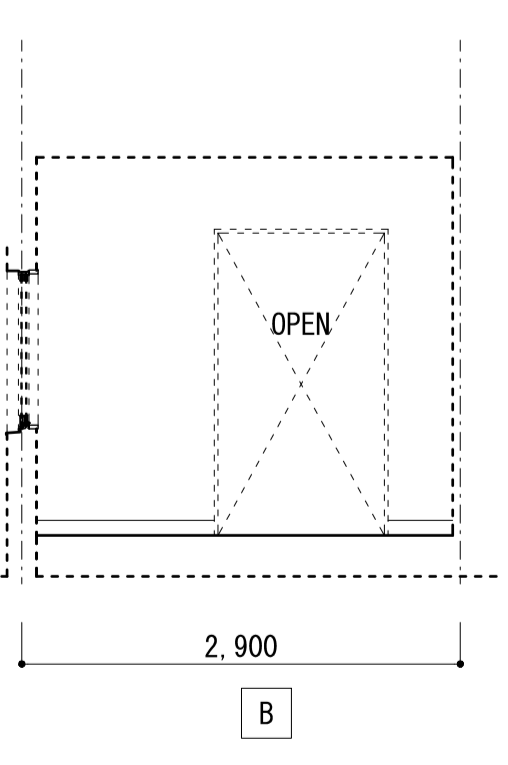
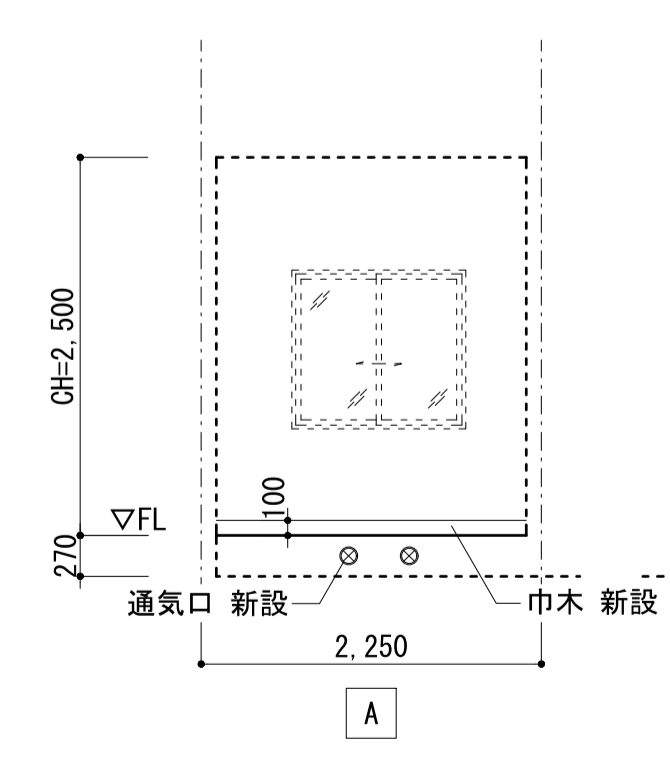
改修後 南校舎1階湯沸室・更衣室 平面詳細図 1/50 【凡例】 ▽ 床下通気口 新設



改修後 南校舎1階湯沸室・更衣室 天井伏図 1/50

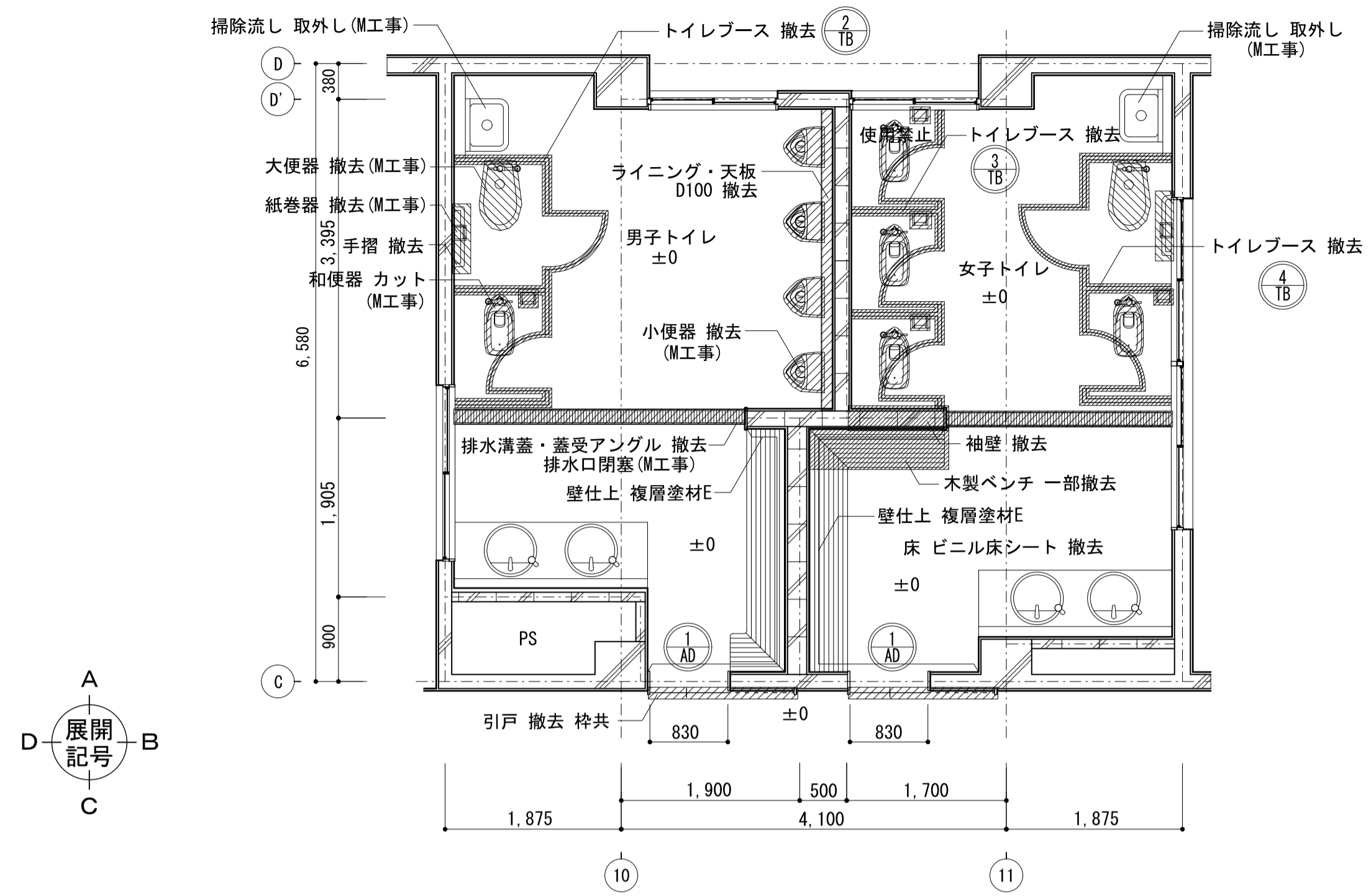


改修後 南校舎1階湯沸室 展開図 1/50

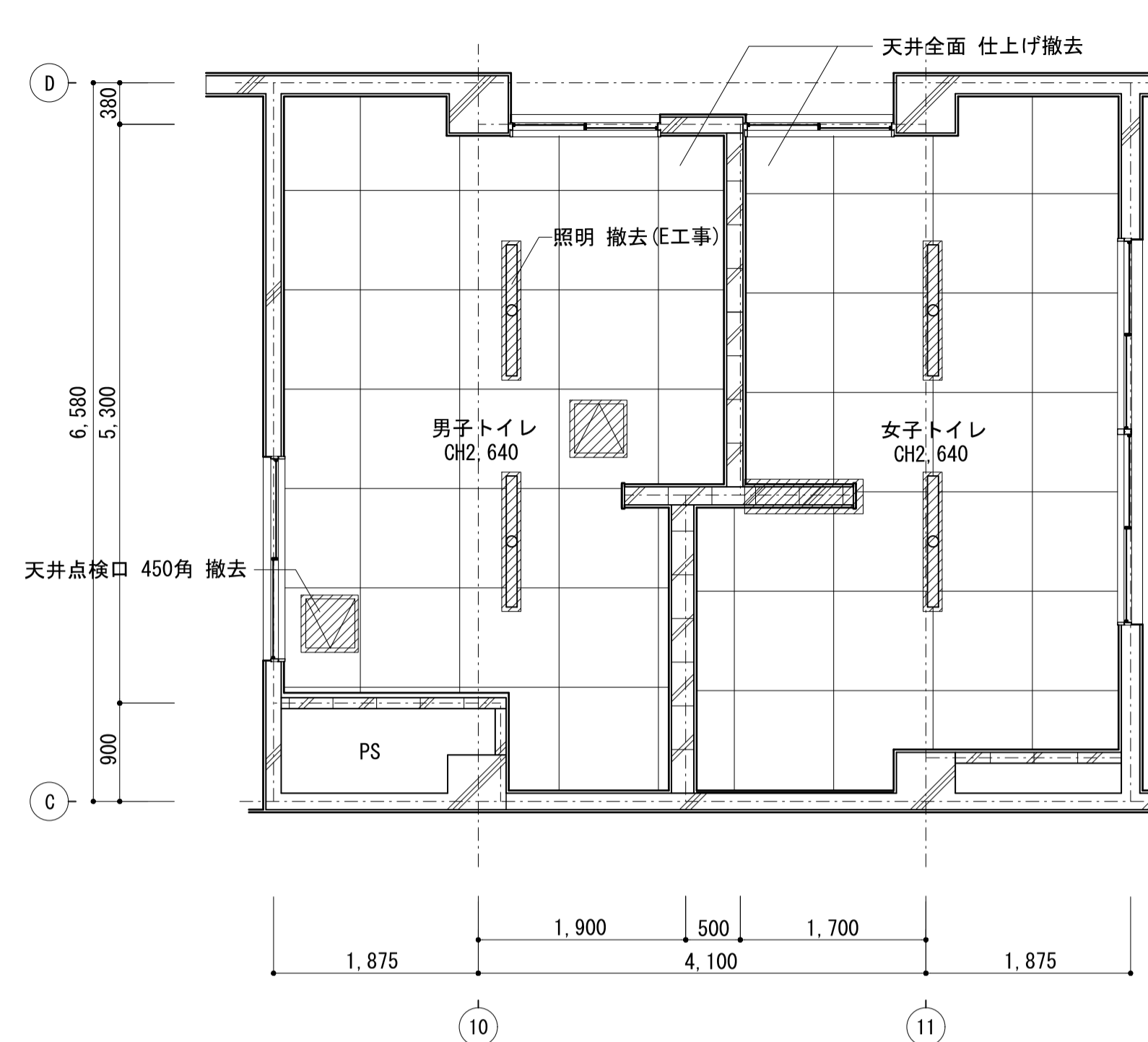


改修後 南校舎1階男子更衣室 展開図 1/50

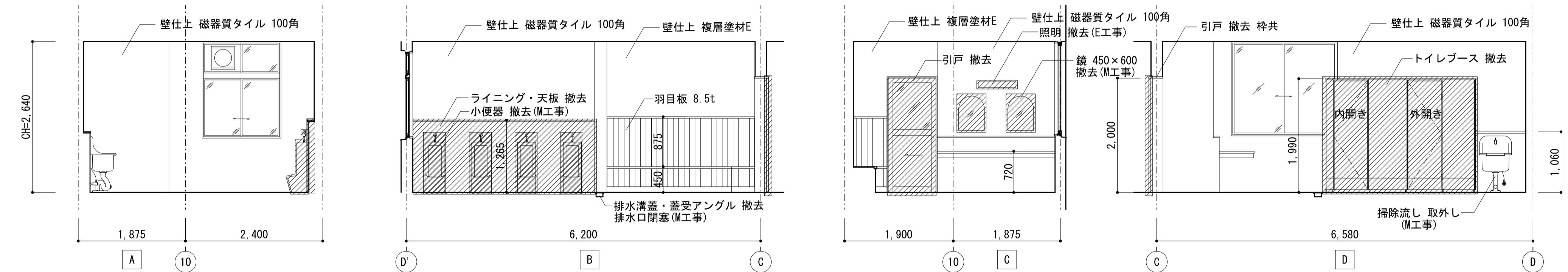
改修後 南校舎1階女子更衣室 展開図 1/50



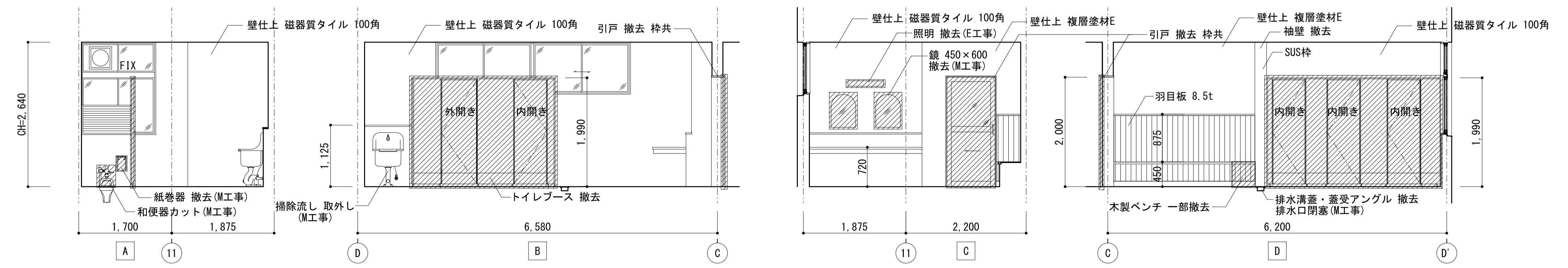
改修前 南校舎2階トイレ 平面詳細図 1/50



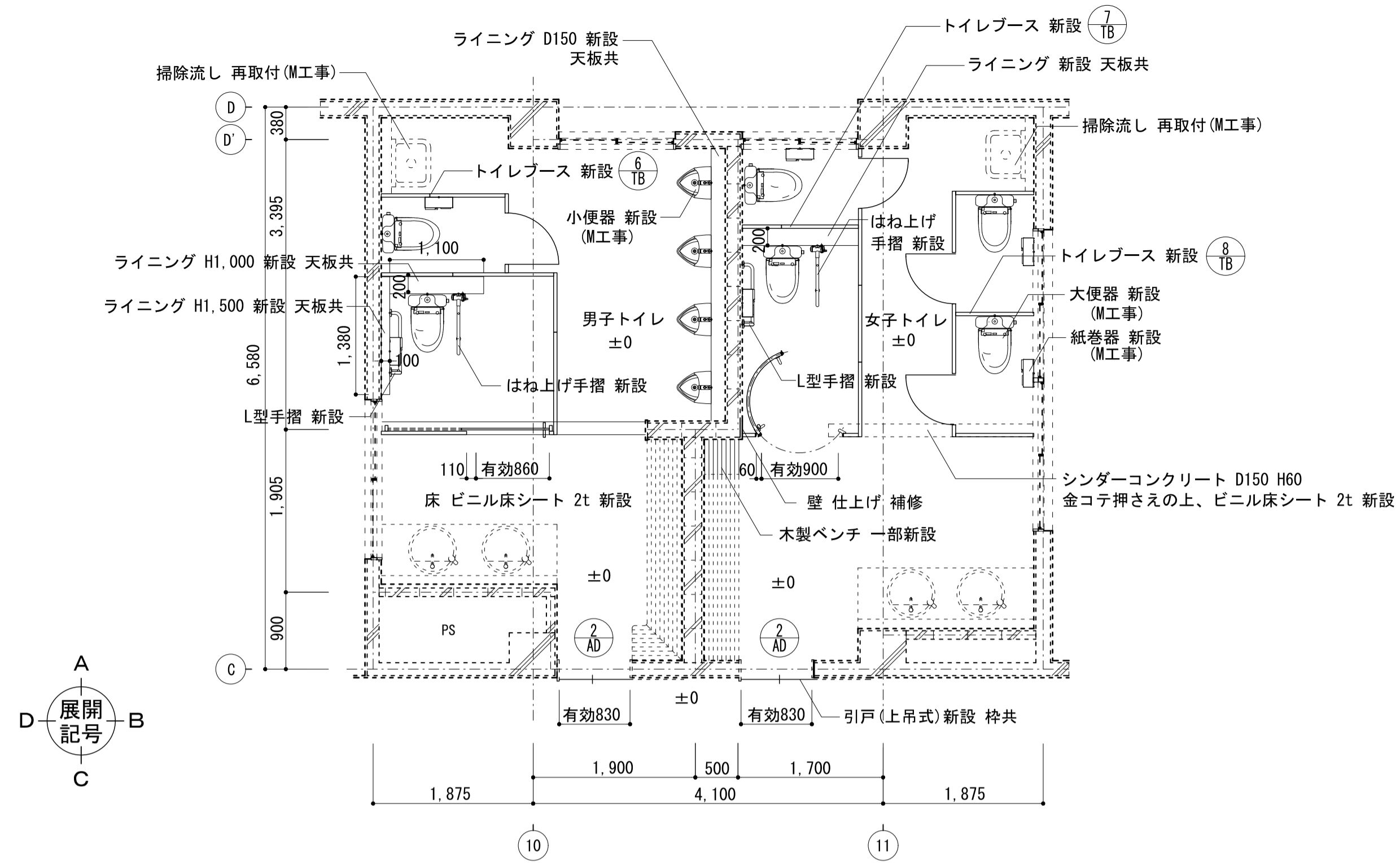
改修前 南校舎2階トイレ 天井伏図 1/50



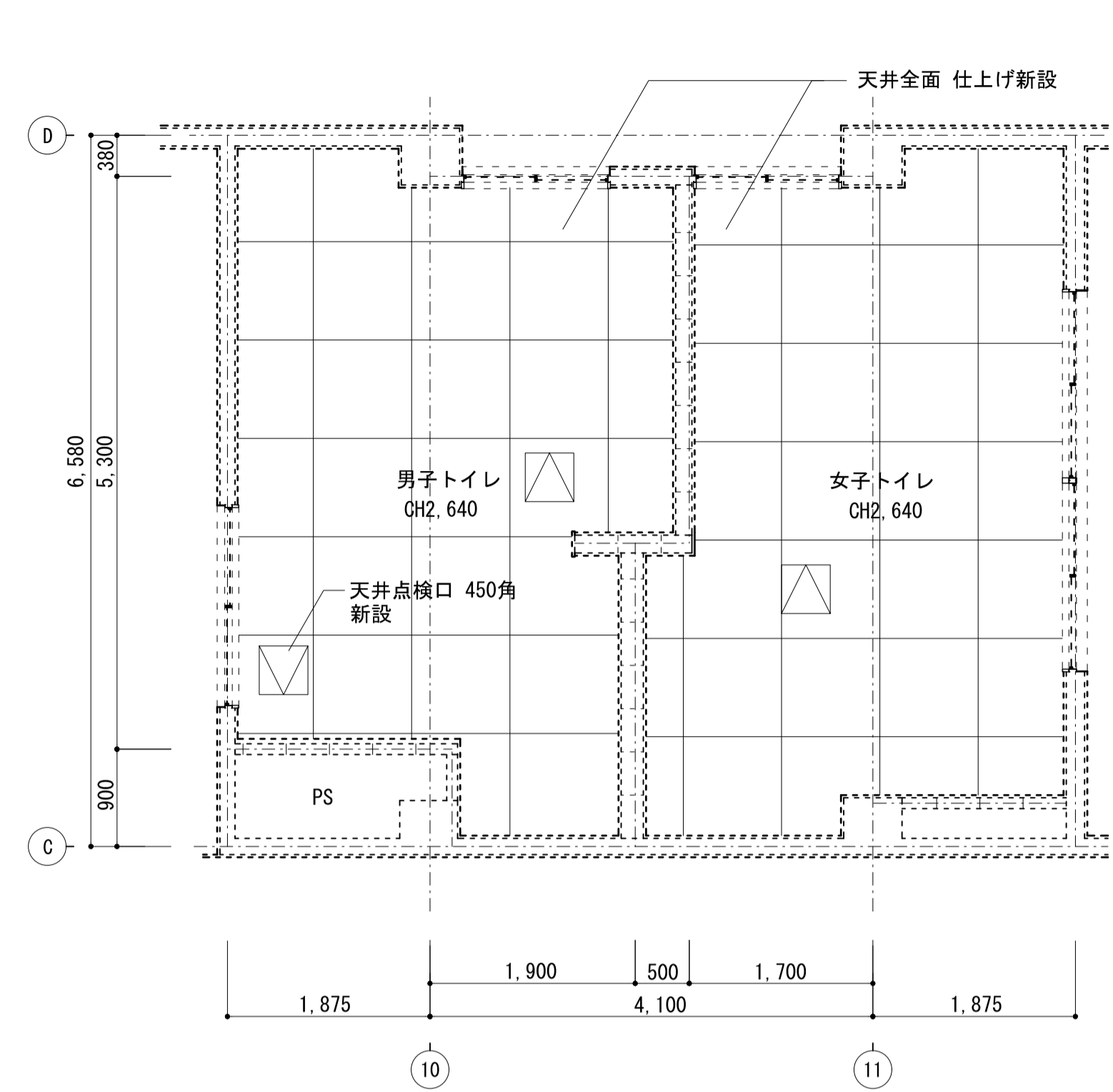
改修前 南校舎2階男子トイレ 展開図 1/50



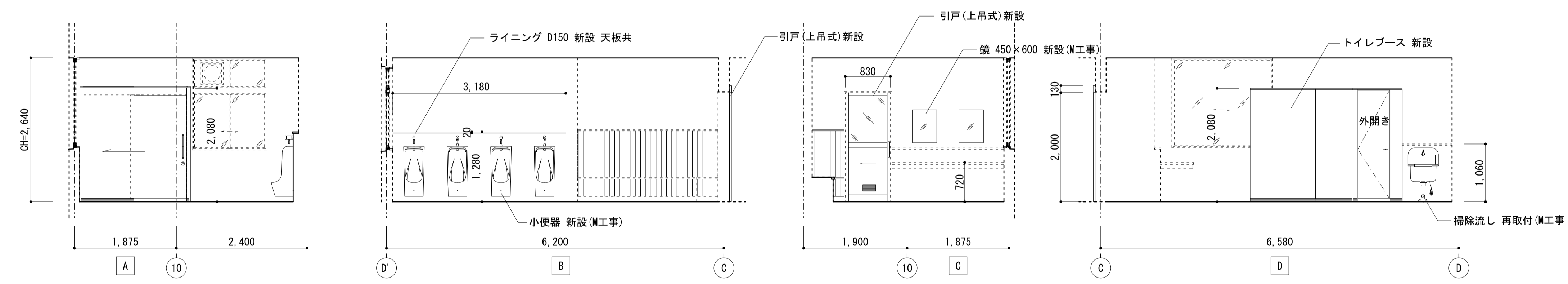
改修前 南校舎2階女子トイレ 展開図 1/50



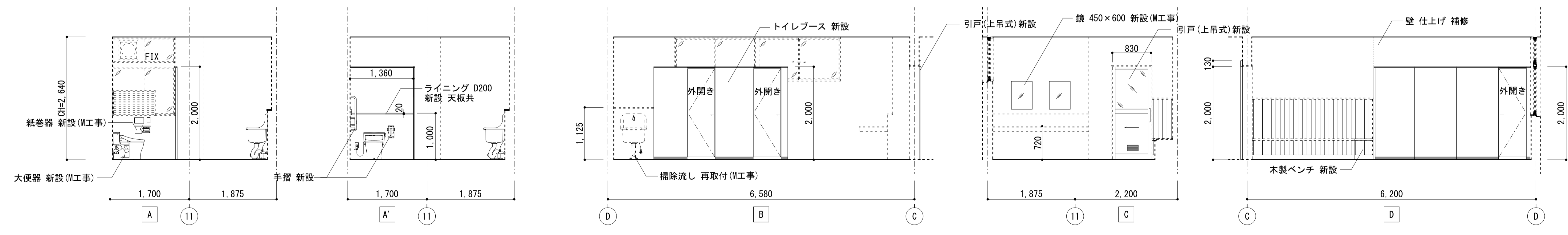
改修後 南校舎2階トイレ 平面詳細図 1/50



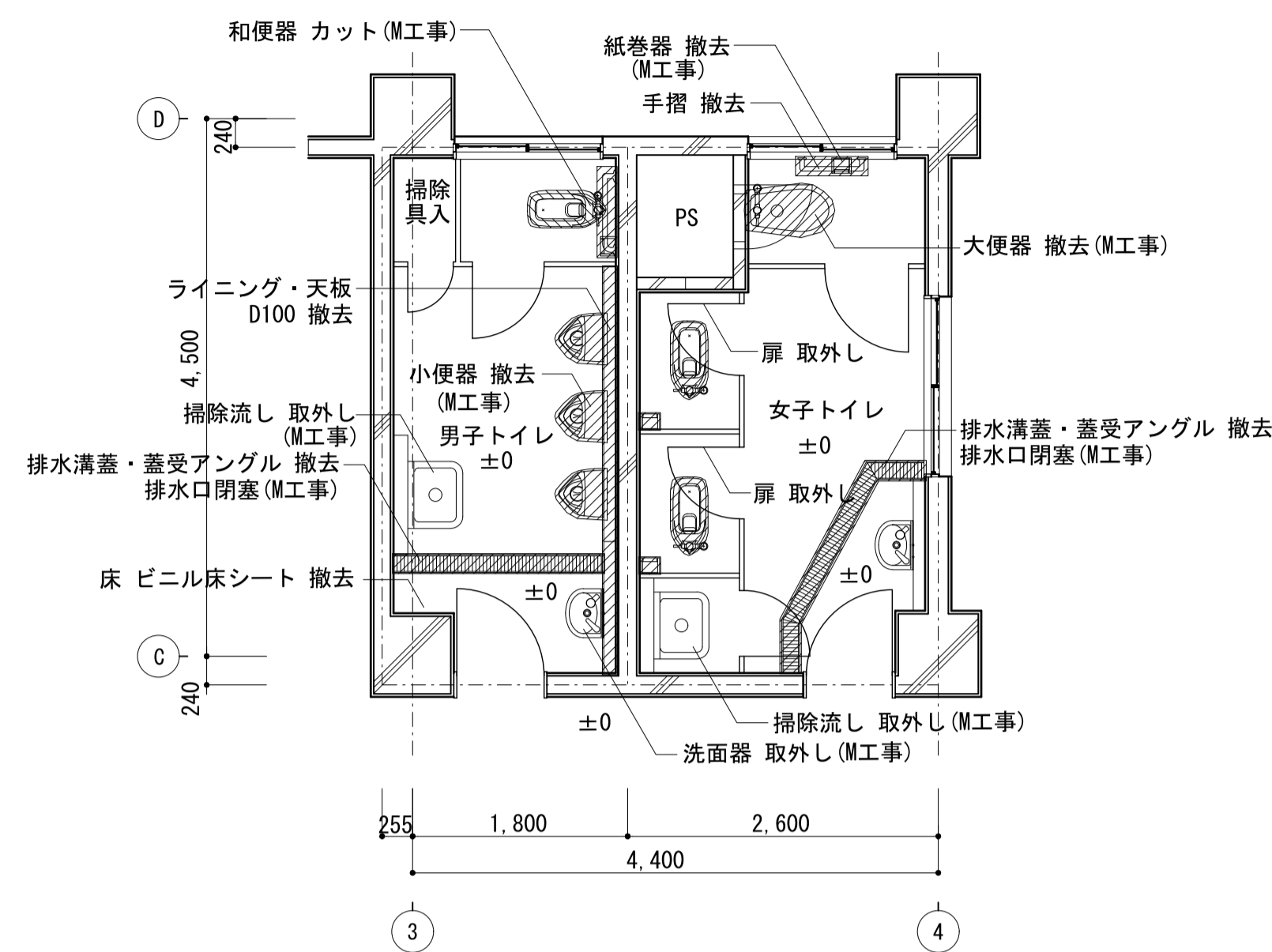
改修後 南校舎2階トイレ 天井伏図 1/50



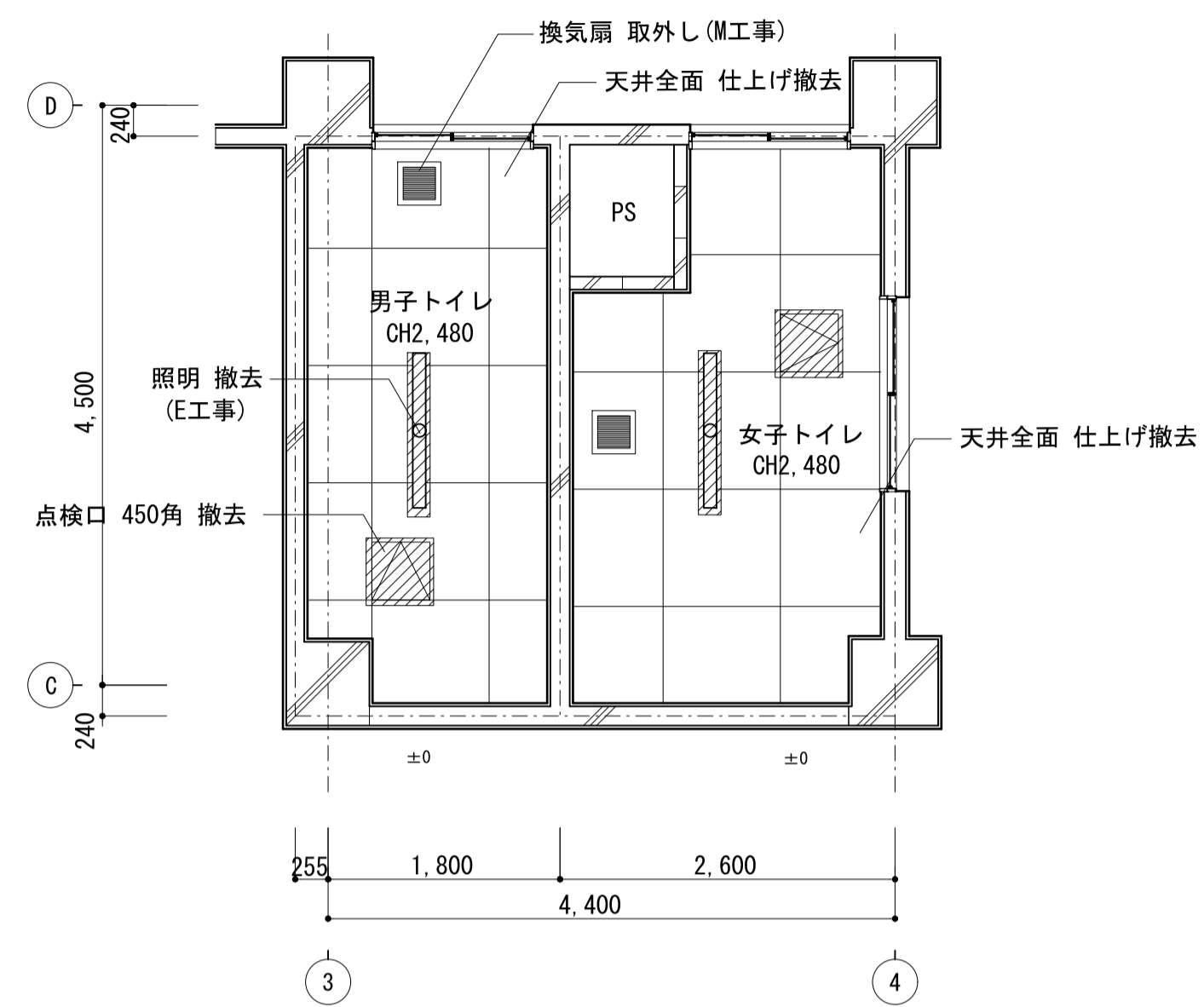
改修後 南校舎2階男子トイレ 展開図 1/50



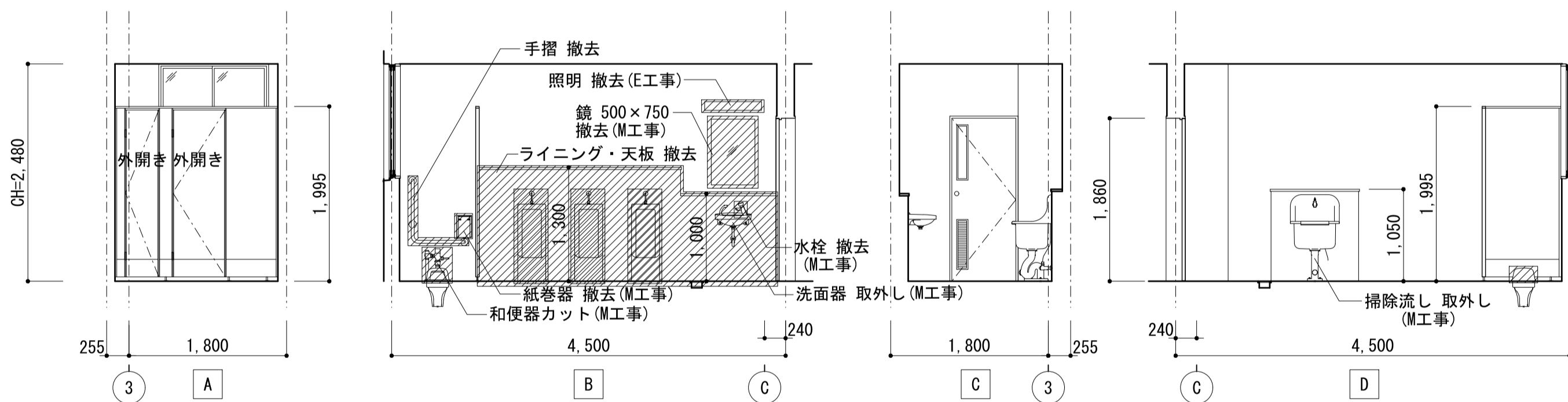
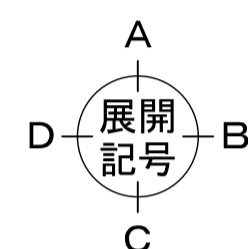
改修後 南校舎2階女子トイレ 展開図 1/50



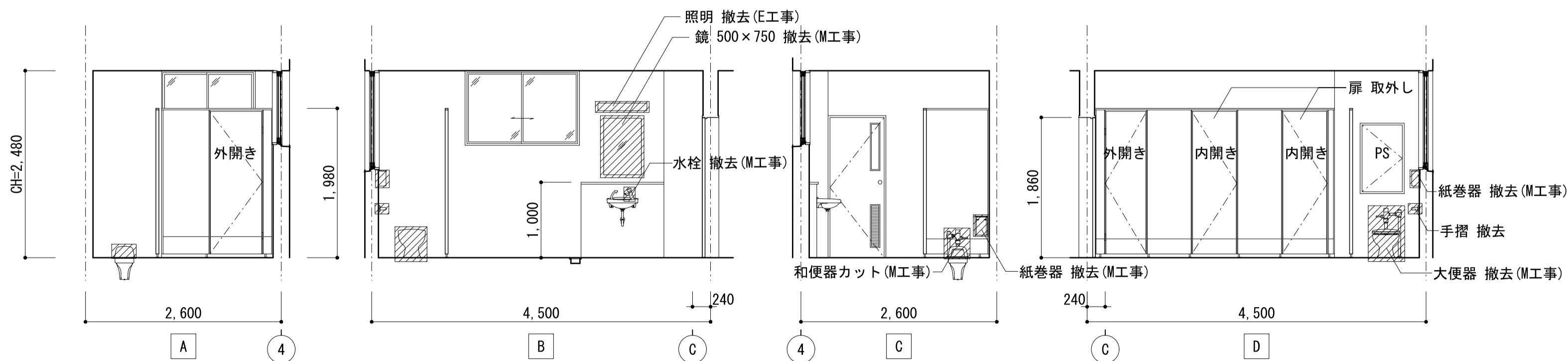
改修前 北校舎1階トイレ 平面詳細図 1/50



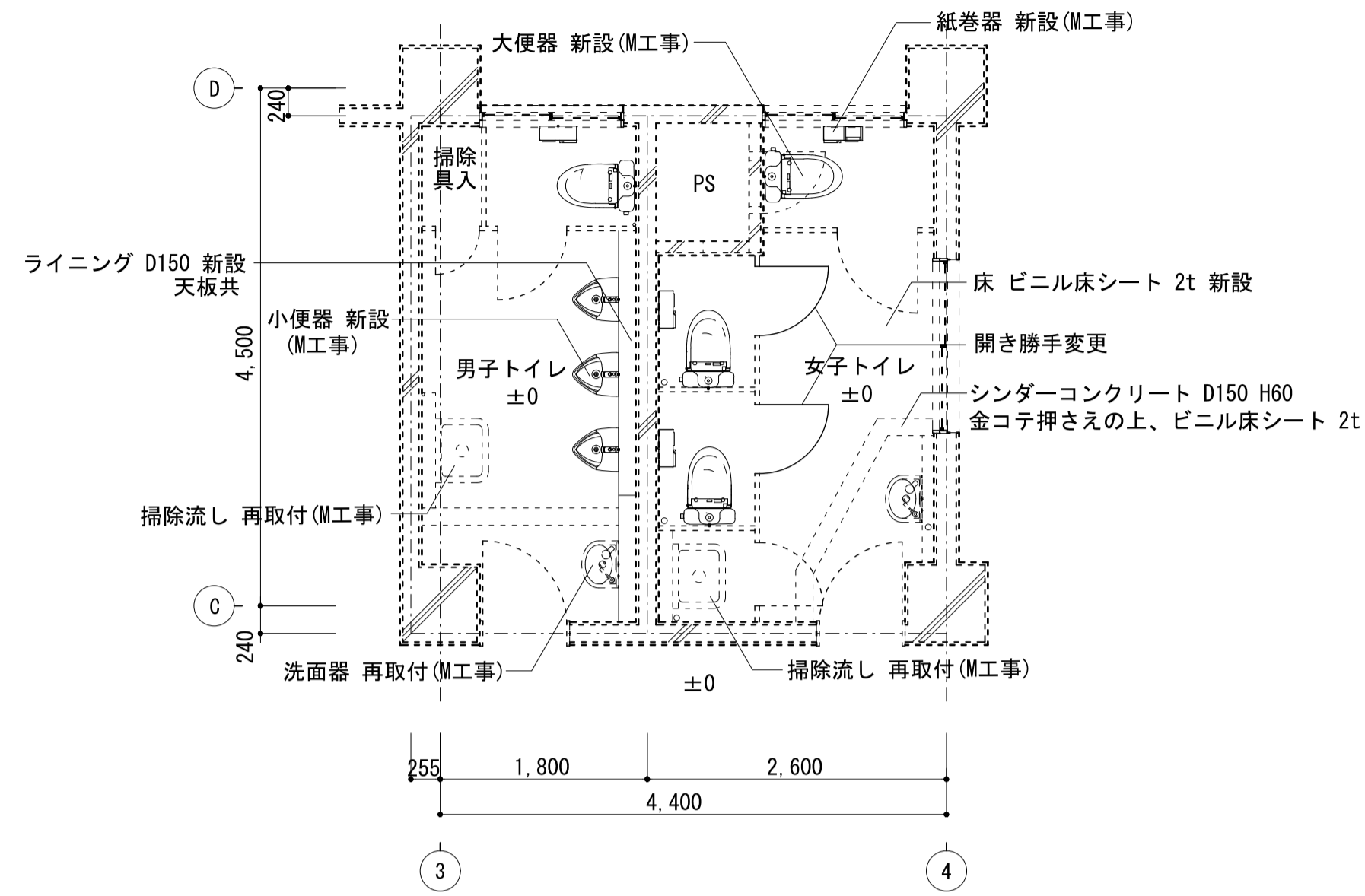
改修前 北校舎1階トイレ 天井伏図 1/50



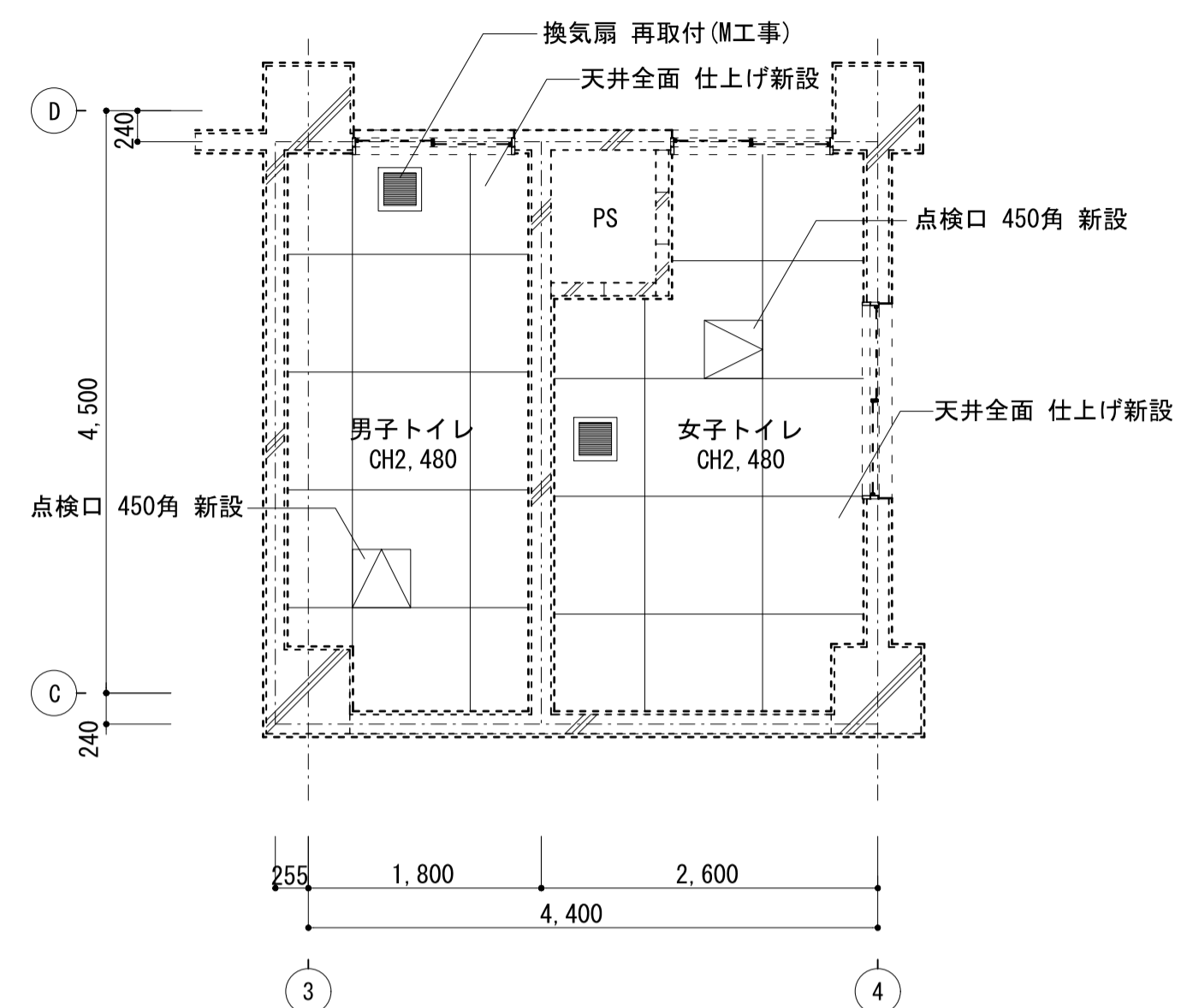
改修前 北校舎1階男子トイレ 展開図 1/50



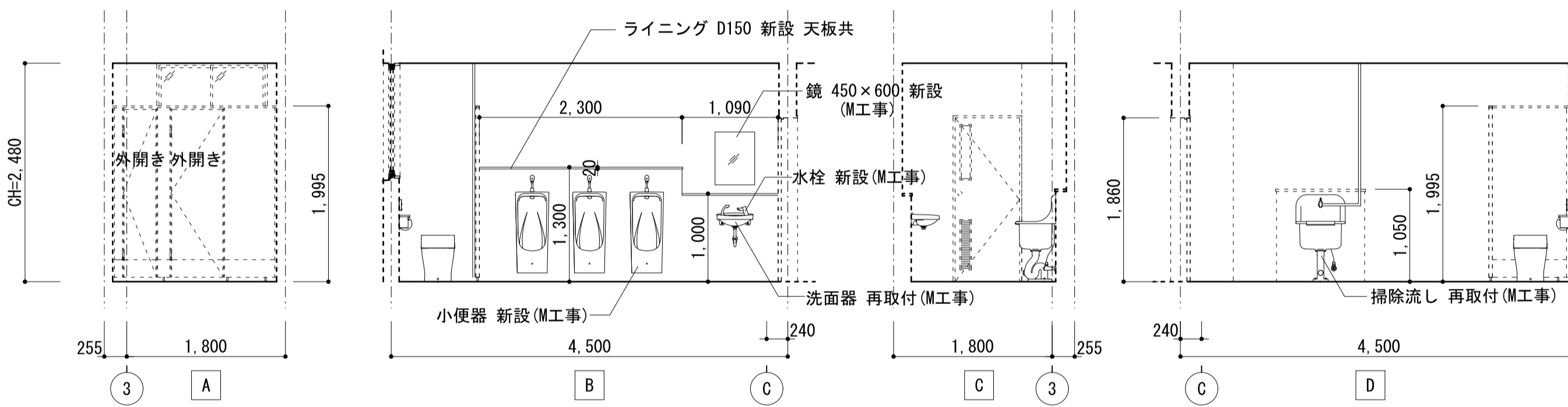
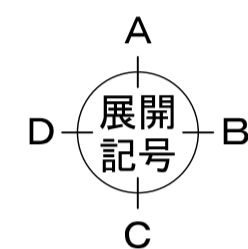
改修前 北校舎1階女子トイレ 展開図 1/50



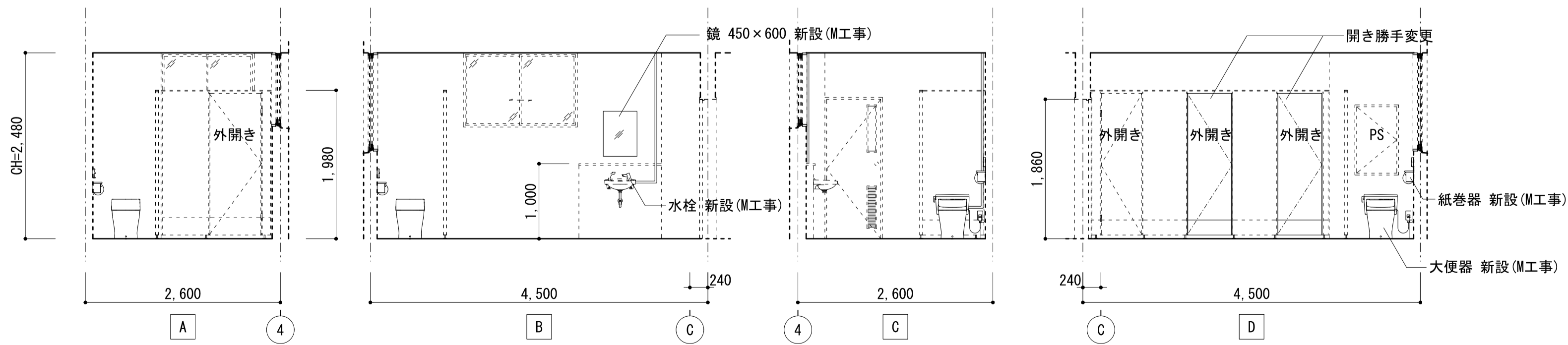
改修後 北校舎1階トイレ 平面詳細図 1/50



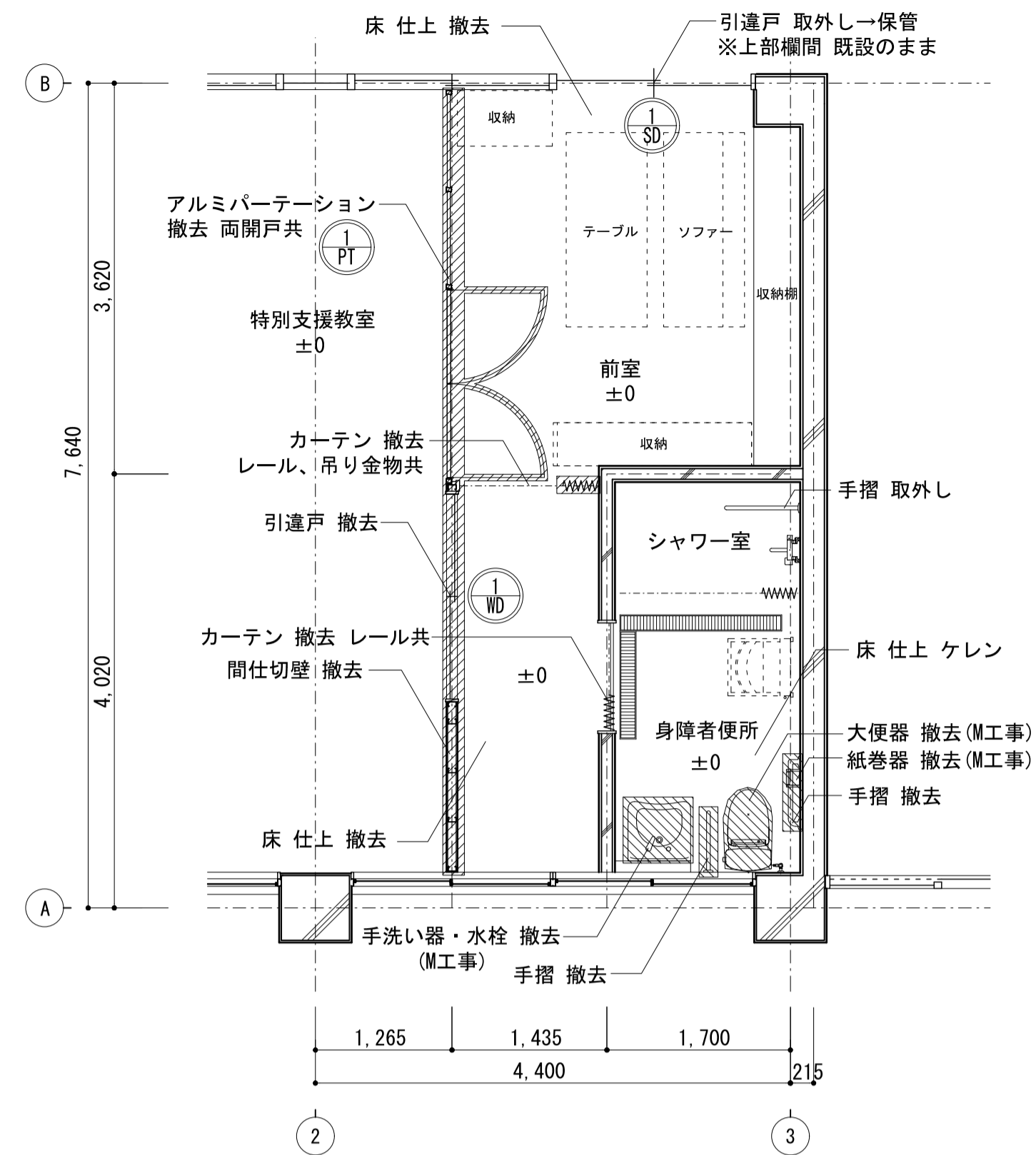
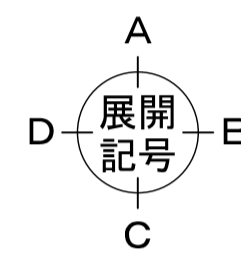
改修後 北校舎1階トイレ 天井伏図 1/50



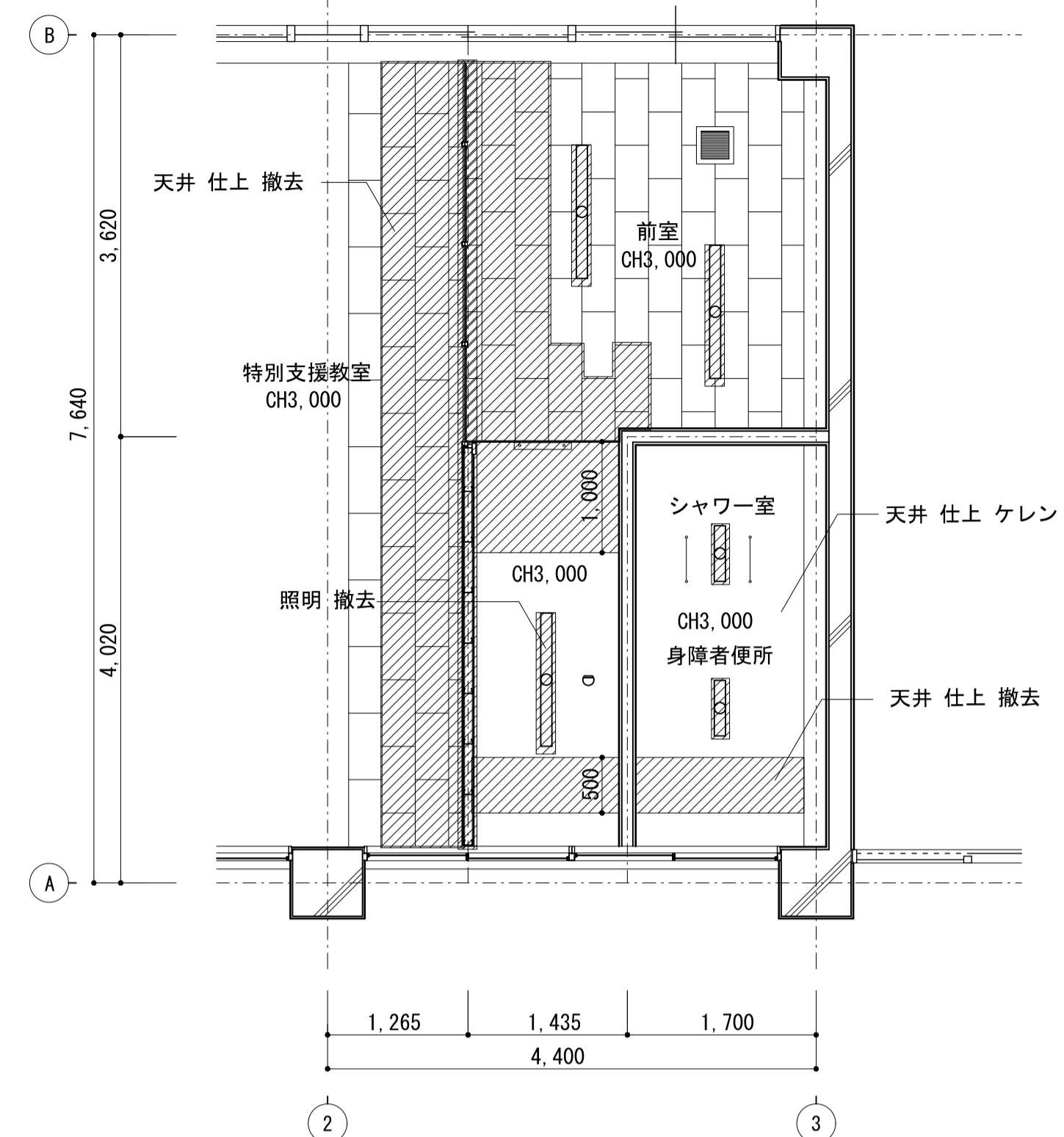
改修後 北校舎1階男子トイレ 展開図 1/50



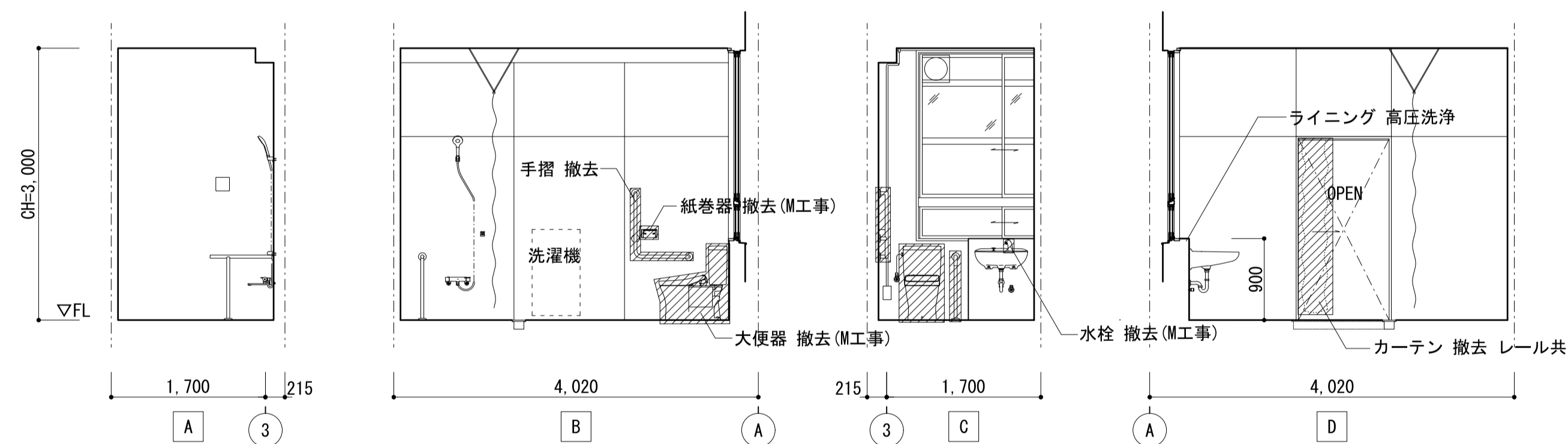
改修後 北校舎1階女子トイレ 展開図 1/50



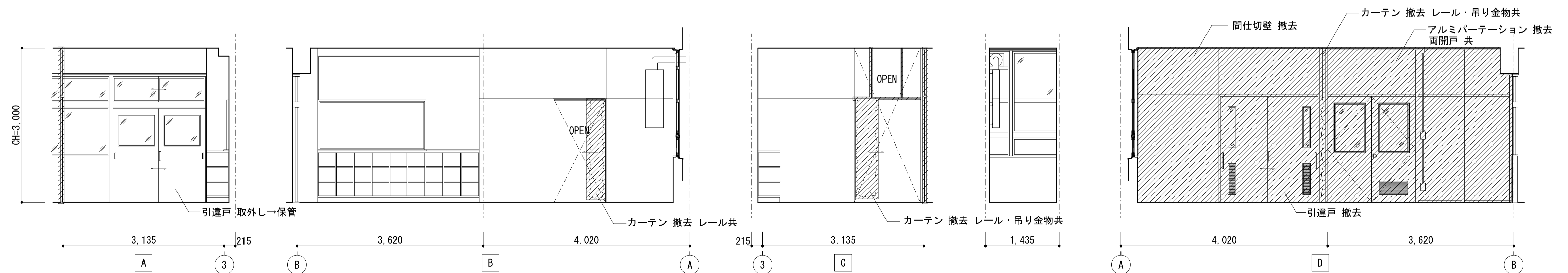
改修前 北校舎1階身障者便所・前室 平面詳細図 1/50



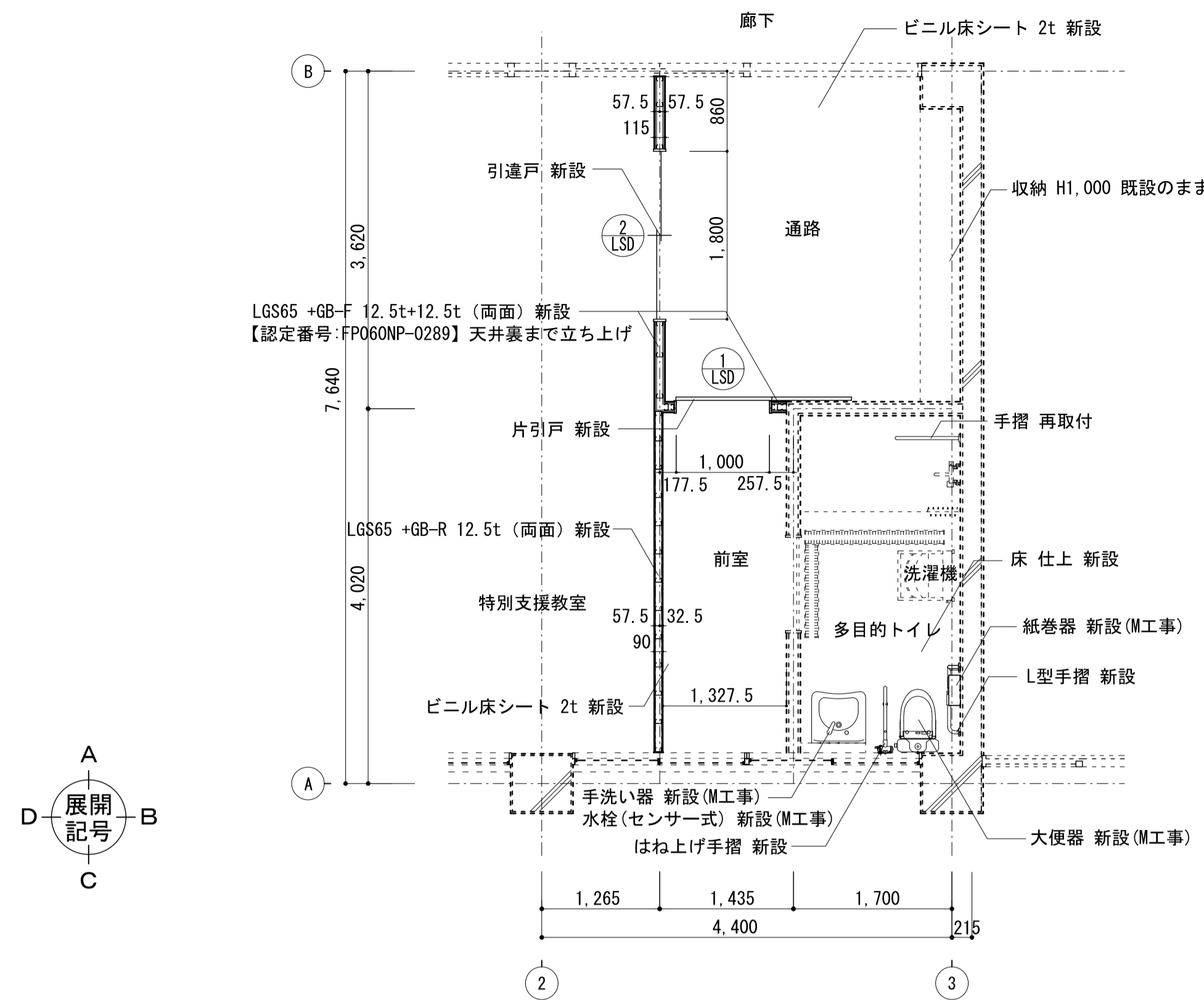
改修前 北校舎1階身障者便所 天井伏図 1/50



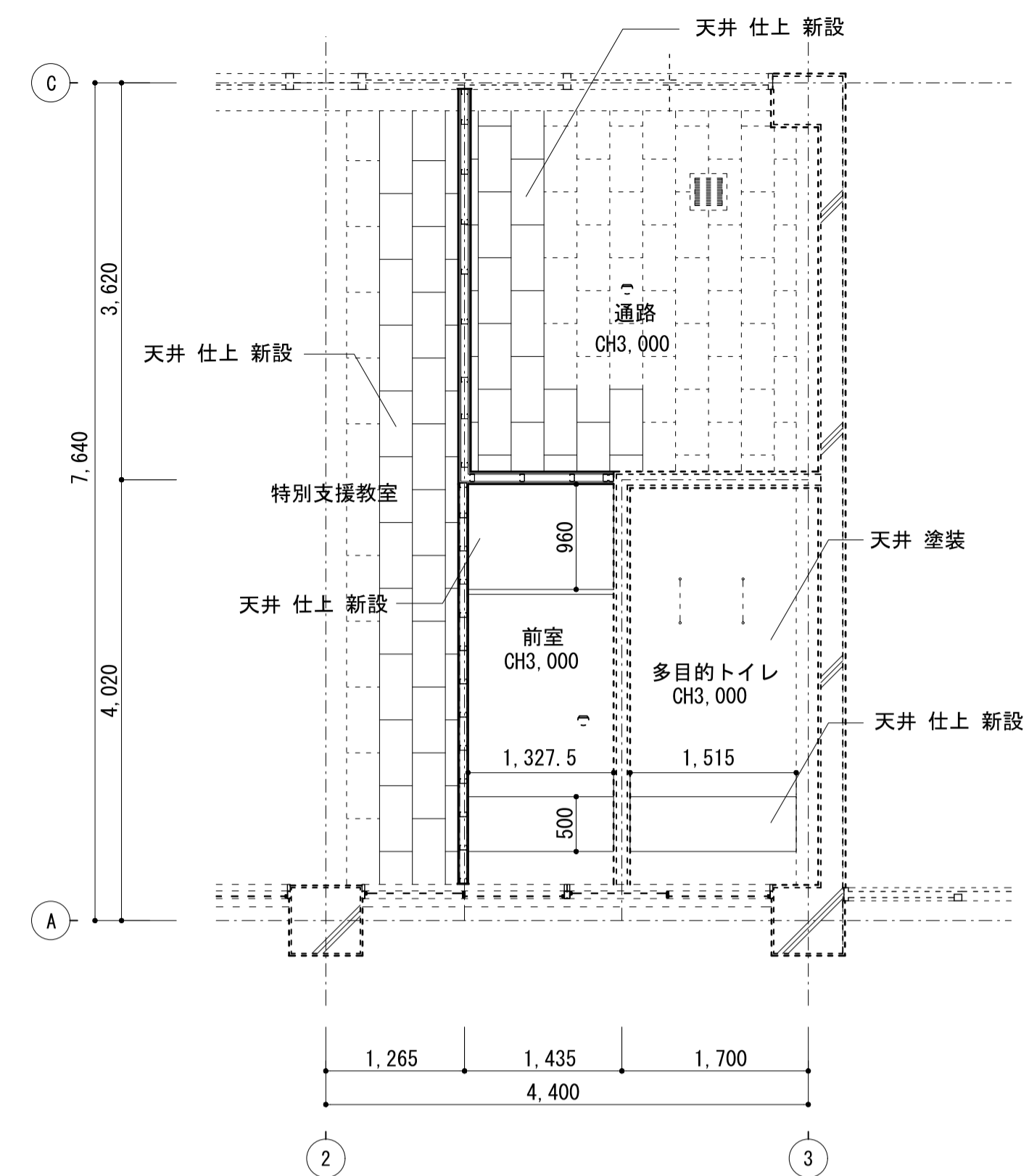
改修前 北校舎1階身障者便所 展開図 1/50



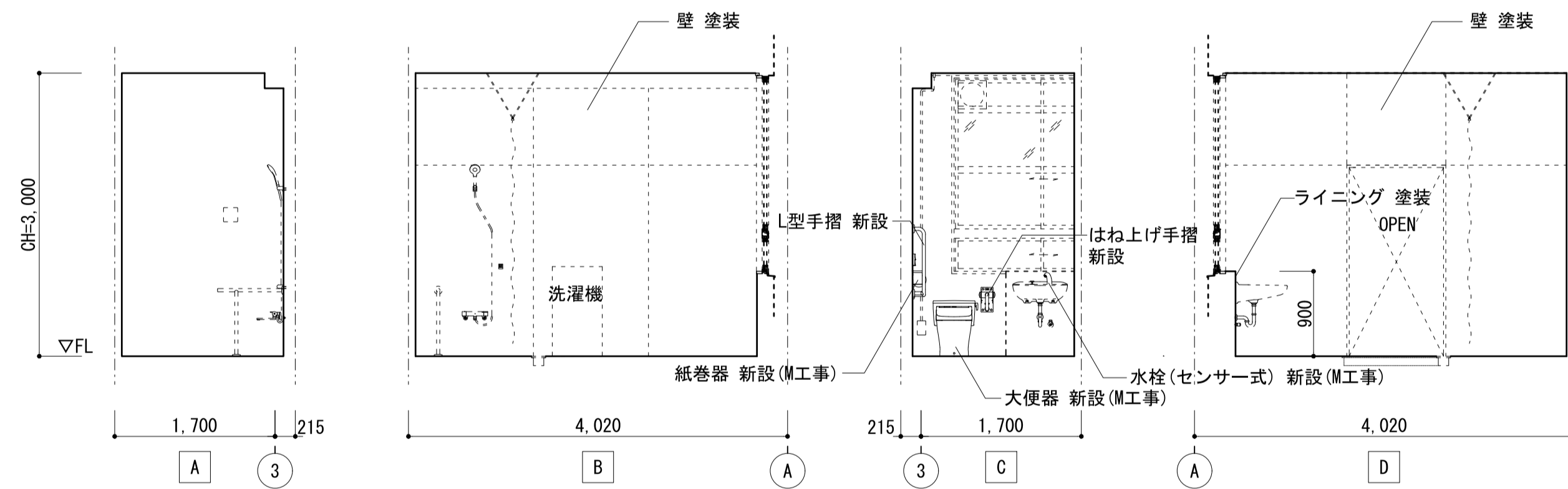
改修前 北校舎1階前室 展開図 1/50



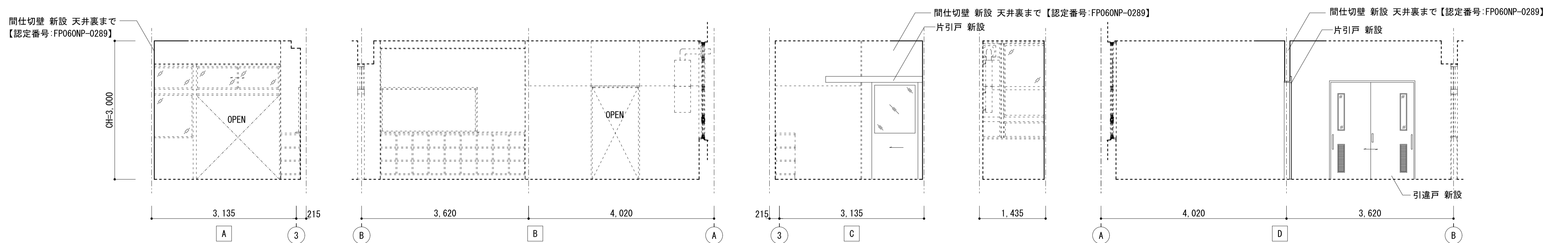
改修後 北校舎 1階多目的トイレ・前室・通路 平面詳細図 1/50



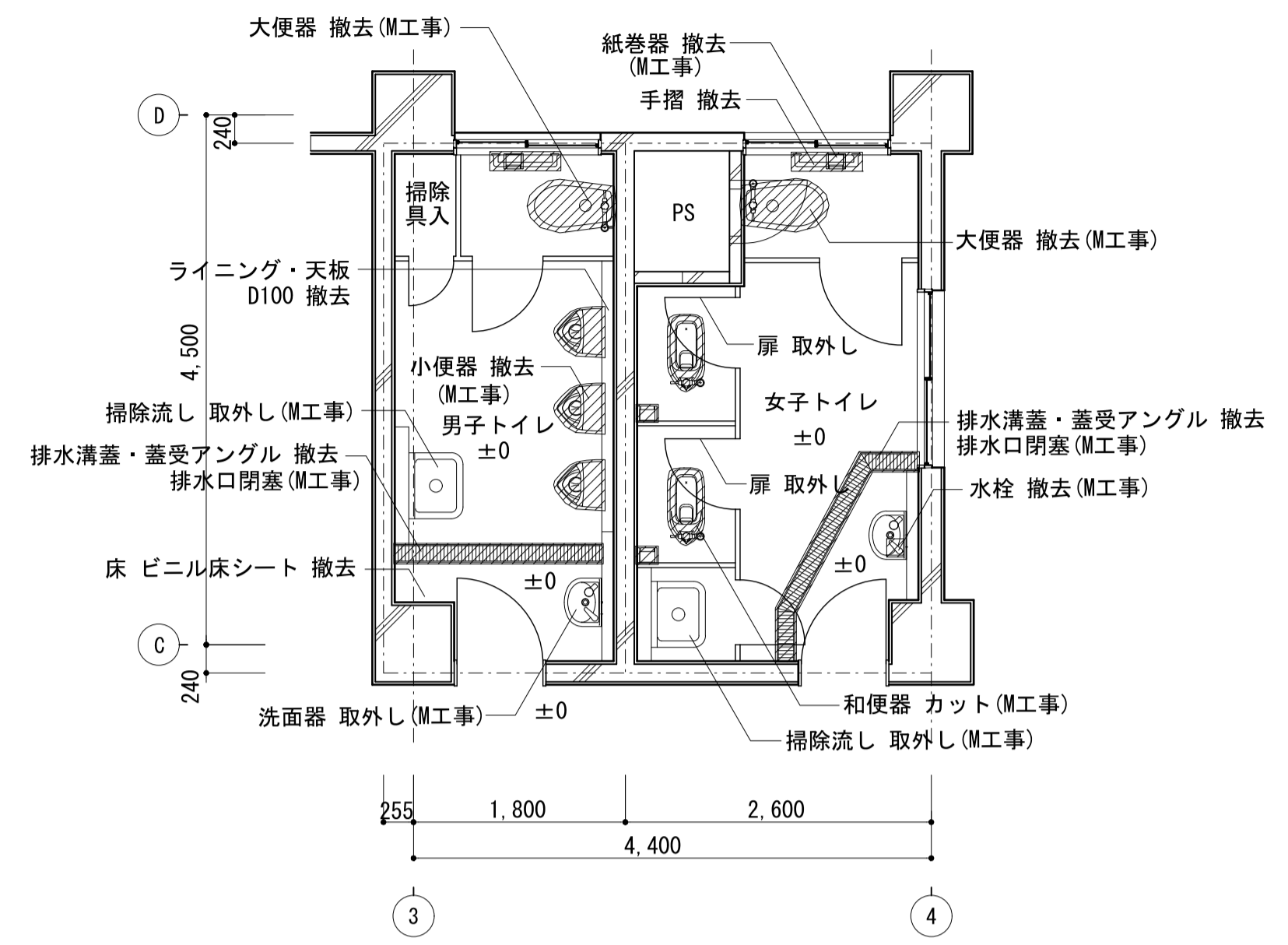
改修後 北校舎 1階多目的トイレ・前室・通路 天井伏図 1/50



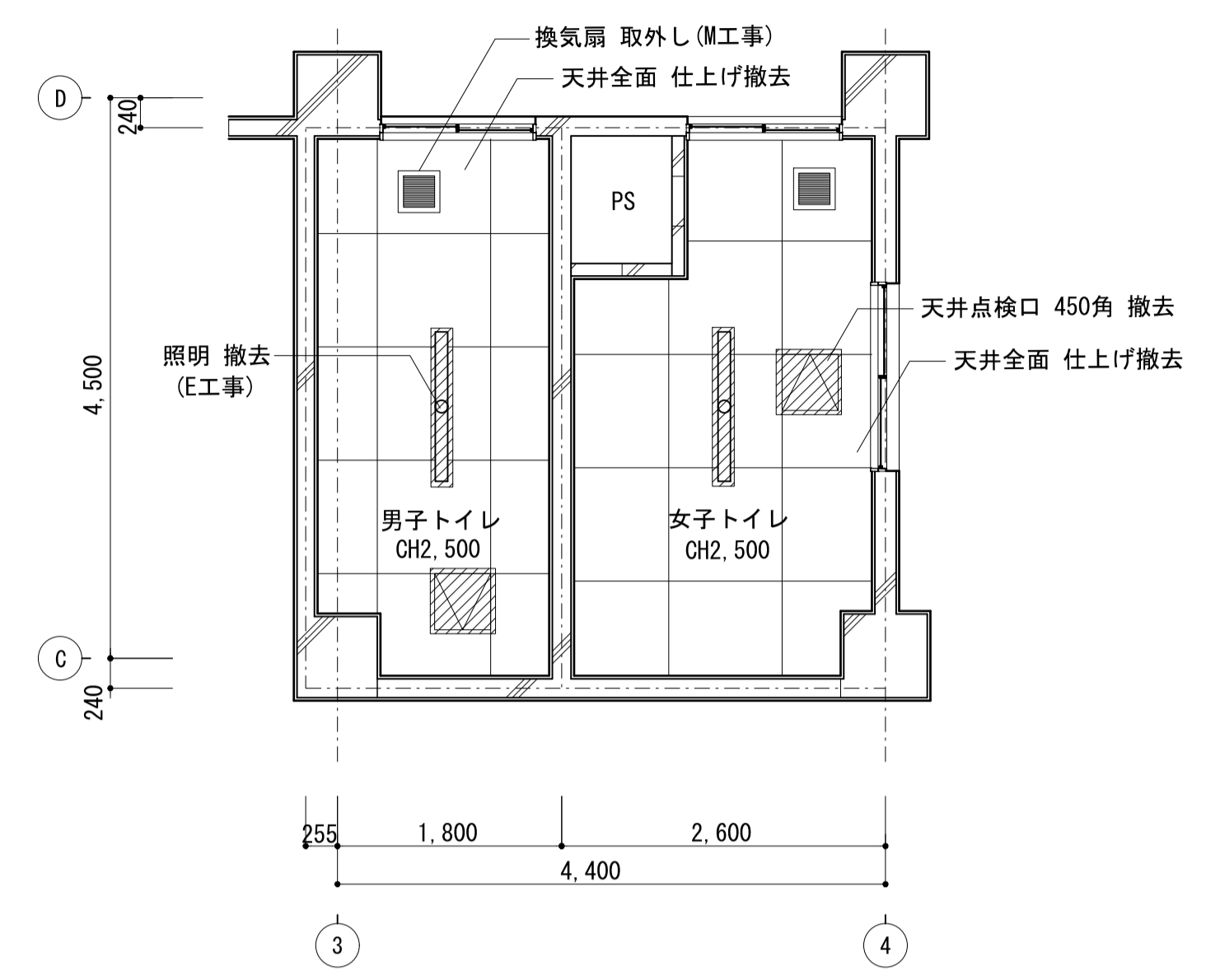
改修後 北校舎 1階多目的トイレ 展開図 1/50



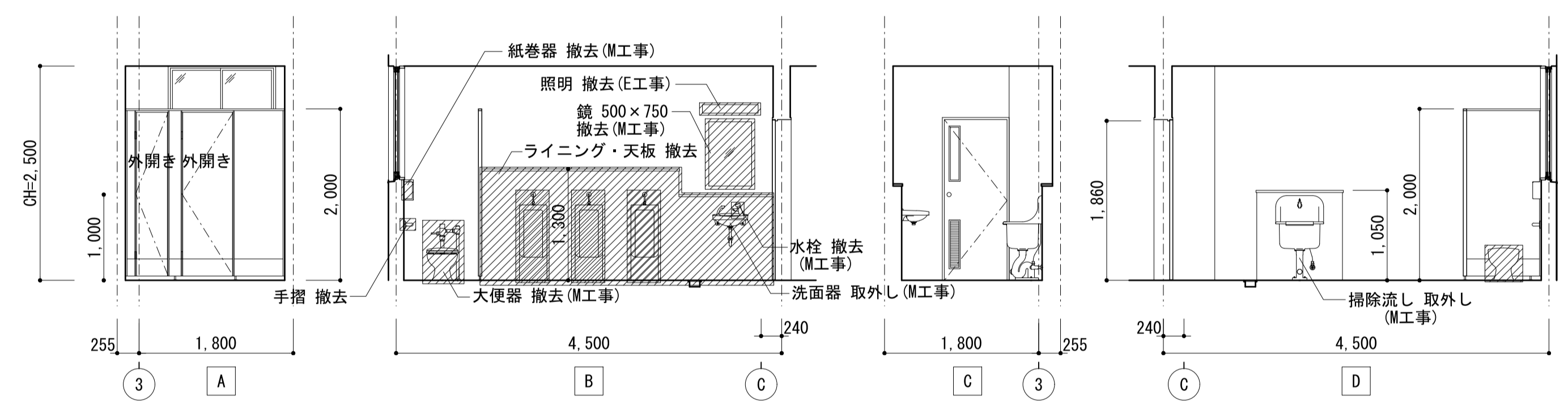
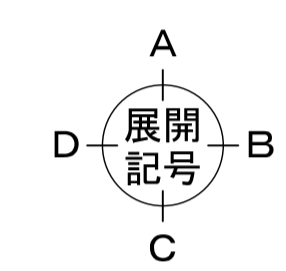
改修後 北校舎 1階前室・通路 展開図 1/50



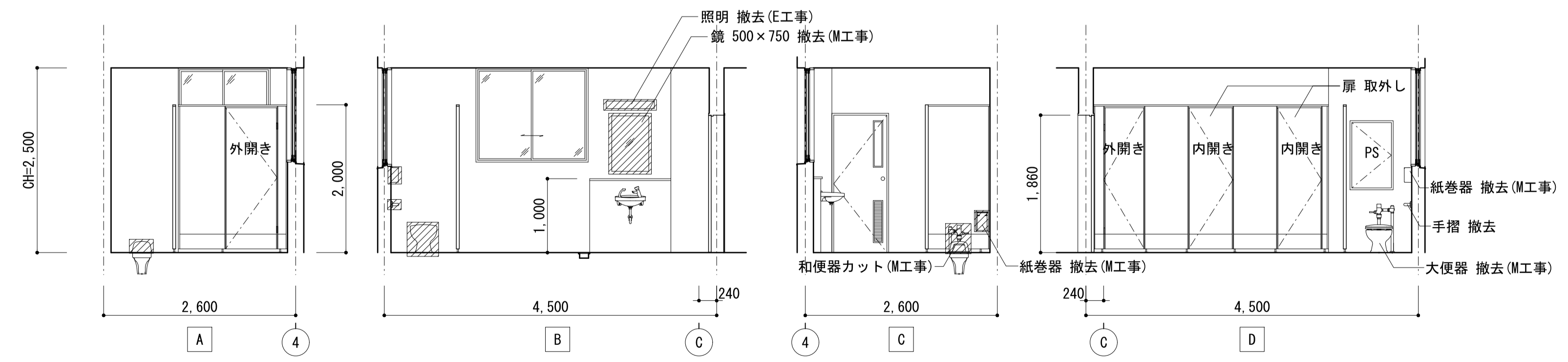
改修前 北校舎2階トイレ 平面詳細図 1/50



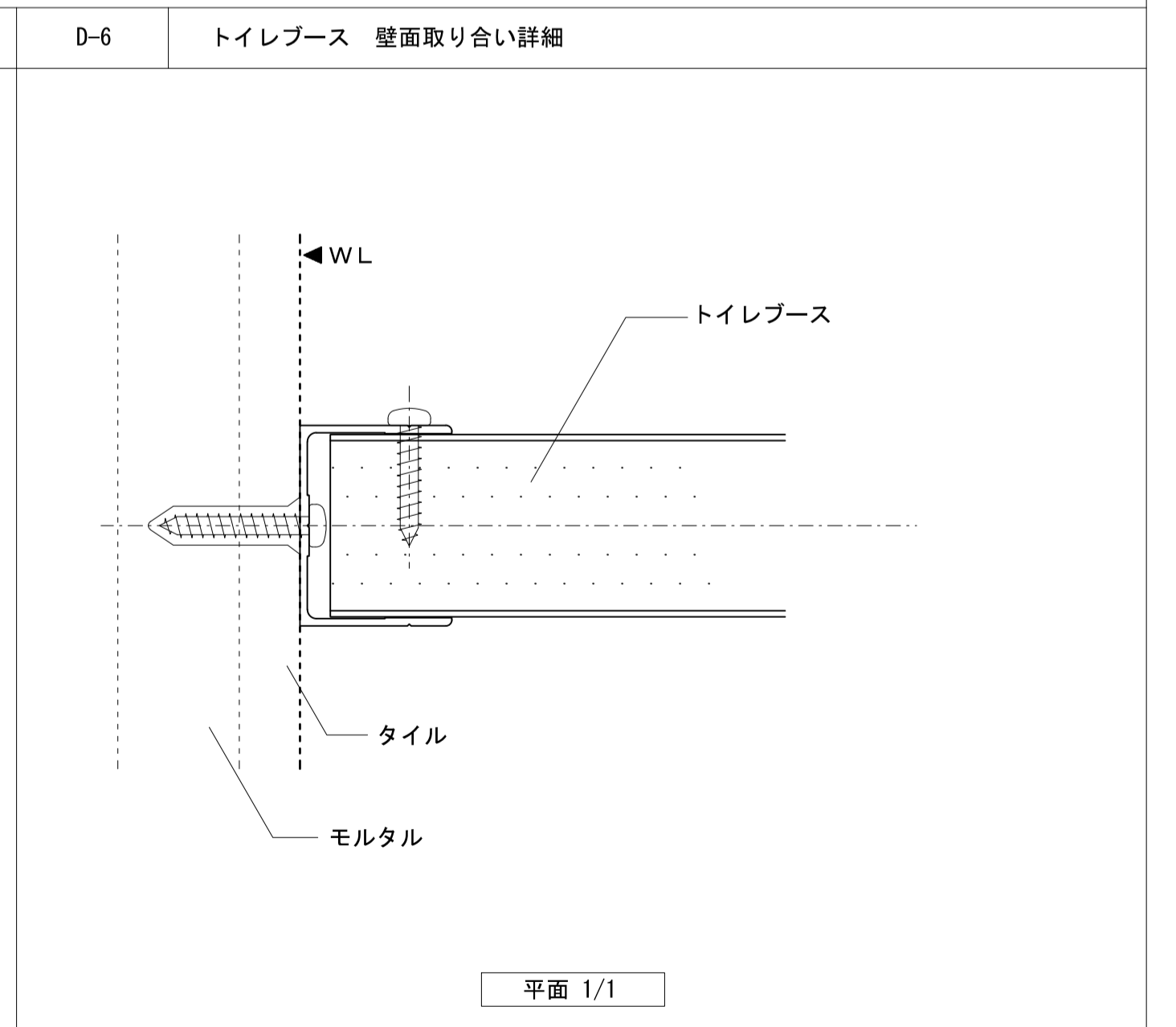
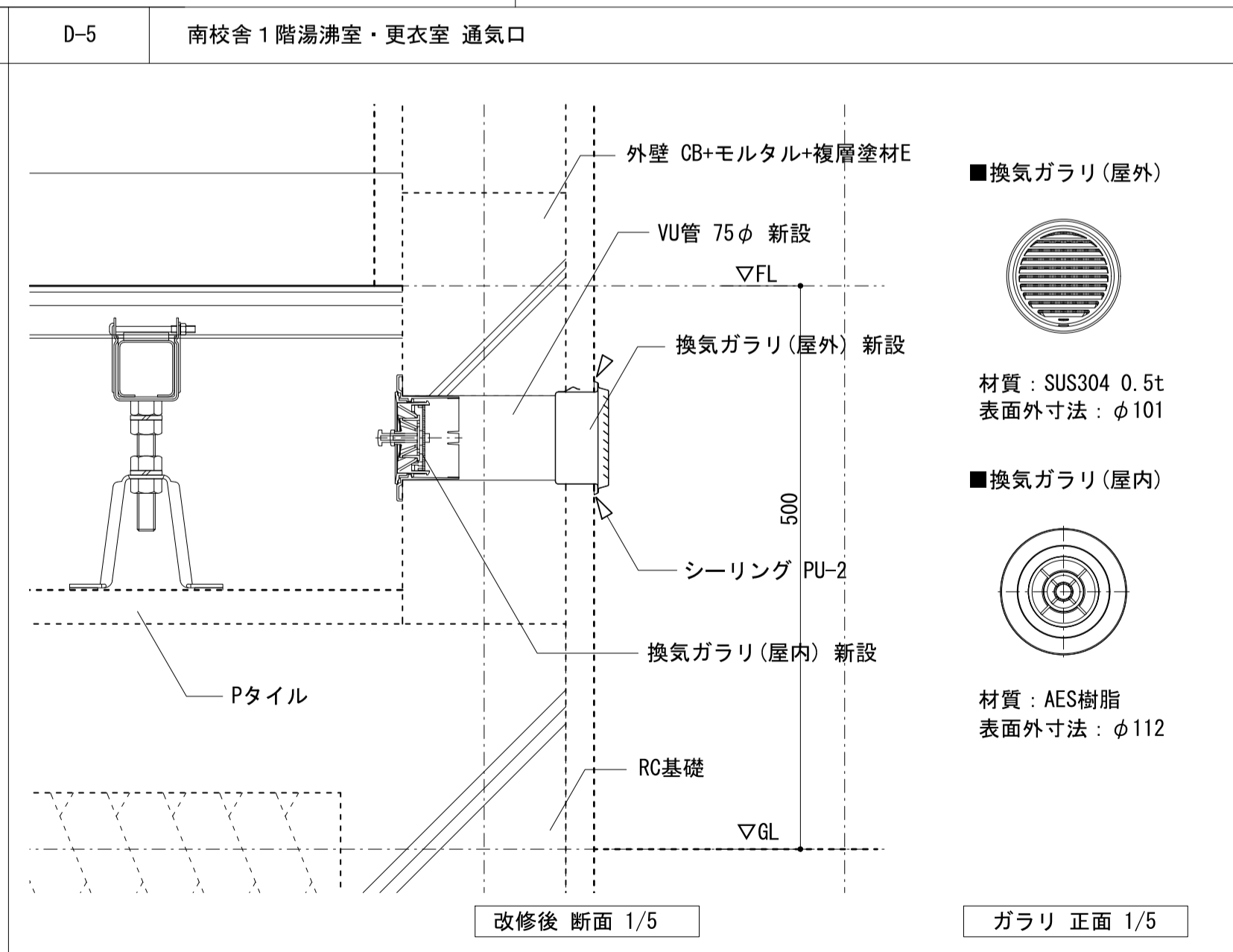
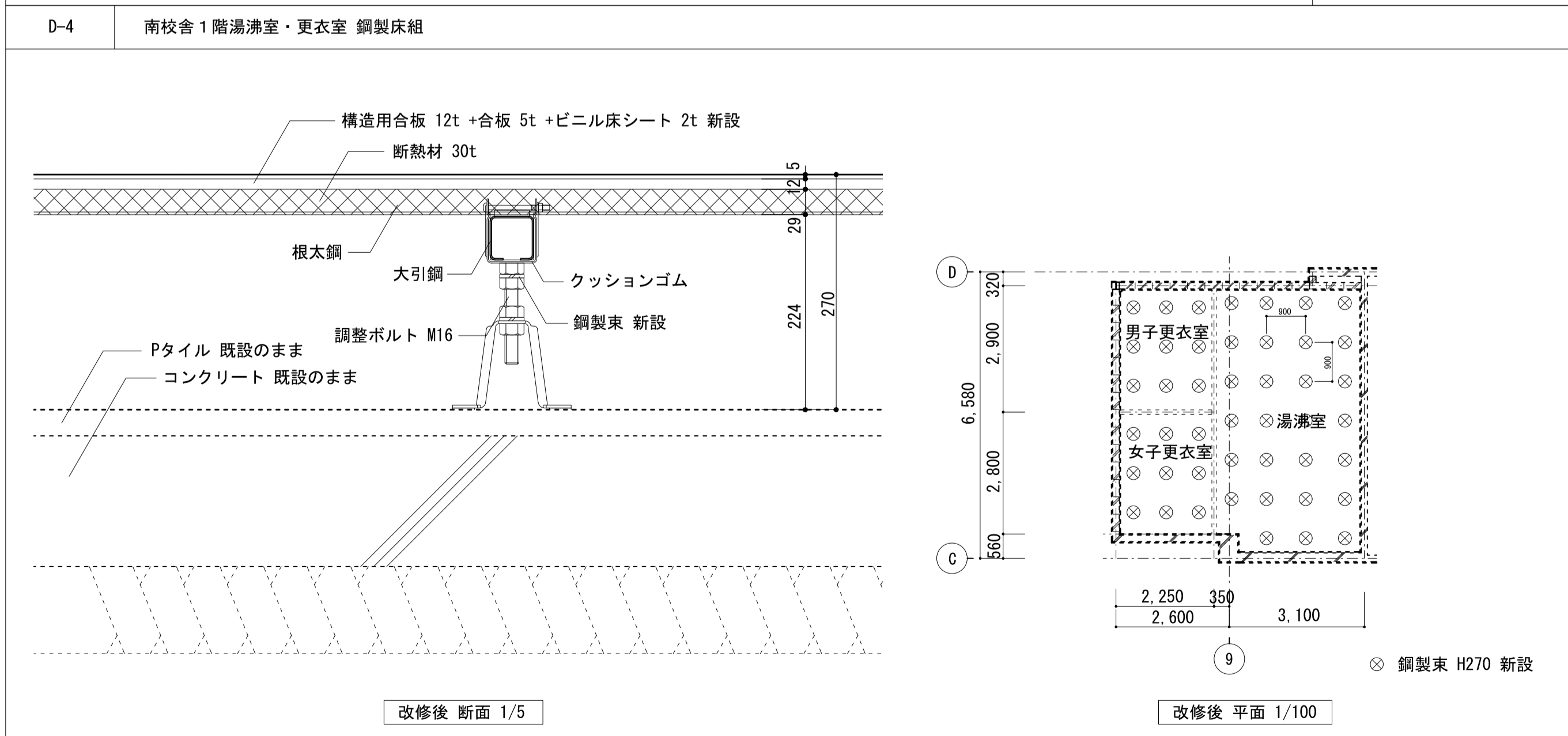
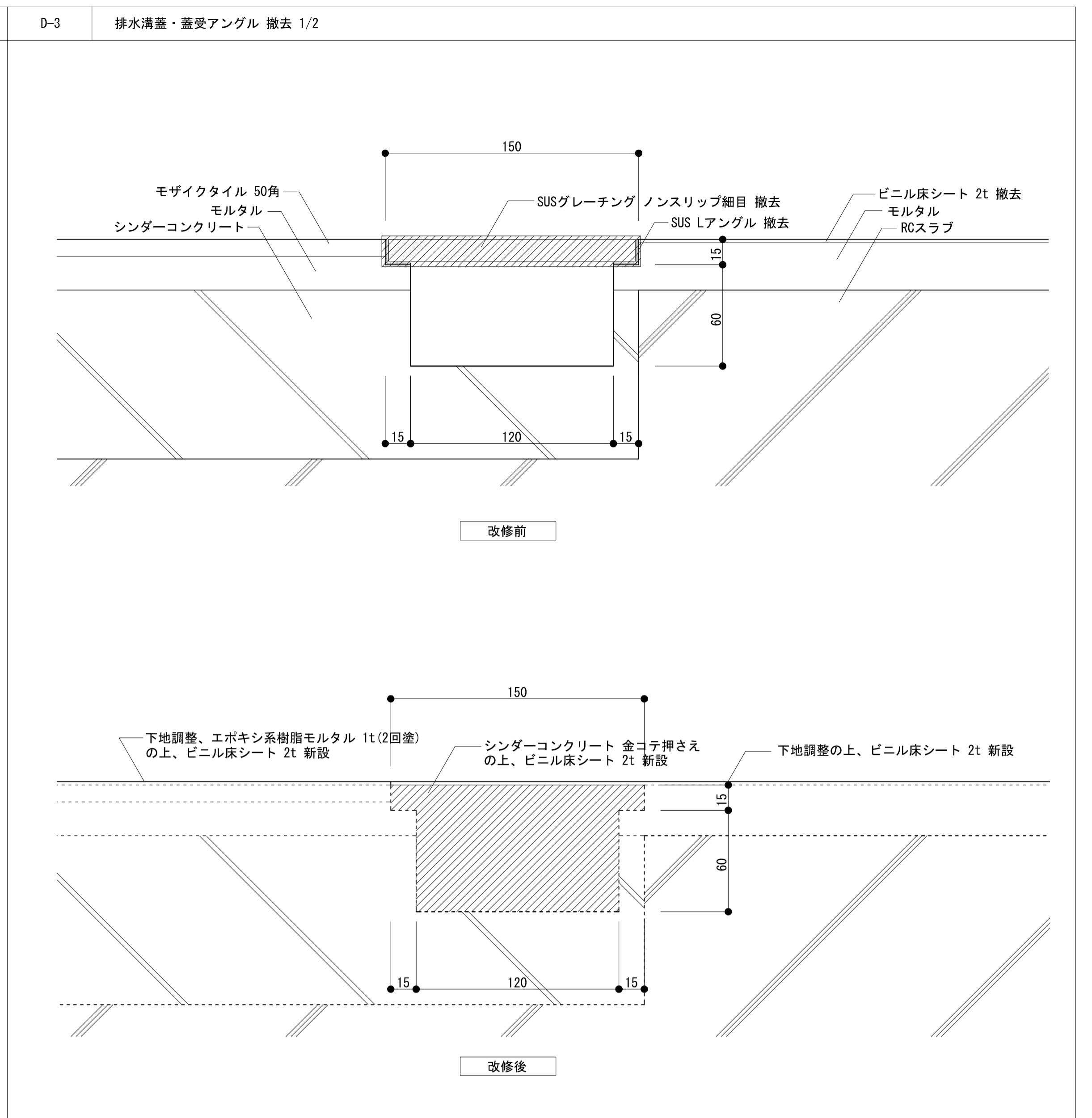
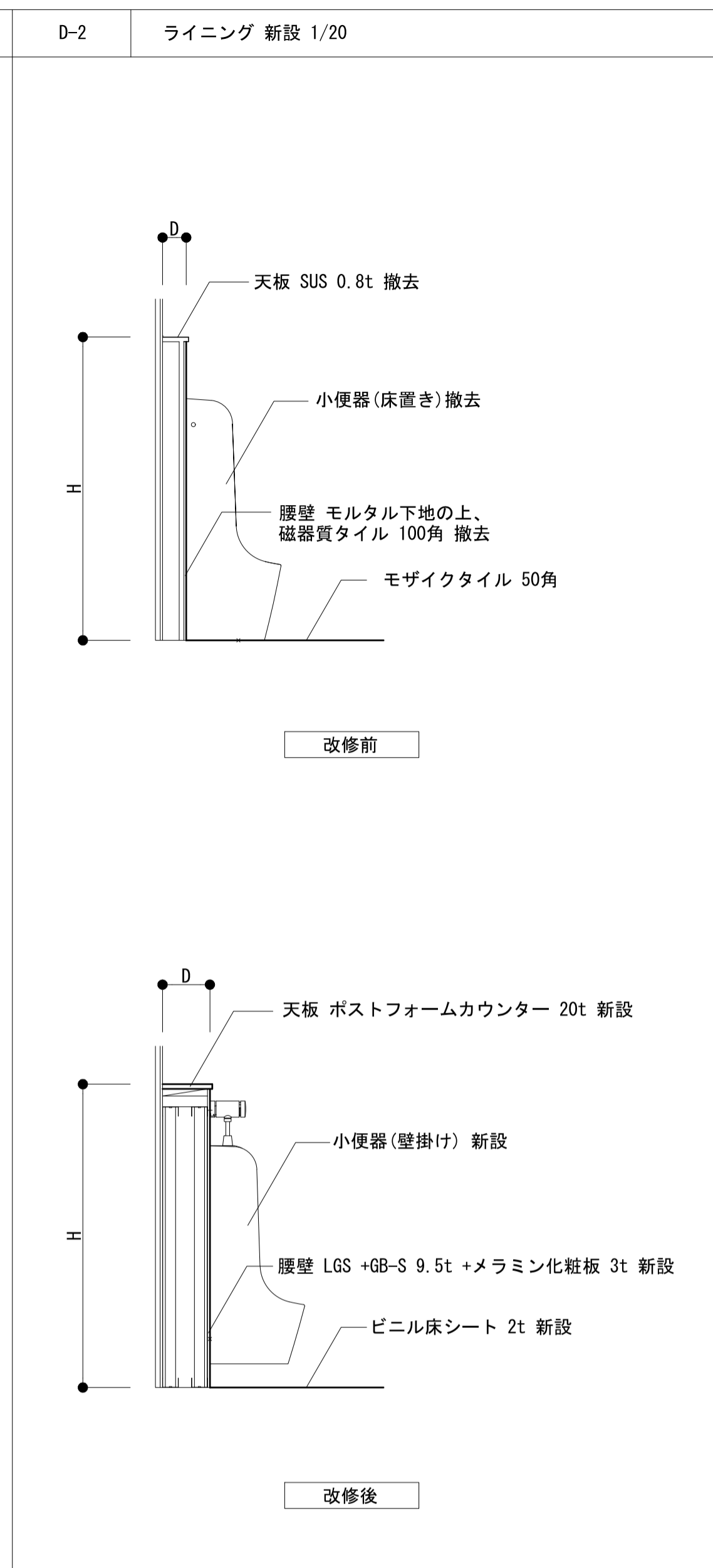
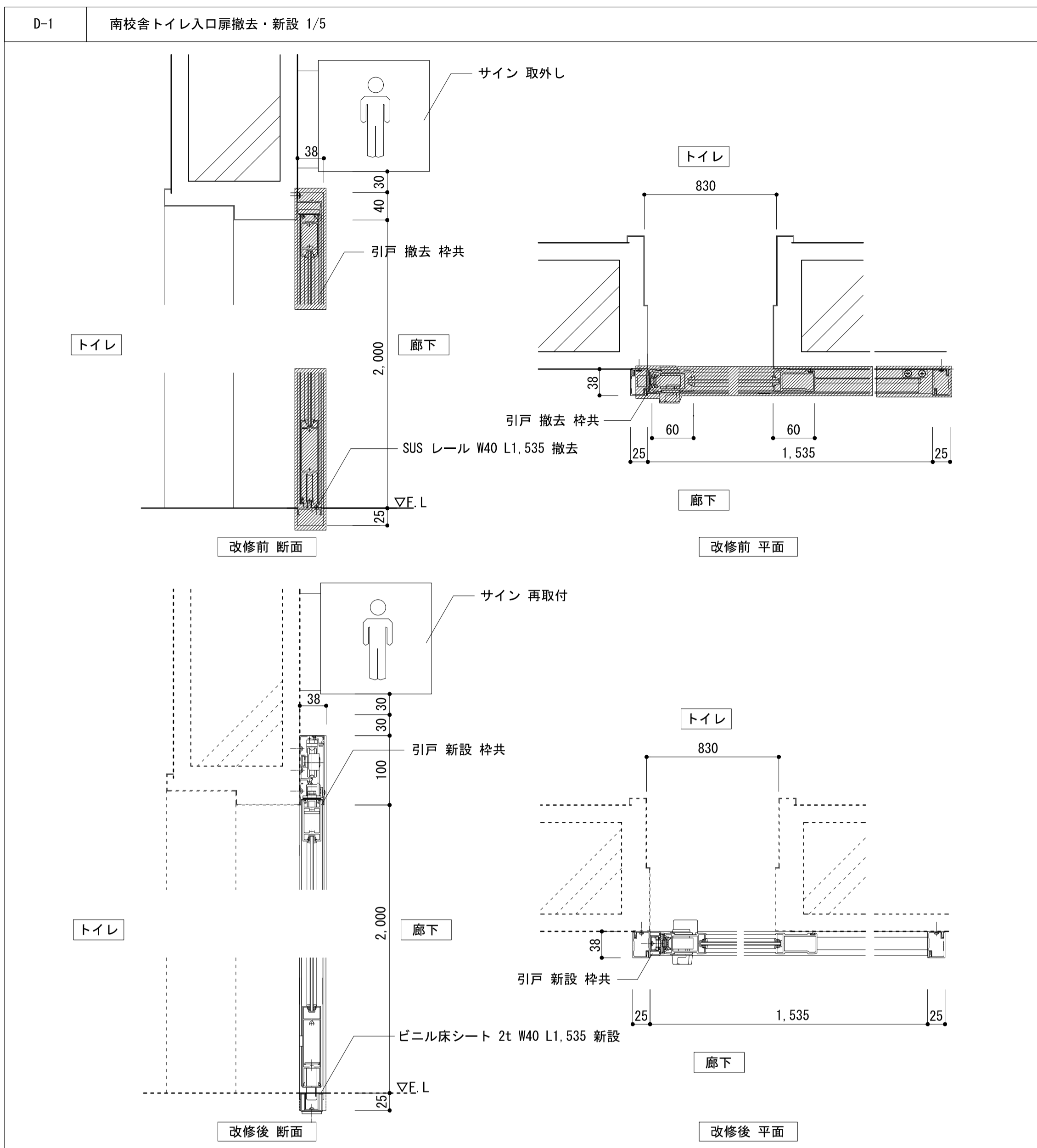
改修前 北校舎2階トイレ 天井伏図 1/50

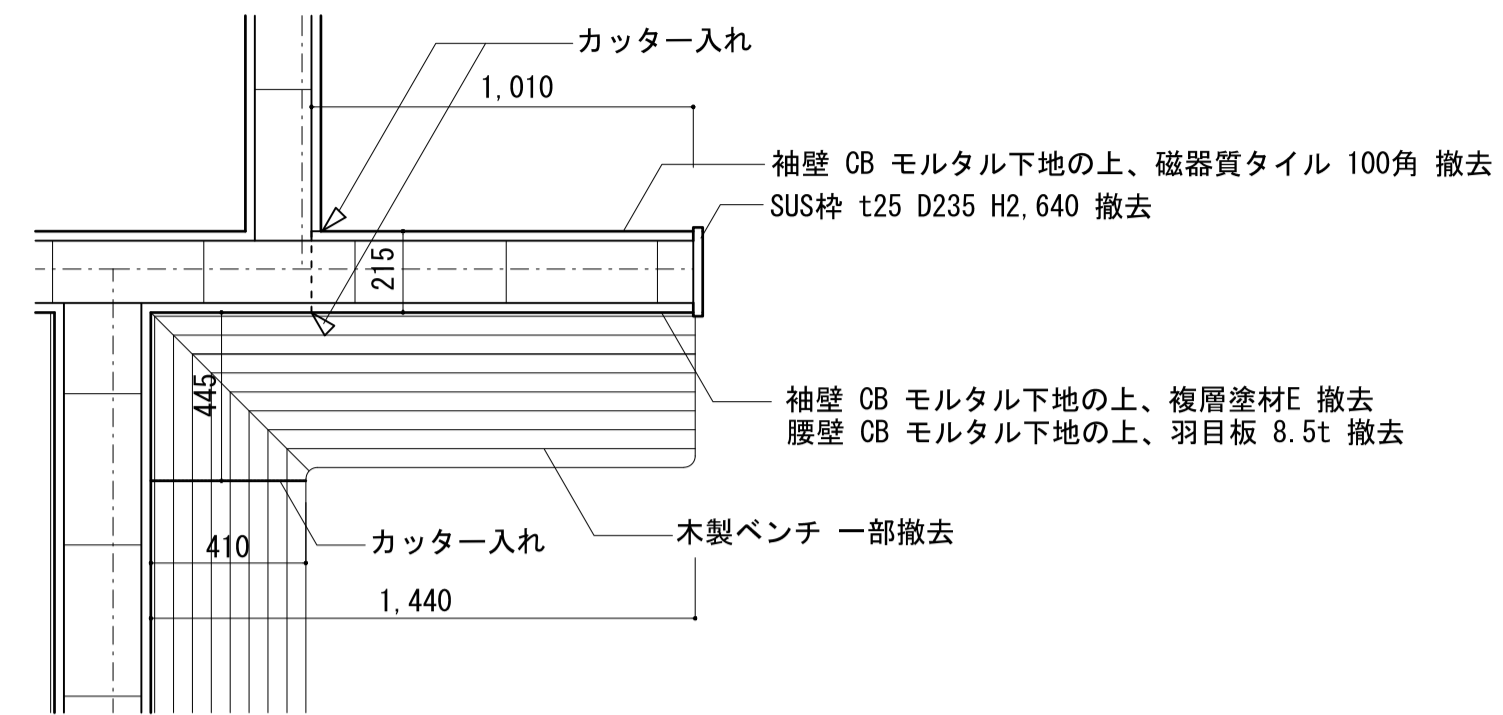


改修前 北校舎2階男子トイレ 展開図 1/50

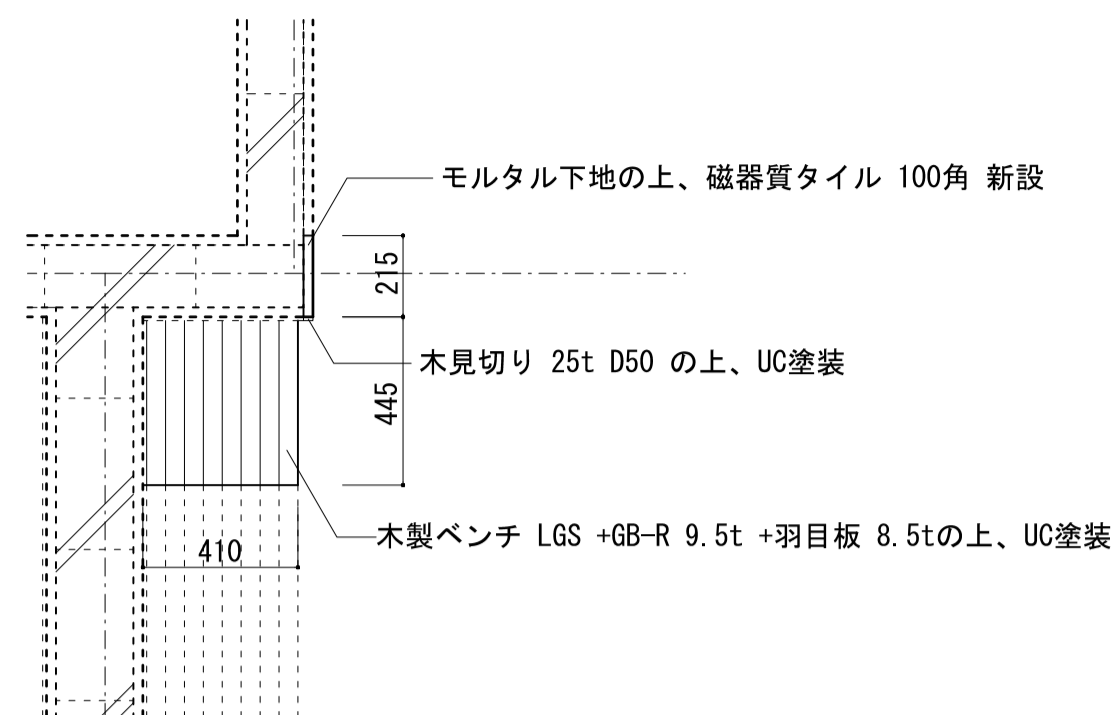


改修前 北校舎2階女子トイレ 展開図 1/50

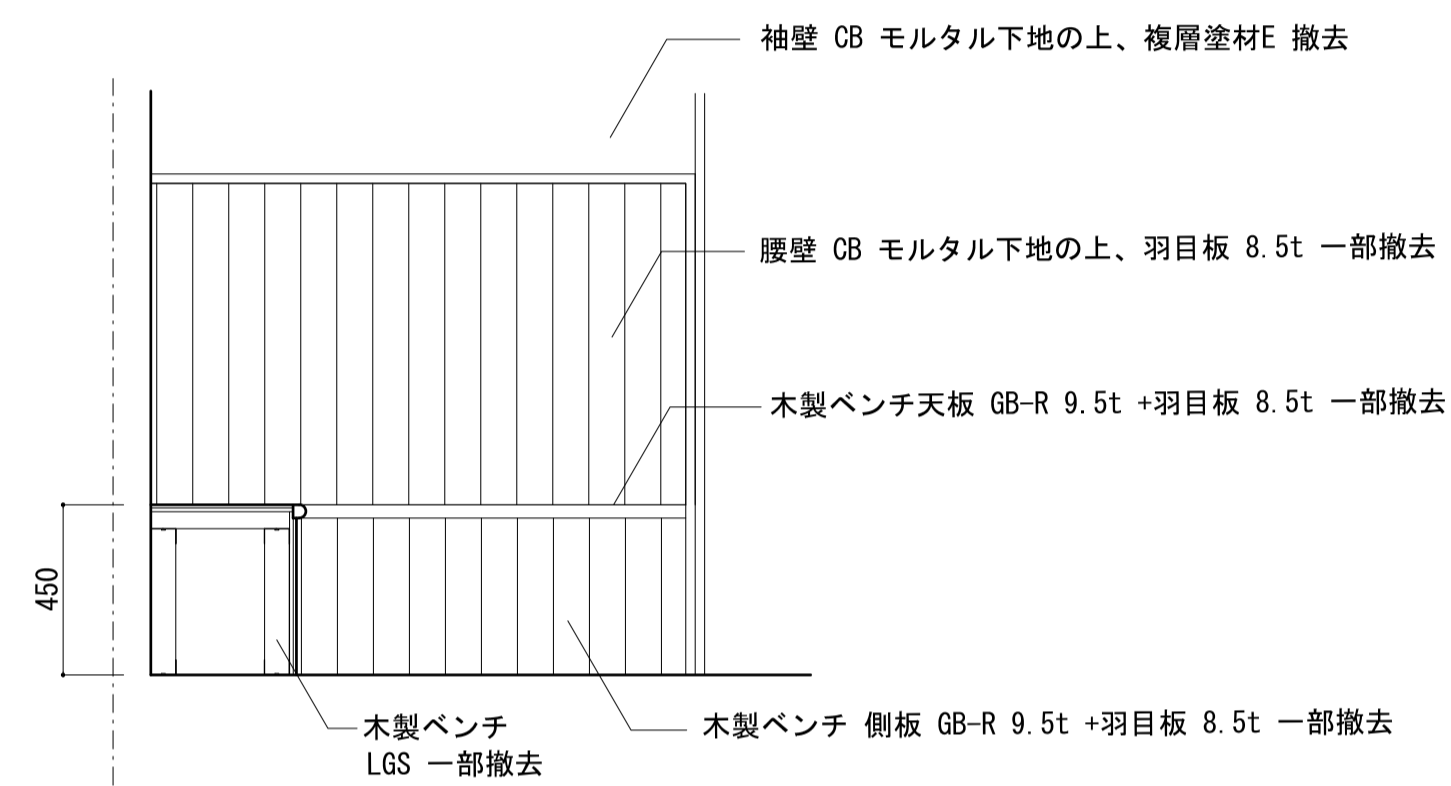




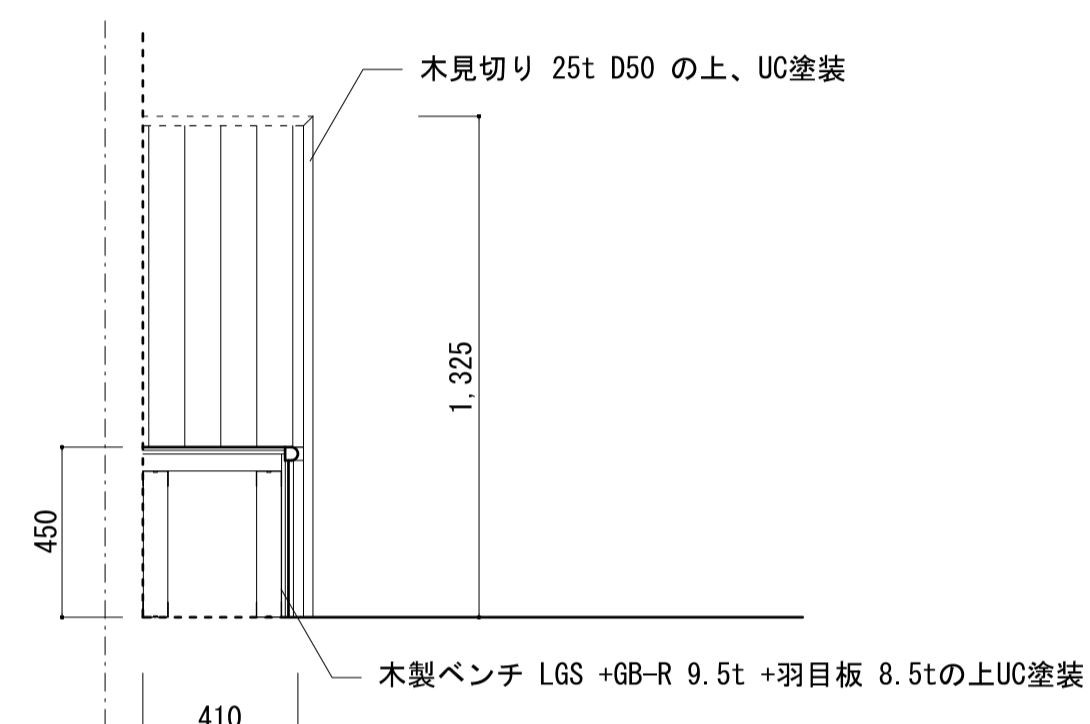
改修前 平面



改修後 平面



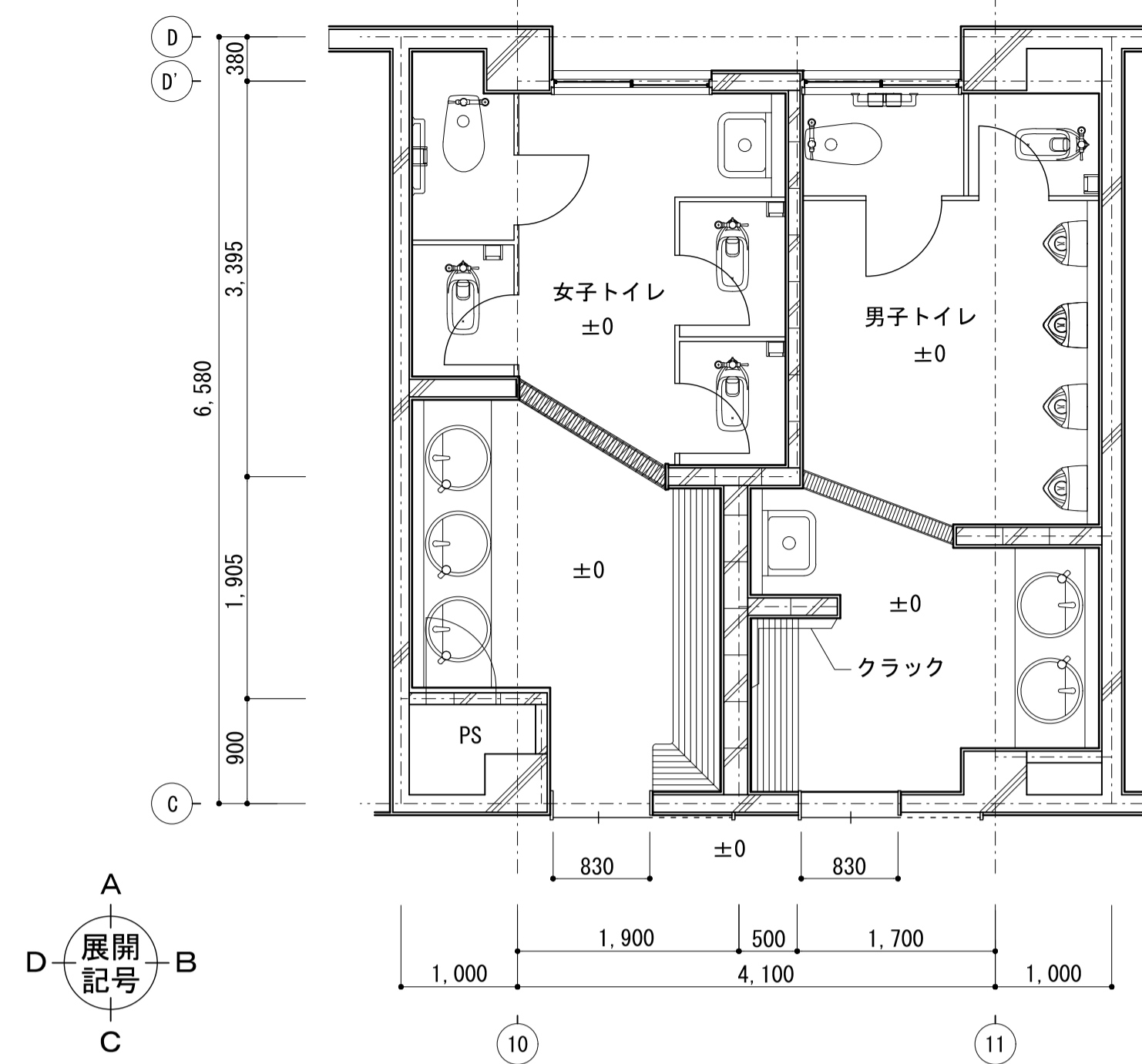
改修前 矢視図



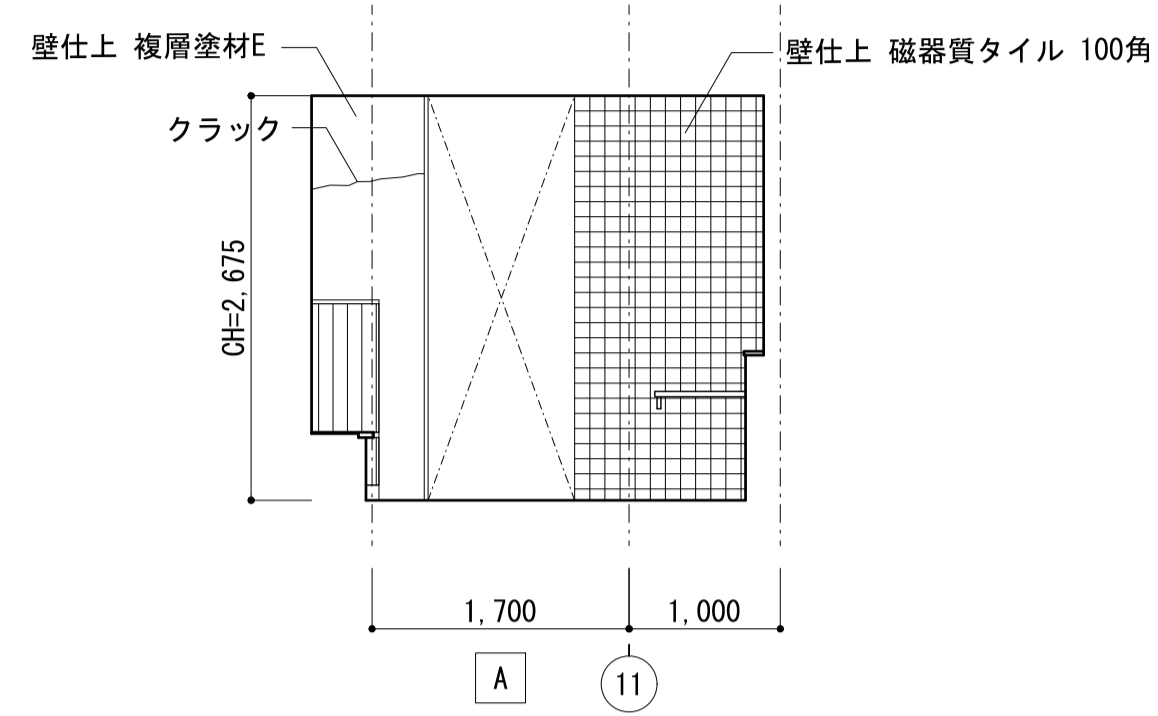
改修後 矢視図

課長	係長	課員	課員
----	----	----	----

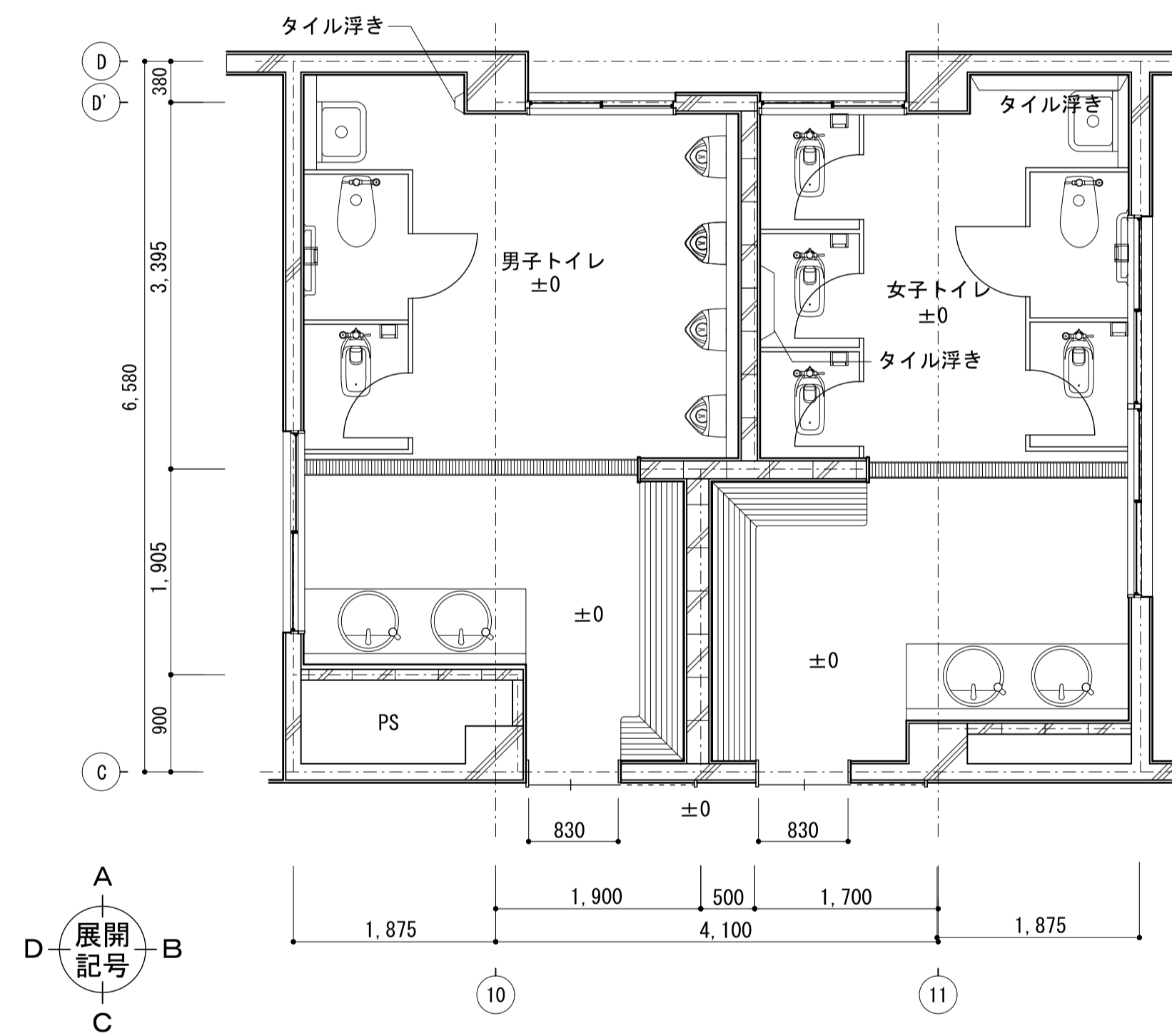
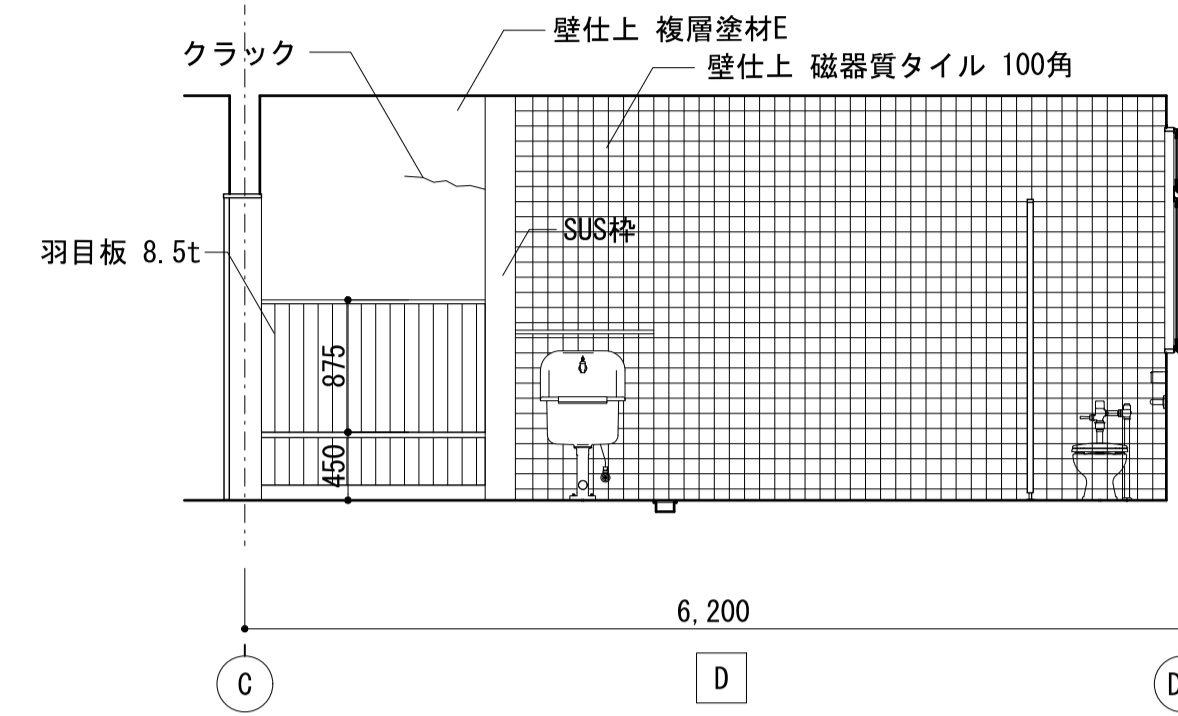
課長	係長	課員	課員
----	----	----	----



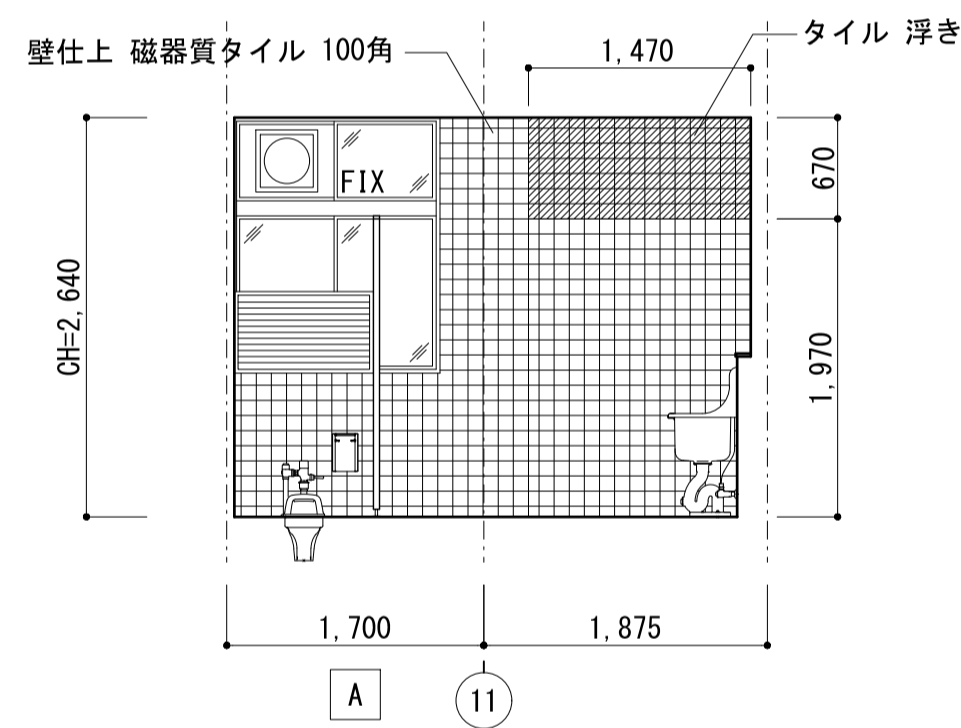
南校舎1階トイレ 劣化図 (平面) 1/50



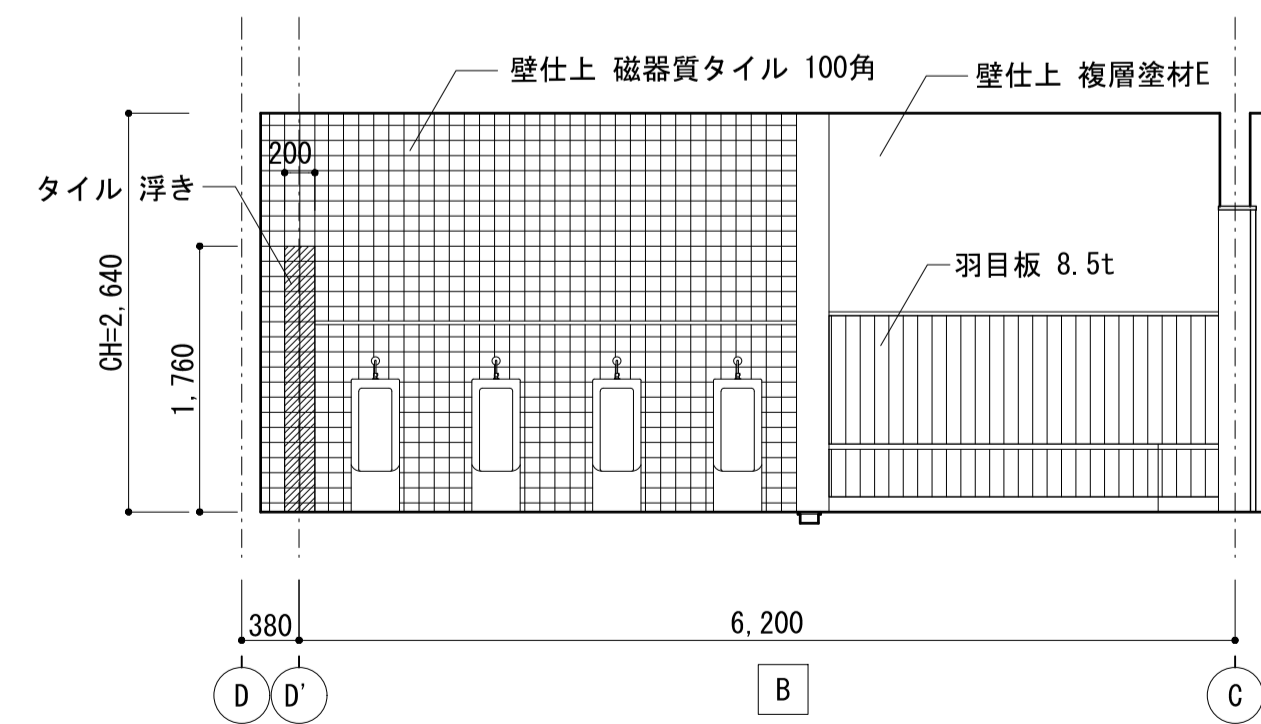
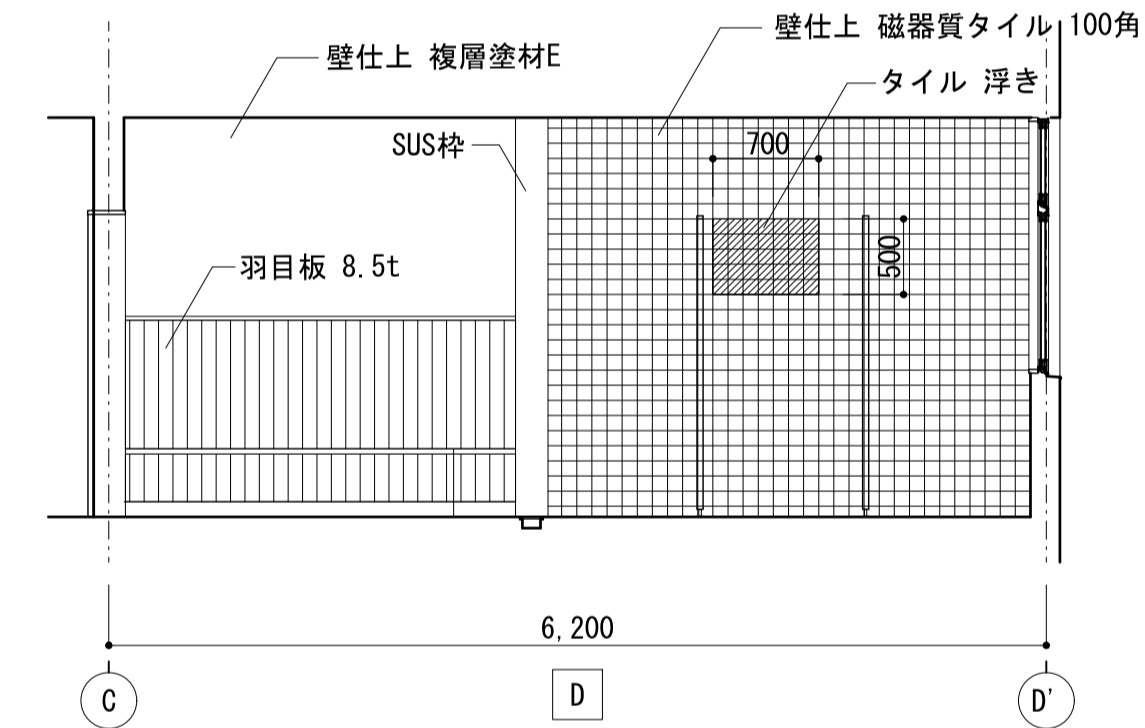
南校舎1階男子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



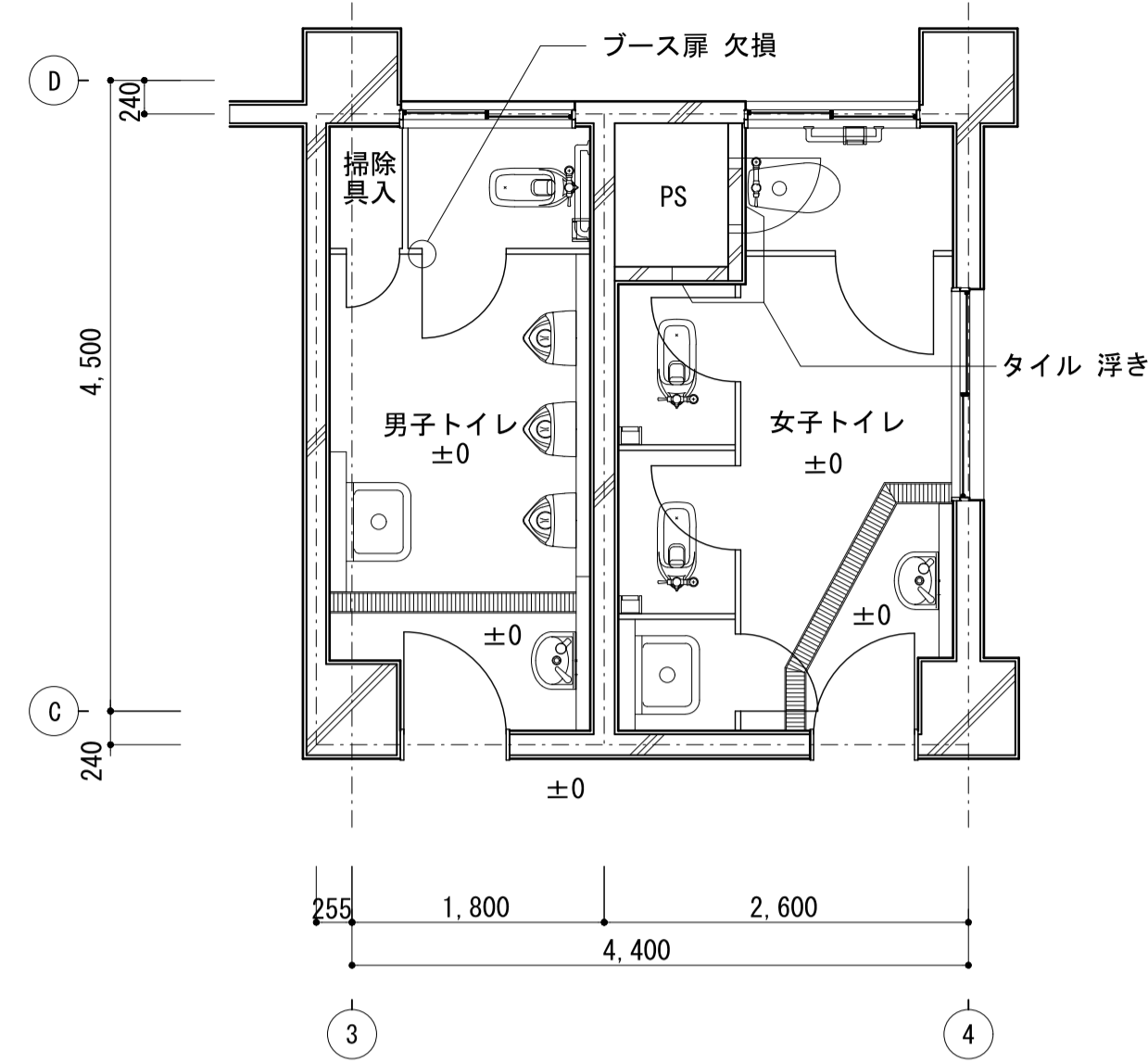
南校舎2階トイレ 劣化図 (平面) 1/50



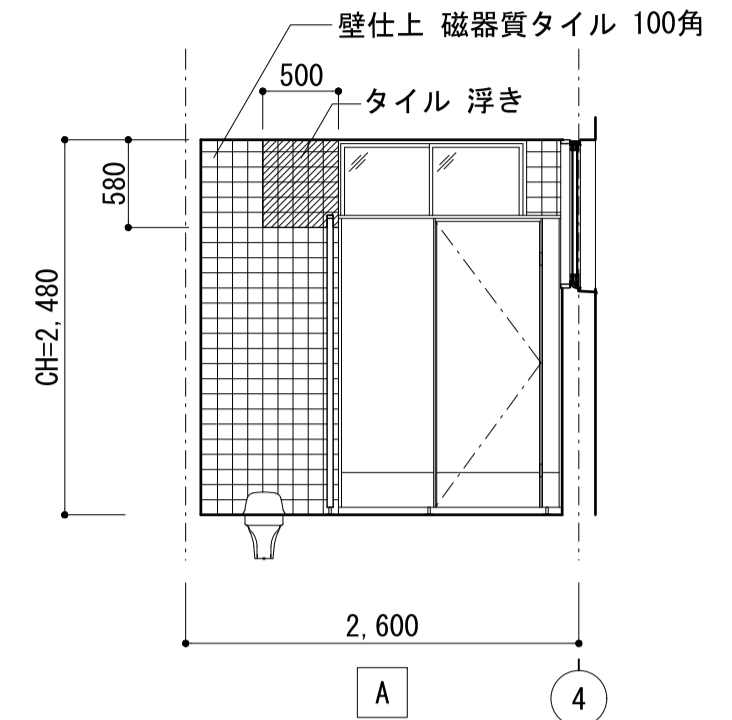
南校舎2階女子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



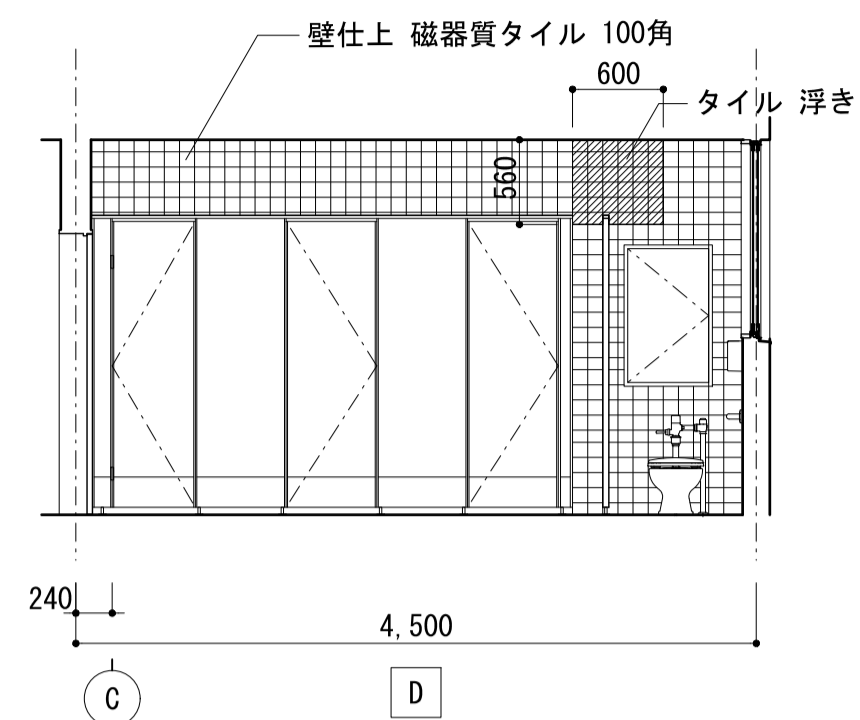
南校舎2階男子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



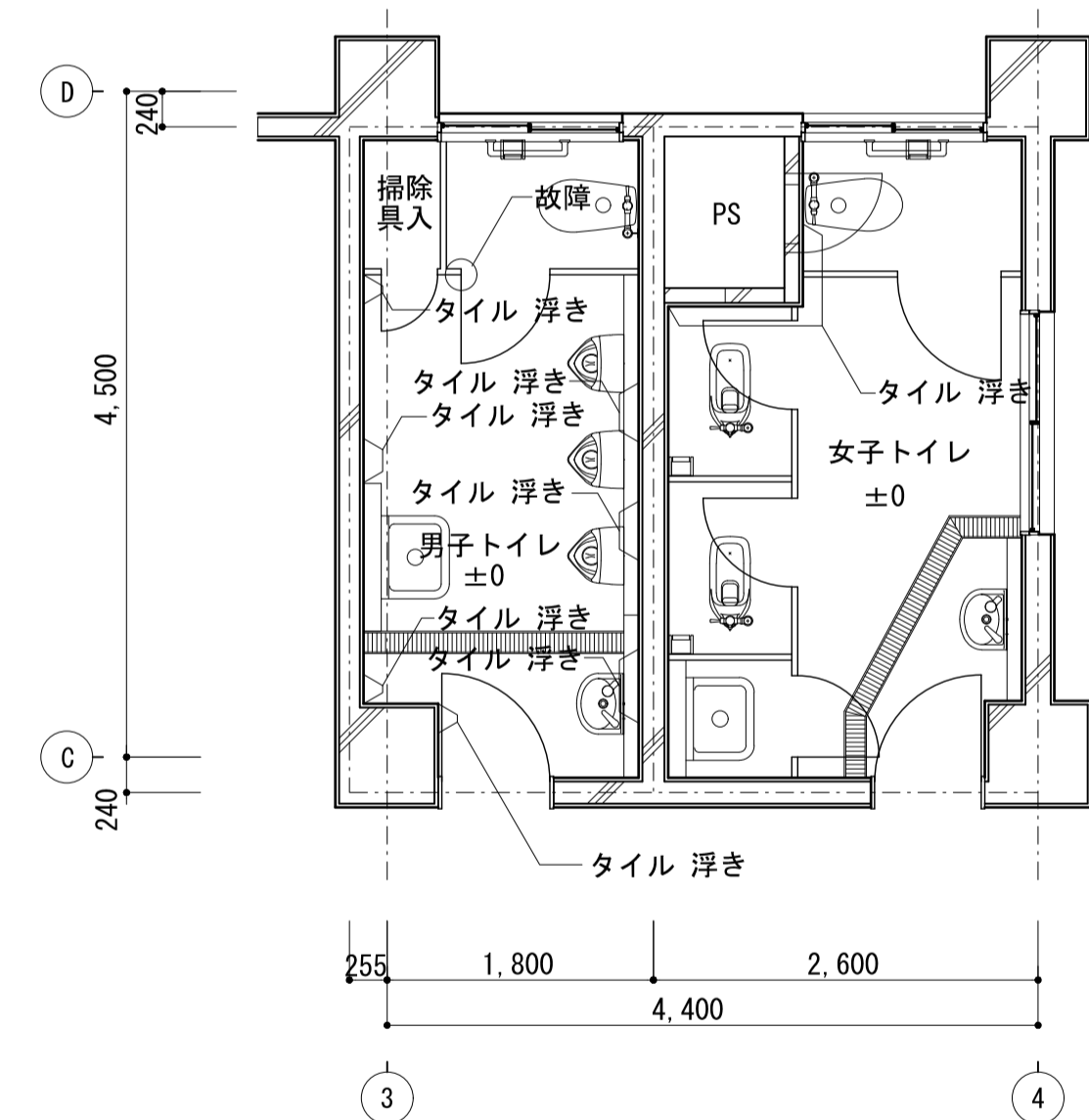
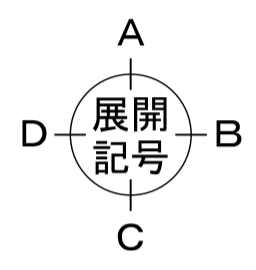
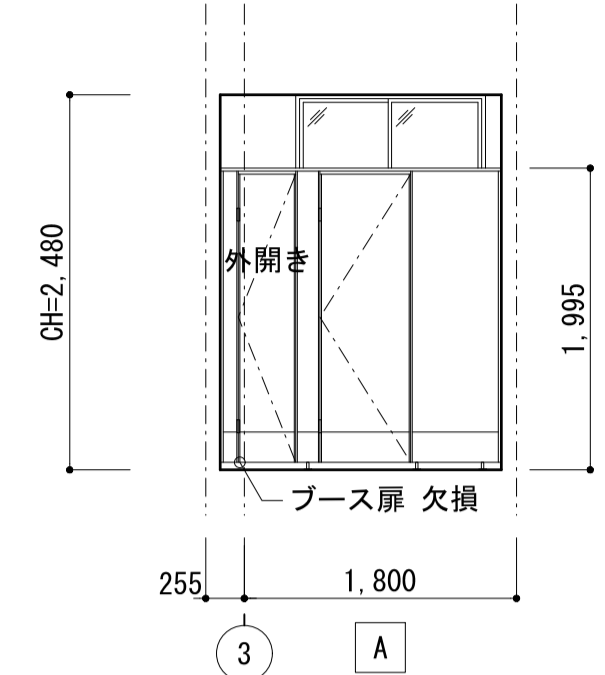
北校舎1階トイレ 劣化図 (平面) 1/50



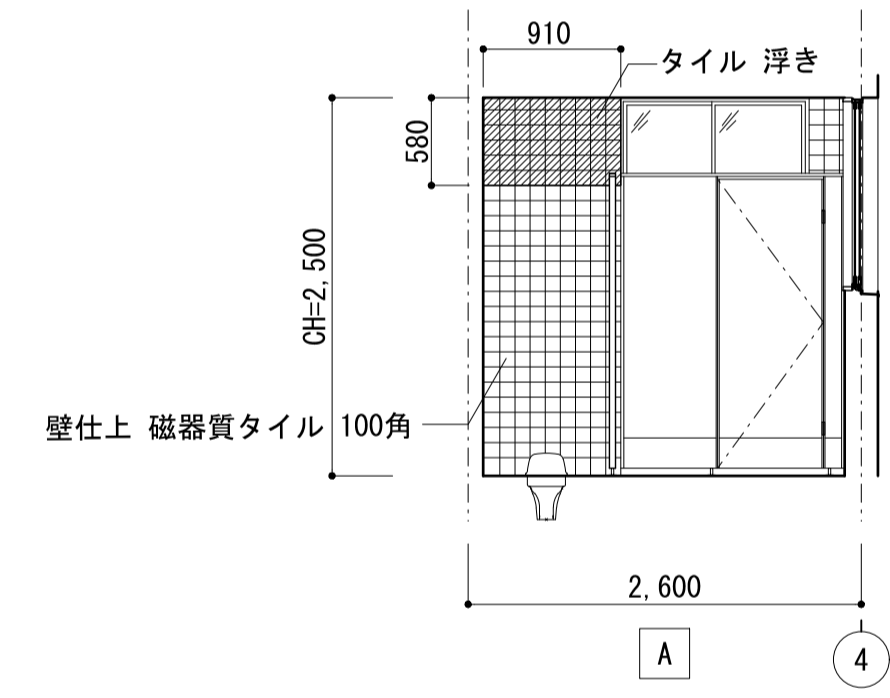
北校舎1階女子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



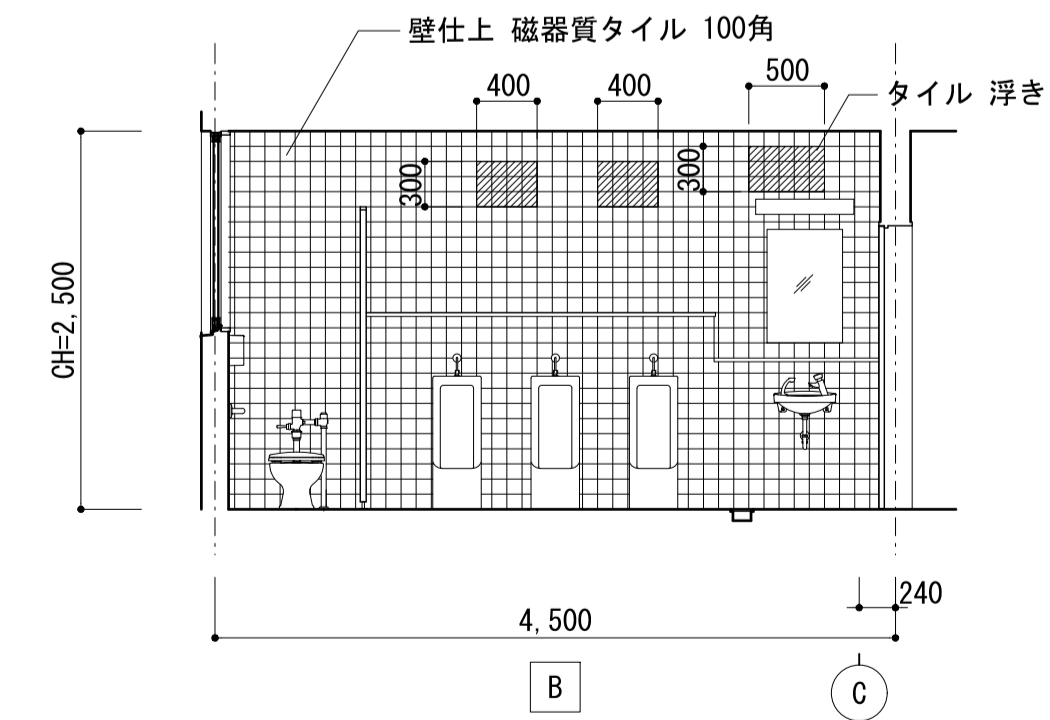
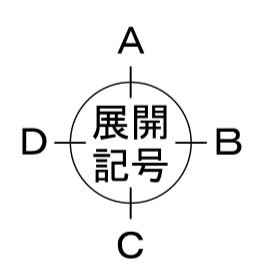
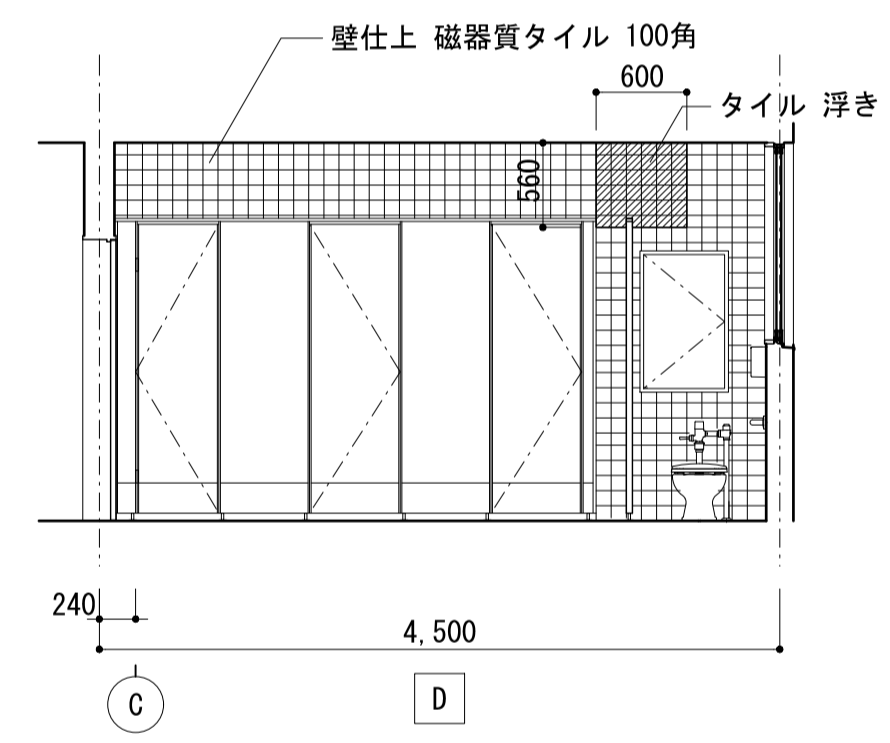
北校舎1階男子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



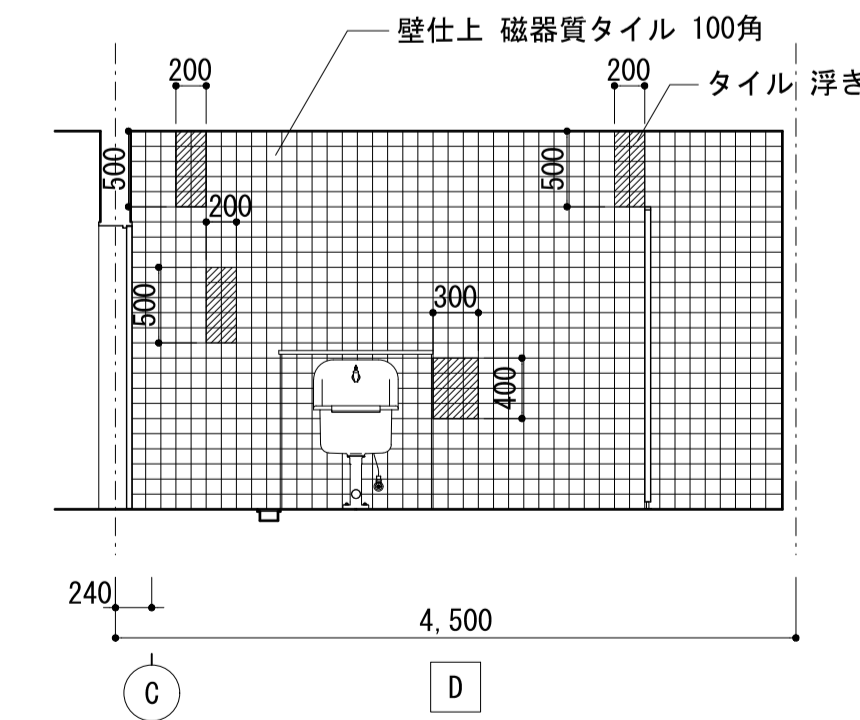
北校舎2階トイレ 劣化図 (平面) 1/50



北校舎2階女子トイレ 劣化図 (展開) 1/50

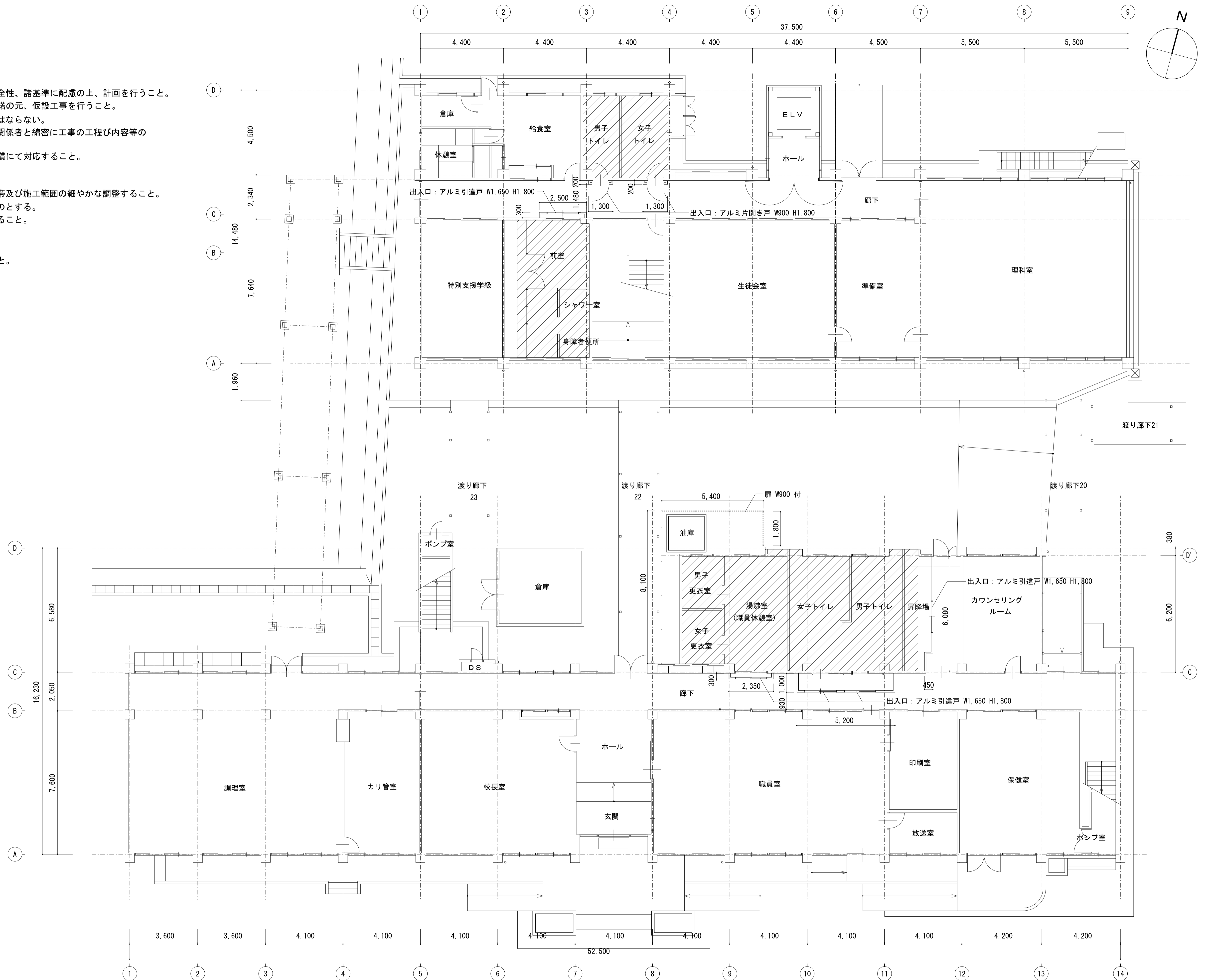


北校舎2階男子トイレ 劣化図 (展開) 1/50



【摘要】

- ※ 本仮設計画、要項等は、参考とし、実施状況、施工性、安全性、諸基準に配慮の上、計画を行うこと。
- ※ 仮設計画は工事着手前に担当者、施設管理者、監督員の承諾の元、仮設工事を行うこと。
- ※ 音、振動、粉じんが出る作業は12時～15時まではしてはならない。
- ※ 本工事は「居ながら工事」となるため、府中市及び中学校関係者と綿密に工事の工程び内容等の詳細を打ち合わせること。
- ※ 本工事中に仮設の盛替えや変更が発生した場合は、随時無償にて対応すること。
- ※ 工事による損傷、汚れが生じた場合は、復旧洗浄のこと。
- ※ 軽微な備品は養生の上、工事を行うこと。
- ※ 工事関係者と施設利用者との動線が交錯しないように時間帯及び施工範囲の細やかな調整すること。
- ※ 階段や廊下・通路に関しては、避難や通行に支障がないものとする。
- ※ 改修工事の同時進行箇所を減らし、施設への影響を軽減すること。
- ※ 建具改修は、土、日、祝日に行うこと。
- ※ 構内及び敷地周辺道路での喫煙を禁止とする。
- ※ 設備配管等工事に支障があるものは、仮移設・復旧すること。



【凡例】

- 仮囲い ガードフェンス H1,800
- 仮設間仕切、A種
- 改修範囲

1階仮設計画図(参考) 1/100

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

課長	係長	課員	課員
----	----	----	----

課長	係長	課員	課員
----	----	----	----

工事名	上下中学校トイレ改修工事
図面内容・縮尺	1階仮設計画図(参考図)

Ⅰ. 工事概要等
1. 工事名称 上下中学校トイレ改修工事
2. 工事場所 府中市上下町上下
3. 建物概要
建物名称 構造 階数 建築基準法による延べ面積(m2) 消防法施行令別表第一の区分 備考
上下中学校 RC造 3階 2,784 7項 既存
4. 工事種目 (○印の付いたものが対象工事種目)
建物別及び屋外工事種目 上下中学校
○電灯設備 改設一式
○誘導支援設備 新設一式
5. 指定部分 ※無し ・あり(工期 令和 年月 日)
対象部分: (改修工事の場合の部分使用 ※無し ・あり)

Ⅱ. 工事仕様
1. 共通仕様
(1) 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部の「公共建築工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」(ただし改修工事の場合は「公共建築改修工事標準仕様書(電気設備工事編)(令和4年版)」)及び「標準仕様書」という)及び「公共建築設備工事標準図(電気設備工事編)(令和4年版)」(以下「標準図」という)による。
(2) 機械設備工事及び建築工事を本工事に含む場合、機械設備工事及び建築工事はそれぞれの工事仕様書を適用する。
(3) 本工事は工事中及び完成後に必要に応じ次の調査を行うため、発注者より連絡があれば対応すること。
ア 公共事業労務費調査・工事中に実施(調査票の記入提出、調査票への協力等)
イ 契約不適合調査・建設工事請負契約約款第46条の5に定める期間内
2. 特記仕様
(1) 項目は、番号に○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項のうち選択する事項は○印の付いたものを適用する。ただし、○印のない場合は※印を適用する。
(3) 標準仕様書で「特記がなければ、」以下に具体的な材料・品質性能・工法検査方法を明示している場合において、それらが関係法令等(条項含む)に抵触する場合には、関係法令等の遵守(1. 1. 13)を優先する。

府中市建設部
都市デザイン課
課長 係長 課員 課員 課員
R06.09
作成年月日

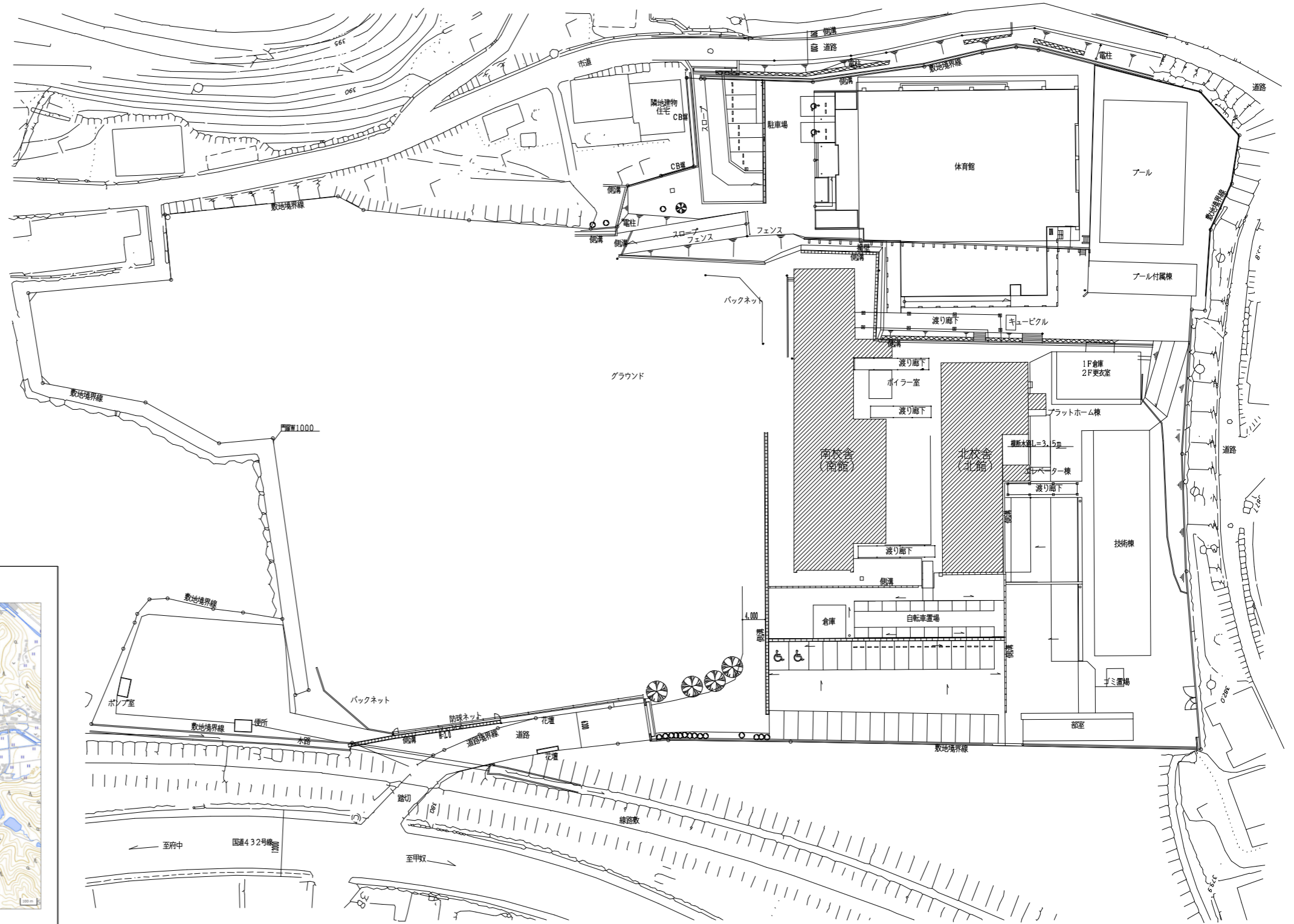
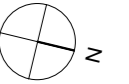
一般共通事項
7. 完成時の提出書類等
8. 足場
9. 工事用電力、水、その他
10. 監督職員事務所
11. 受注者事務所その他
12. 建設発生土の処理
13. 非破壊検査
14. 既存躯体への穿孔
15. あと施工アンカー
16. 電気工事士
17. 耐震施工
18. 電線類
19. 電線本数・管路等
20. 露出配管の塗装
21. 屋外露出配管の仕上げ
22. ケーブルの種類
23. フラッシュプレートの材質
24. プルボックスの塗装
25. 屋上・屋外の支持金物等
26. 接地極

記事項及び図面表記の範囲内で、環境負荷を低減できる材料を優先的に選定するよう努めるものとする。
(2) 別表-1に示す機材等を使用する場合は、次の①から⑥すべての事項を満たす証明となる資料を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、次の①から⑥すべての事項を評価された事を示す外部機関が発行する書面を提出し監督職員の承諾を受けた場合は証明となる資料等の提出を省略することができる。
①品質及び性能に関する試験データを整備していること。
②生産施設及び品質の管理を適切に行っていること。
③安定的な供給が可能であること。
④法令等で定めがある場合は、その許可、認可、認定又は免許を取得していること。
⑤製造又は施工の実績があり、その信頼性があること。
⑥販売、保守等の営業体制を整えていること。
(1) 工事完成図書引渡書A4版
(2) 完成図書
(3) 完成図面・施工図面二折りA3版製本
(4) 縮小完成図書・施工図面二折りA4版製本
(5) 工事写真(工事中写真A4版)(完成写真A4版)
(6) 電子成果品(電子納品)CD-R
(7) 工事監理図書A4版
(8) 工事概要図書A4版
(9) 諸官庁届出書類一覽表A4版
(10) 諸官庁届出書類(正)A4版
(11) 運転操作説明書A4版製本・取扱説明書
(12) 展開接続図A3版製本
(13) 安全管理台帳A4版・設備台帳A4版
(14) 型式台帳
※型式台帳は、監督職員が指定する様式で作成する。建物で使用する部材、機器を記入し提出すること。
※建築工事に伴う工事の提出部数は、建築工事に合わせる。
※工事写真は「當精工事写真作成要領」によるほか監督職員の指示による。
※完成図は、原則、CADにて修正を行い、図面枠内の適当な位置に「完成図」と表示する。本工事で設置する。・外部足場(種)・内部足場(種)
「手すり先行工法に関するガイドライン」に基づく足場のせつちにあたっては、同ガイドラインの別紙1「手すり先行工法による足場の組立て等に関する基準」における2の(2)手すり据え置き方式又は(3)手すり先行専用足場方式により行う。
本工事に必要な工事用電力、水及び諸手続きなどの費用はすべて受注者の負担とする。
本工事で設置する構内につくることができる
※ 現場説明書の施工条件明示による
・ 構内指示場所に敷き直し
・ 構内指示場所に堆積
はつり工事及び穿孔作業を行う場合は、事前に非破壊検査を行い監督職員に報告する。原則として探査方法は定式式埋設物調査(電磁誘導法又は電磁レーダ法)とする。放射線透過検査等による埋設物の調査を実施する場合、範囲は監督職員の指示による。放射線透過検査等の検査費は発注者負担とする。
穿孔機械を使用し、既存躯体に穿孔する場合は、金属探知により電源供給が停止できる付属装置を用いて施工すること。
施工後確認試験
試験方法 引張試験機による引張り試験
確認強度 対象機器ごとのアンカーボルト1本に作用する引抜き力以上
試験箇所数 1施工単位に対し1本以上
対象機器 (・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置 ・変圧器 ・)
最大電力500kW以上の場合においても、第1種電気工事により施工を行う。
設備機器の固定は次に示す設計用地震力に耐える方法とする。
ただし、重量1kN以下の一般機器については、製造業者の指定する固定方法を採用する場合は、この限りではない。
(1) 機器の部付け及び取付け
設計用水平地震力、機器重量[kN]・に、地域係数(・1.0 ※0.9 ・0.8)と次に示す設計用標準水平震度を乗じたものとする。
設計用標準水平震度
設置場所 機器種別 特定の施設 一般の施設
重要機器 一般機器 重要機器 一般機器
上層階 機器 2.0 1.5 1.5 1.0
防振支持の機器 2.0 2.0 2.0 1.5
屋上及び塔屋 水 槽 類 2.0 1.5 1.5 1.0
機器 1.5 1.0 1.0 0.6
中間階 防振支持の機器 1.5 1.5 1.5 1.0
水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6
機器 1.0 0.6 0.6 0.4
地下及び1階 防振支持の機器 1.0 1.0 1.0 0.6
水 槽 類 1.5 1.0 1.0 0.6
上層階とは2～6階建の場合は最上階、7～9階建の場合は上層2階、10～12階建の場合は上層3階、13階建以上の場合は上層4階とする。中間階とは地階、1階を除く各階で上層階に該当しないもの。水槽類には燃料小出し槽を含む。
重要機器は次のものを示す。
(・配電盤 ・非常用発電機 ・直流電源装置 ・交流無停電電源装置 ・交換機 ・火災報知受信機 ・中央監視制御装置 ・通信総合装置)
(2) 設計用鉛直地震力
設計用水平地震力の1/2とし、水平地震力と同時に働くものとする。
(3) 横引き配管等の耐震支持は、施設の種類に応じたものとする。
(1) EM電線類で規格等の記載のないものは、ハロゲン及び鉛を含まないものとする。
(2) 通信ケーブルでJCS規格にない対数のケーブルはJCS規格に準じたものとする。
(3) 盤内配線はEM電線を使用する。ただし、製造者標準品は除く。
分電盤、制御盤、端子盤などの2次配以降の配線経路、電線太さ、電線本数、管径などは監督職員の承諾を受けて変更してもさしつかえない。
塗装する部分 ・居室() ○前室 ・廊下 ・屋上、屋外 ○屋外 ・機械室
屋外露出配管(厚鋼電線管)で塗装を行わない場合は、溶融亜鉛めっき仕上げ(めっき付着量300g/m以上)とする。
EM-高圧架橋ポリエチレンケーブルは、JCS4395「6600V架橋ポリエチレンケーブル(3層押出型)」によるものとし、次に示す。
呼称(図示記号) 種 類
6kV EM-CPE(E) 6600V 架橋ポリエチレン絶縁熱可塑性ポリエチレンスチレンケーブル(6600V CE/F(E))
6kV EM-CPE(E) 6600V 11kV用アルミ箔付架橋ポリエチレン絶縁熱可塑性ポリエチレンスチレンケーブル(6600V CE/F(E))
○金属製(ステンレス、新金属も含む) ・樹脂製(使用場所)
シール等を貼付し、用途を表示する。
ステンレスプルボックスの塗装 ※有(メーカ指定色又は指定色仕上)・無(素地仕上)
ステンレス製または鋼材に溶融亜鉛めっきを施したものである。
接地極の材料は次に示す。
接地の種類 記号 接地抵抗値 接 地 種
・ 共同 接 地 E_A-D 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ 共同 接 地 E_A-C-D 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ A 種 E_a 10Ω以下 E_B×2道-2線
・ B 種 E_b Ω以下 E_B×2道-2線
・ C 種 E_c 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ D 種 E_d 10.0Ω以下 E_B×1
・ 高 圧 避 雷 器 E_UH 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ 交 換 機 用 E_t 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ 通 信 用 E_As 10Ω以下 E_B×3道-2線
・ 通 信 用 E_Dt及E_Ds 10.0Ω以下 E_B×1
・ 電話引込口の保安装置 E_s 10.0Ω以下 E_B×1
・ 測 定 用 E_Ls --- 以下 E_B×1
(連絡及び単独の場合、E_BはD=14 L=1,500又はW=40 L=1,200とする)
(E_D, E_Dt, E_Ds, E_U, E_sの場合、E_BはD=10 L=1,000又はW=30 L=900とする)

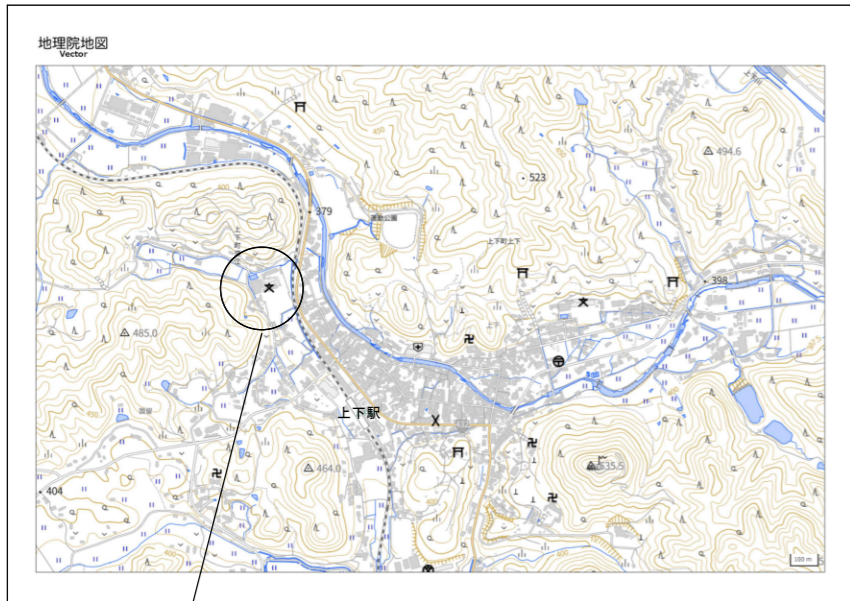
一般共通事項
2.8. 他工事との取合い
2.9. 天井上げ区分
2.10. 配線図記号その他
3.1. 通用区分
3.2. 呼び線
3.3. 露出配管の固定保護
3.4. 屋上・屋外等への設置
3.5. 機材の取扱い
3.6. 官公署への手続き
3.7. 工事現場の表示
3.8. 交通誘導員
3.9. 電子納品
4.0. 地質変位等への対応
4.1. 地中配管の埋設深さ
電灯設備
1. 照明制御の照度測定等
2. 照明制御装置設定器
3. アドレス設定器(多重伝送式)
4. 点検用リモコン(非常用器具・誘導灯用)
5. 配線器具
6. 照明器具
動力設備
1. インバータ装置の規約効率
動力設備
1. 接地の種類
2. 保安器用接地
3. 壁掛電話機
構内配電線路
1. 地中箱
2. 高圧負荷開閉器
3. 高圧ケーブルの端末部
4. 高圧電力ケーブルの屋外端末処理
5. 照明用ポール
6. 施工方法
構内通信線路
1. 大地抵抗の測定
2. 接地システム
受変電設備
1. 変電設備容量
2. 変圧器
3. 予備品等

図面に記載されていない工事区分は、別紙工事区分表を示す。
() 書きの室名は直天井を示し、その他は二重天井を表示。
(1) EEF1.6-20x2ft, EEF1.6-40を使用してもよい。
(2) EMケーブルの表記は警報用及び回転ケーブルを除き「EM-」を省略する。
建築基準法に基づき定まる風圧力及び積雪荷重の算定には次の条件を用いる。
(1) 風圧力
風速(V_0)・3.0・3.2・3.4 m/s) 地表面粗度区分(Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ・Ⅳ)
(2) 積雪荷重
平成12年建設省告示第1455号における区域 別表()
長さ1m以上の入線しない電線管には1.2mm以上の樹脂被覆鉄線管を挿入する。
2. 5m以下のサルダ及びダクターには保護を行う。
建築物(構造物)に直接設置するプルボックス、各種盤及びダクターには周囲にシール処理を行う。
工事の着手、施工、完成にあたり、関係官公署その他関係機関への必要な届出手続き等を遅滞なく行う。
現場の見えやすい位置に、監督職員が指示する次の表示板を設置する。
※工事等の表示板(900mm×600mm) ・工事概要等の説明看板(900mm×600mm)
作業期間、交通誘導員を()人/日)配置すること。
(1) 本工事は、受発注者間の情報を電子的に交換・共有することにより、業務の効率化を図る情報共有システムの対象である。なお、適用にあたっては「広島県工事中情報共有システム運用ガイドライン」に基づき実施すること。
(2) 本工事で使用する情報共有システムは次のとおり。
広島県工事中情報共有システム
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/ass/index.html
(3) 監督職員及び受注者が使用する情報共有システムのサービス提供者(以下「サービス提供者」という。)との契約は、受注者が行い、利用料を支払うものとする。
(4) 受注者は、監督職員又はサービス提供者から技術上の問題点の把握、利用にあたっての評価を行うためのアンケート等を求められた場合、協力しなければならない。
電子成果品を「當精工事電子納品要領」に基づき作成する。
https://chotatsu.pref.hiroshima.lg.jp/nouhin/index02.html
※ 工事管理ファイル ・ 施工計画書 ・ 工程表 ・ 打合せ簿
※ 機材関係資料 ・ 施工関係資料 ※ 検査関係資料 ・ 発生材関係資料
※ 完成図 ・ 保全に関する資料 ※ 施工図 ※ 完成写真 ・ その他
建物引込み部の地盤変位等への対応
想定寸下量 (・200mm以下 ・600mm以下 ・1,000mm以下)
特記なき場合は地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。
コンクリート製埋設機は形名表示のものを用いる。
明るさセンサーによる照明制御を行う部屋は、照度測定を行い、測定表を監督職員に提出する。なお、測定箇所は監督職員の指示による。
照度測定(100%点灯時(※夜間) ・()) (調光制御点灯時(※夜間 ※昼間))
納入数 ※1個 ・ 個
設定器機能 ・アドレス設定 ・グループ設定 ・パターン設定
・タイムスケジュール設定
納入数 ※1個 ・ 個
納入数 ※1個 ・ 個
○接地極付きコンセント(2P15A)はプラグ無しとする。
・防水形コンセントはプラグ無しとする。
・ハネレスインポートボックス用OAタップのケーブルは、ハロゲン及び鉛を含まない材料とする。
(1) LEDの光色は別図面に指定がある場合を除き下記による。
LEDの光色色 (・電球色 ※昼白色)
(2) LED照明器具の定格入力電圧はユニバーサル電圧(100V~242V)に対応するものとする。
三相可変速運転用インバータ装置の規約効率
電動機出力(kW) 0.4 0.75 1.5 2.2 3.7 5.5 7.5 11
規約効率(%) 88.0 88.5 92.0 93.0 94.0 94.0 94.5 94.5
電動機出力(kW) 15 18.5 22 30 37 45 55 75
規約効率(%) 95.0 95.4 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5 95.5
備考
(1) 規約効率はJEM-TR245「汎用インバータの規約効率」により算出した値とする。
(2) 0.4kWの効率はJIS C 4212「高効率低圧三相可変形電動機」の定格電圧200V、1P4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
(3) 0.75kWの効率はJIS C 4213「低圧三相可変形電動機トリアンモーター」の定格電圧200V、1P4X、6極、50Hzの電動機を駆動したときの値とする。
蓋の記号表示 鋳造流込み(・電力 ※電気 ・)
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
※閉鎖形(中形増形) ・閉鎖形(重形増形)
・避雷器内蔵 ・地絡継電器付(※方向性 ・無方向性)
※別置制御装置までの制御ケーブルを付属すること。
高圧電力ケーブルの端末部増設対策(熱収縮テープによるシースずれ対策等)を行う。
・一般形 ・耐塩形
照明用ポールには配線用遮断器(引外し装置なし)又はカットアウトスイッチ(素通しヒューズ)を内蔵する。ただし、ガーデニングライトは除く。
埋設深さ 特記なきは地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。
建物側配管引込み部の地盤変位対応(寸下量 ・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下)
蓋の記号表示 鋳造流込み(※通信 ・)
ハンドホール内のケーブル支持等は、マンホールに準じて行う。
アスファルト舗装面に使用するハンドホール及び鉄蓋は、アスファルト舗装用とする。
埋設深さ 特記なきは地表面(舗装がある場合は舗装下面)から300mm以上とする。
煙物側配管引込み部の地盤変位対応(寸下量 ・0.2m以下 ・0.6m以下 ・1.0m以下)
工事着事前に大地抵抗率を測定し、測定表及び接地極導路判定記録書を監督職員に提出する。
・構造体利用接地 ・A型接地極 ・B型接地極 ・JIS A 4201-1999
次のものを付属させる。
・移動車輪(5kV以上以上のもの) ・防震ゴム ・ダイヤル温度計(計針付)
メーカや変圧器の表面は充電部とみなし、注意標識を取付ける。
標準仕様書によるほか電力ヒューズ現用定格値のものを現用数

発電設備
(燃料系発電装置)
1. 電気方式
2. 発電機容量
3. 燃料小出槽
4. 燃料種別
(太陽光発電装置)
1. 太陽電池アレイ
2. パワーコンディショナ
3. 表示装置
4. 連系する電力系統
増幅器
・時報及び自動放送(体操放送等)はアッテネータを経由した回路とする。
・増幅器の入出力配線と外部配線(壁ボックス等)の接続はコネクタによる。(一斉回路は使用しない)
その他
1. 機器取付高
機器取付高は下記を標準とする。ただし、天井高3m以上の場合及び機器の使用に支障がある場合は監督職員と協議する。
電 取引用計器 地上~窓中心 1,800~2,000
電 引込開閉器 床 上~中心 1,800~2,200
電 (・移動用・非・誘導灯用) 床 上~中心 1,500(上層:900以下)
電 (・照明用・非・誘導灯用) 床 上~中心 1,500
電 (・自動・手動切替) 床 上~中心 1,800
電 コンセント(一般) 床 上~中心 1,300
電 (・和室) 床 上~中心 150
電 (・台) 台 上~中心 150
電 (・土間) 床 上~中心 800~1,300
電 (・車庫用用器) 床 上~中心 400
電 (・車庫用・非・誘導灯用) 床 上~中心 900
電 (・トイレ) 床 上~中心 300~400
電 プラケット(一般) 床 上~中心 2,100~2,300
電 (・路端) 床 上~中心 2,000~2,500
電 (・壁) 壁 上層~中心 150
動 手元照明装置 床 上~中心 1,500(上層:900以下)
力 壁面スイッチ 床 上~中心 1,500
力 操作スイッチ 床 上~中心 1,300
構内交換機 端子盤 床 上~下 端 300
保安器箱 天井下~下 端 200
壁付アウトレット 床 上~中心 300
壁付コンセント(一般) 床 上~中心 150
壁付電話機 床 上~中心 1,300
電気設計 壁掛形時計 床 上~中心 1,500(上層:900以下)
子時計 床 上~中心 天井高0.9
名 称 測 点 取付高(mm)
名 称 測 点 取付高(mm)
取引用計器 地上~窓中心 1,800~2,000
引込開閉器 床 上~中心 1,800~2,200
分電盤 OAB 実験室 床 上~中心 1,500(上層:900以下)
ホーム分電盤 天井下~上 端 200
スイッチ 床 上~中心 1,300
電 源 箱 床 上~下 端 300
(・照明用・非・誘導灯用) 床 上~中心 900
(・自動・手動切替) 床 上~中心 1,800
コンセント(一般) 床 上~中心 1,300
(・和室) 床 上~中心 150
(・台) 台 上~中心 150
(・土間) 床 上~中心 800~1,300
(・車庫用用器) 床 上~中心 400
(・車庫用・非・誘導灯用) 床 上~中心 900
(・トイレ) 床 上~中心 300~400
プラケット(一般) 床 上~中心 2,100~2,300
(・路端) 床 上~中心 2,000~2,500
(・壁) 壁 上層~中心 150
受電機・耐受電機 床 上~操作部 800~1,500
機器収容箱 床 上~中心 800~1,500
発信機 床 上~中心 800~1,500
ベル 天井下~上 端 200
表示灯 天井下~下 端 200
ガス漏れ中継器 天井下~中心 300
検知器(廊下ガス) 天井下~中心 300
(・LPガス) 床 上~上 端 300
壁掛形時計 床 上~中心 1,500(上層:900以下)
子時計 床 上~中心 天井高0.9
機 材 名
○LED照明器具(一般屋内用に限る)
・ 照明制御装置
・ 可変速運転用インバータ装置
・ 盤類
・ 高圧機器
・ 高圧限流ヒューズ
・ 絶縁監視装置
・ 蓄電池
・ 交流無停電電源装置(UPS)
・ 太陽光発電装置
・ 監視カメラ装置
・ 中央監視制御装置
・ 監視制御装置
3. 快適トイレモデル工事
本工事は快適トイレモデル工事(※発注者指定型 ・受注者希望型)であり、「快適トイレモデル工事実施要領(最新版)」に基づき実施するものとする。
快適トイレチェックリストの様式は、「広島県の調達情報」の「様式>建設工事関係_その他の契約関係の様式」に掲載している。
また、完成検査までに提出するアンケートは、「広島県の調達情報」の「入札・契約制度> 入札・契約制度関係要綱」に掲載している。
4. 施工(業務)計画書の記載
(1) 次の内容について、「その他」項目に記載を求める。
ア 発注者から明示又は受注者が自ら行う「法令及び条項等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」
イ 上記アの内容について「不測の事態等が生じた場合の対応方法」
ウ 上記ア、イの内容について「現場作業に従事する者に対する周知の方法」
(2) 「施工方法」等の関連する項目に、許可承諾条件等を適切に反映するよう求める。
(3) 「法令及び条項等に基づく各種手続き及び許可承諾条件」等の変更が生じた場合は、施工(業務)計画書の重要な変更が生じたものとして取り扱うこととし、変更施工(業務)計画書の提出を求める。



注 記
 1) 既存図面が無い部分、現状と相違がある部分がある為、不明な補遺部及び回廊については想定で記入している。要調査の上施工を行う事。



府中市立上下中学校
 府中市上下町上下915

付近見取図

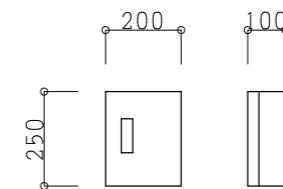
配置図 1/400

府中市建設部 都市デザイン課	作成年月日 R06.09	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員	特記	工事名 上下中学校トイレ改修工事	図面内容・縮尺 配置図・付近見取図	図面番号 E-02

分電盤 (改修前)		は改修範囲を示す。			
盤名称 キャビネットの 形式と構造 (容量kVA)	回路 番号	分岐開閉器	負荷		備考
			名称	容量 (VA)	
L-1 南校舎 1φ3W 南校舎L-129 CVT38* 22.635 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200	
	④	MCCB2P50/20A (1E)	自動火災報知設備	100	
		CKS3P60A	2階メインスイッチ (L-2)	8820	
		CKS3P60A	1階西メインスイッチ (調理室)	6900	
	①	MCCB2P50/20A (1E)	不明 コンセント	300	
	②	#	不明	100	
	③	#	不明	500	
	⑤	#	校長室 電灯	1225	
	⑥	#	ファンコイル	1400	兼便所コンセント
	⑦	#	廊下・外灯・便所 電灯	690	
⑧	MCCB2P50/20A (2E)	職員室	2400		
L-2 南校舎 1φ3W CVT38* 8.82 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	不明 コンセント	300	
	②	#	不明	600	
	③	#	不明	600	
	④	#	ファンコイル	1400	
	⑤	#	廊下・便所 電灯	540	
	⑥	MCCB2P50/20A (2E)	不明	1680	
	⑦	#	不明	1600	
	⑧	#	不明	1600	
	⑨	MCCB2P50/30A (1E)	不明	500	
	L-1 北校舎 1φ3W CVT100* 42.128 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200
		CKS3P100A	L-2	14250	
		CKS3P100A	L-3	18240	
		MCCB2P50/30A (1E)	L-1 1	1200	
①		MCCB2P50/20A (2E)	普通教室 電灯	2000	
②		#	理科教室	1400	
③		MCCB2P50/20A (1E)	廊下・準備室・図書室	1225	
④		#	共同廊下室 コンセント	500	
⑤		#	普通教室	600	
⑥		#	理科教室	400	
⑦		#	予備室	873	
⑧	#	不明	-		
⑨	#	便所・ラン コンセント	740		
⑩	#	エレベーター	500		
⑪	#	不明	-		
L-2 北校舎 1φ3W 北校舎L-129 IV22'x3 14.25 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200	
	①	MCCB2P50/20A (2E)	普通教室 電灯	2000	
	②	#	被服教室	1300	
	③	MCCB2P50/20A (1E)	廊下・準備室・便所・作法室	930	
	④	#	作法室・前室 コンセント	400	
	⑤	#	普通教室	400	
	⑥	#	普通教室・準備室	400	
	⑦	#	準備室・被服教室	600	
	⑧	#	アイロン台	600	
	⑨	#	アイロン台	600	
	⑩	#	アイロン台	1200	
	⑪	#	アイロン台	1200	
	⑫	#	机	1200	
	⑬	#	机	600	
	⑭	#	机	600	
	⑮	#	機	1400	
	⑯	#	エレベータ	500	
	⑰	#	ラン	40	
	⑱	#	張り紙下	40	
	⑲	#	LAN	40	
⑳	#	予備	-		

分電盤 (改修後)		は改修範囲を示す。				
盤名称 キャビネットの 形式と構造 (容量kVA)	回路 番号	分岐開閉器	負荷		備考	
			名称	容量 (VA)		
L-1 南校舎 1φ3W 南校舎L-129 CVT38* 24.874 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200		
	④	MCCB2P50/20A (1E)	自動火災報知設備	100		
		CKS3P60A	2階メインスイッチ (L-2)	10560		
		CKS3P60A	1階西メインスイッチ (調理室)	6900		
	①	MCCB2P50/20A (1E)	不明 コンセント	300		
	②	#	不明	100		
	③	#	不明	500		
	⑤	#	校長室 電灯	1225		
	⑥	MCCB2P50/20A (1E)	女子・男子トイレ コンセント	963		
	⑦	MCCB2P50/20A (1E)	廊下・外灯・便所 電灯	678		
⑧	MCCB2P50/20A (2E)	職員室	2400			
L-1-A 南校舎 1φ3W CVT38* 10.56 kVA	⑨	ELCB2P50/20A (1E)	女子トイレ コンセント	948		
	L-2 南校舎 1φ3W CVT38* 10.56 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	不明 コンセント	300	
		②	#	不明	600	
		③	#	不明	600	
		④	#	ファンコイル	1400	
		⑤	#	廊下・便所 電灯	414	
		⑥	MCCB2P50/20A (2E)	不明	1680	
		⑦	#	不明	1600	
		⑧	#	不明	1600	
		⑨	MCCB2P50/30A (1E)	不明	500	
L-2-A 南校舎 1φ3W CVT100* 42.167 kVA		⑩	ELCB2P50/20A (1E)	男子・女子トイレ コンセント	933	
	⑪	#	女子トイレ	933		
	L-1 北校舎 1φ3W CVT100* 42.167 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200	
			CKS3P100A	L-2	14093	
			CKS3P100A	L-3	18240	
			MCCB2P50/30A (1E)	L-1 1	1200	
		①	MCCB2P50/20A (2E)	普通教室 電灯	1880	
		②	#	理科教室	1400	
		③	MCCB2P50/20A (1E)	廊下・準備室・図書室	1154	
		④	MCCB2P50/20A (1E)	共同廊下室 コンセント	833	
⑤		MCCB2P50/20A (1E)	普通教室	600		
⑥		#	理科教室	400		
⑦	MCCB2P50/20A (1E)	予備室・男子トイレ	616			
⑧	MCCB2P50/20A (1E)	不明	-			
⑨	#	便所・ラン コンセント	740			
⑩	#	エレベーター	500			
⑪	#	不明	-			
⑫	ELCB2P50/20A (1E)	男子トイレ コンセント	311	兼パネルカット		
L-2 北校舎 1φ3W 北校舎L-129 IV22'x3 14.093 kVA	①	MCCB2P50/20A (1E)	防火シャッター電源	200		
	①	MCCB2P50/20A (2E)	普通教室 電灯	2000		
	②	#	被服教室	1300		
	③	MCCB2P50/20A (1E)	廊下・準備室・便所・作法室	929		
	④	#	作法室・前室 コンセント	400		
	⑤	#	普通教室	400		
	⑥	#	普通教室・準備室	400		
	⑦	#	準備室・被服教室	600		
	⑧	#	アイロン台	600		
	⑨	#	アイロン台	600		
	⑩	#	アイロン台	1200		
	⑪	#	アイロン台	1200		
	⑫	#	机	1200		
	⑬	#	机	600		
	⑭	#	机	600		
	⑮	MCCB2P50/20A (1E)	機	1244		
	⑯	MCCB2P50/20A (1E)	エレベータ	500		
	⑰	#	ラン	40		
	⑱	#	張り紙下	40		
	⑲	#	LAN	40		
⑳	#	予備	-			

L-1-A、L-2-A参考図



L-1-A、L-2-A

盤製作仕様	
型式	屋内壁掛型
箱体	鋼板1.0t
扉板	鋼板1.0t
把手	平面ハンドル(キー付)No.200
塗装	指定色メラミン焼付

(寸法は参考とする。)

	LED直付灯 (昼白色)	LED直付灯 (昼白色)	LED直付灯 (昼白色)	LED直付灯 (昼白色)
	LSS9-4-23	LSS9-4-30	LSS9-4-37	LSS9-4-48
	LED18W 2300 1m以上	LED22W 3000 1m以上	LED27W 3700 1m以上	LED35W 4800 1m以上
	LED直付灯 (昼白色)	LED直付灯(天井付) (昼白色) 防雨・防湿形	LED埋込灯 (昼白色)	
	LSS10-4-23	LBF3MP/RP-2-13	LRS1-08	
	LED18W 2300 1m以上	LED17W 1300 1m以上	LED9W 800 1m以上	
	LEDミラー灯 (昼白色)	LEDミラー灯 (昼白色)		
	FL20形器具相当	Hf32形定格出力器具相当		
SP-1	LED11.7W 1350 1m相当	SP-2	LED22.8W 2730 1m相当	

<p>III トイレ呼出表示器</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>DC12V (電源アダプタから供給)</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>標準形 (JIS3個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>ステンレス</td></tr> <tr><td>容 量</td><td>1室</td></tr> <tr><td>表示方式</td><td>断線ブザー音と表示電点灯</td></tr> </table>	電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)	形 状	標準形 (JIS3個用スイッチボックス)	材 質	ステンレス	容 量	1室	表示方式	断線ブザー音と表示電点灯	<p>IV 電源アダプター</p> <table border="1"> <tr><td>電源電圧</td><td>AC100V 50/60Hz</td></tr> <tr><td>入力容量</td><td>75VA</td></tr> <tr><td>出力電圧</td><td>DC12V</td></tr> <tr><td>出力電流</td><td>2.5A</td></tr> <tr><td>形 状</td><td>標準・標準付 (専用金具) 適用</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>難燃性樹脂</td></tr> </table>	電源電圧	AC100V 50/60Hz	入力容量	75VA	出力電圧	DC12V	出力電流	2.5A	形 状	標準・標準付 (専用金具) 適用	材 質	難燃性樹脂
電源電圧	DC12V (電源アダプタから供給)																						
形 状	標準形 (JIS3個用スイッチボックス)																						
材 質	ステンレス																						
容 量	1室																						
表示方式	断線ブザー音と表示電点灯																						
電源電圧	AC100V 50/60Hz																						
入力容量	75VA																						
出力電圧	DC12V																						
出力電流	2.5A																						
形 状	標準・標準付 (専用金具) 適用																						
材 質	難燃性樹脂																						
<p>O 廊下灯 ブザー付</p> <table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>標準型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>プレート:自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td></td><td>ランプカバー:ポリカーボネート</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>ブザー付</td></tr> </table>	形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)	材 質	プレート:自己消火性樹脂		ランプカバー:ポリカーボネート	備 考	ブザー付	<p>□ 復旧ボタン</p> <table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>標準型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>樹脂</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>非燃木形</td></tr> </table>	形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)	材 質	樹脂	備 考	非燃木形	<p>IV トイレ呼出ボタン 引きひも付</p> <table border="1"> <tr><td>形 状</td><td>標準型 (JIS1個用スイッチボックス)</td></tr> <tr><td>材 質</td><td>自己消火性樹脂</td></tr> <tr><td>備 考</td><td>引きひも式、押ボタン式両用 表示電点灯文字有</td></tr> </table>	形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)	材 質	自己消火性樹脂	備 考	引きひも式、押ボタン式両用 表示電点灯文字有	
形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)																						
材 質	プレート:自己消火性樹脂																						
	ランプカバー:ポリカーボネート																						
備 考	ブザー付																						
形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)																						
材 質	樹脂																						
備 考	非燃木形																						
形 状	標準型 (JIS1個用スイッチボックス)																						
材 質	自己消火性樹脂																						
備 考	引きひも式、押ボタン式両用 表示電点灯文字有																						



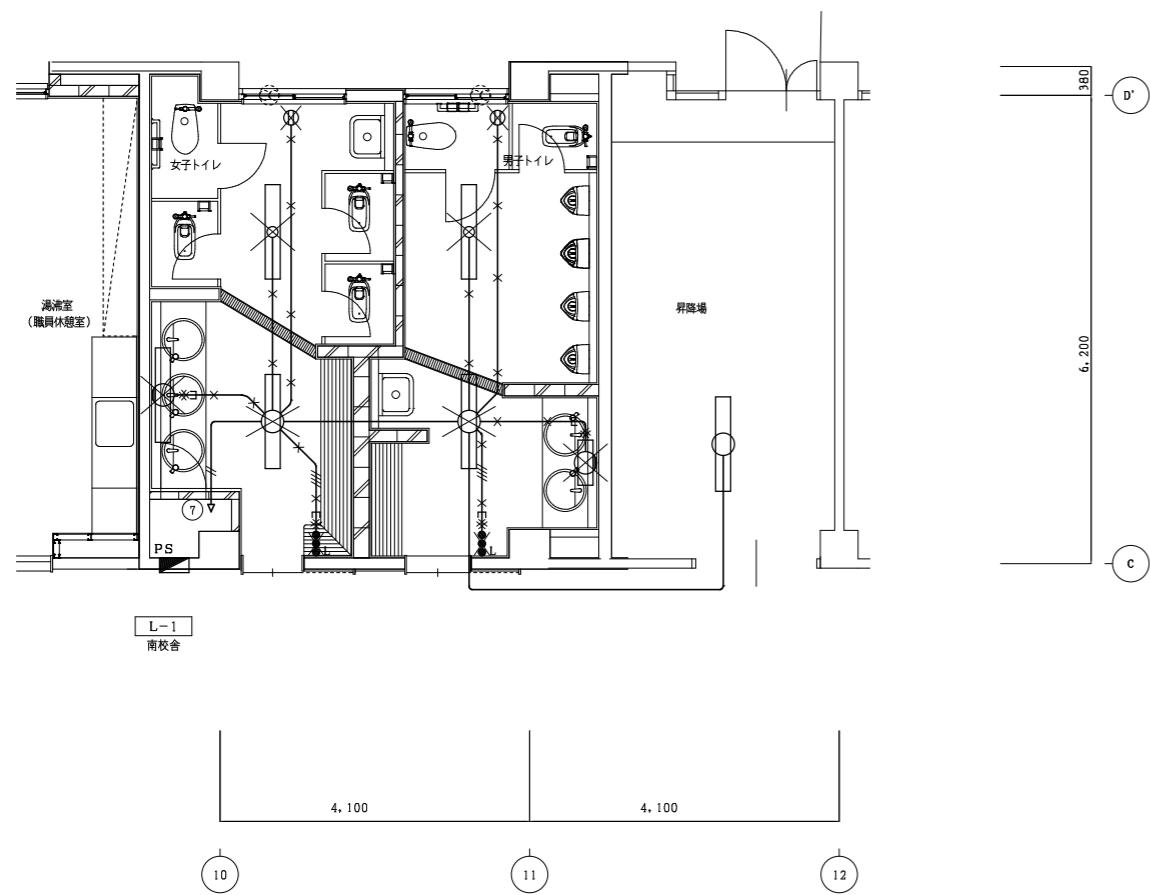
凡例	記号	名称	備考
	■	分電盤	
	○	蛍光灯	
	□	蛍光灯	
	◇	蛍光灯	
	○	蛍光灯	壁付
	○	蛍光灯	壁付
	●	埋込スイッチ	1P15A×1
	●L	埋込スイッチ	1P15A×1 L
	Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1

配線特記
 1) 図中記入なき配管配線は下記による。
 — VVF 1.6 - 2C (PF16)
 / VVF 1.6 - 3C (PF16)
 // VVF 1.6 - 2C × 2 (PF22)
 # VVF 2.0 - 2C (PF16)
 /＼ VVF 2.0 - 2C, E2.0 (PF22)

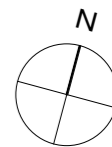
但し、二重天井内はケーブルこがし配線とする。

× 印は、撤去を示す。
 ⊗ 印は、配線のみ撤去を示す。

女子トイレ	男子トイレ	昇降場
直付Hf32W-1 × 2 撤去	直付Hf32W-1 × 2 撤去	直付Hf32W-1 × 1 既設
壁付FL40W-1 × 1 撤去	壁付FL20W-1 × 1 撤去	



改修前 南校舎1階平面詳細図 S=1/50



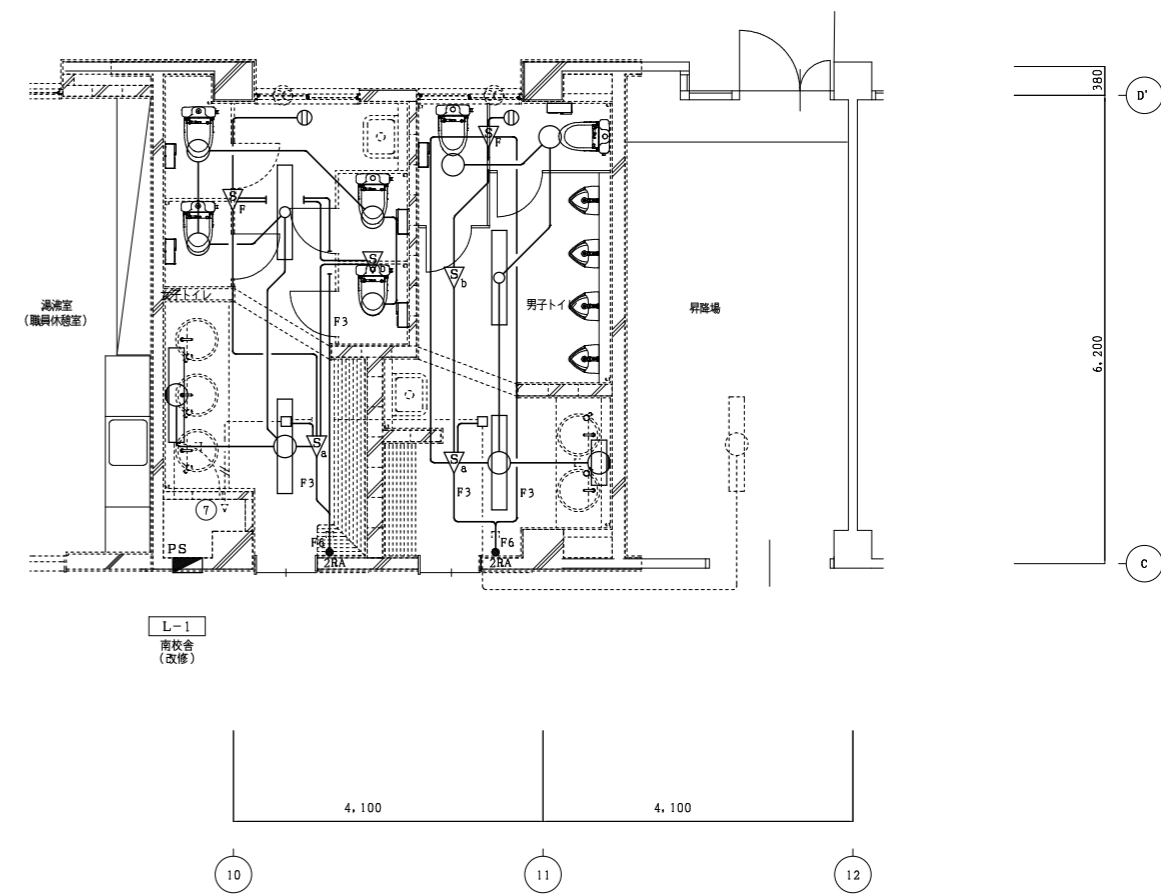
凡例	記号	名称	備考
	■	分電盤	
	○	LED灯	
	□	LED灯	
	◇	LED灯	
	○	LED灯	壁付
	○	LED灯	壁付
	○	LEDダウンライト	
	●	埋込スイッチ	1P15A×1
	▽	人感センサー検器	
	▽	人感センサー子器	
	▽	人感センサー子器	換気扇連動
	●2RA	切替スイッチ	(自動-停止-手動)×2
	Ⓜ	埋込コンセント	2P15A×1
	□	アウトレットボックス	

配線特記
 1) 図中記入なき配管配線は下記による。
 — EEF 1.6 - 2C (PF16)
 F3 EEF 1.6 - 3C (PF16)
 F4 EEF 1.6 - 2C × 2 (PF22)
 F6 EEF 1.6 - 3C × 2 (PF22)
 (既設配管)

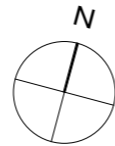
但し、二重天井内はケーブルこがし配線とする。

----- は、既設を示す。
 (既) 印は、既設を示す。

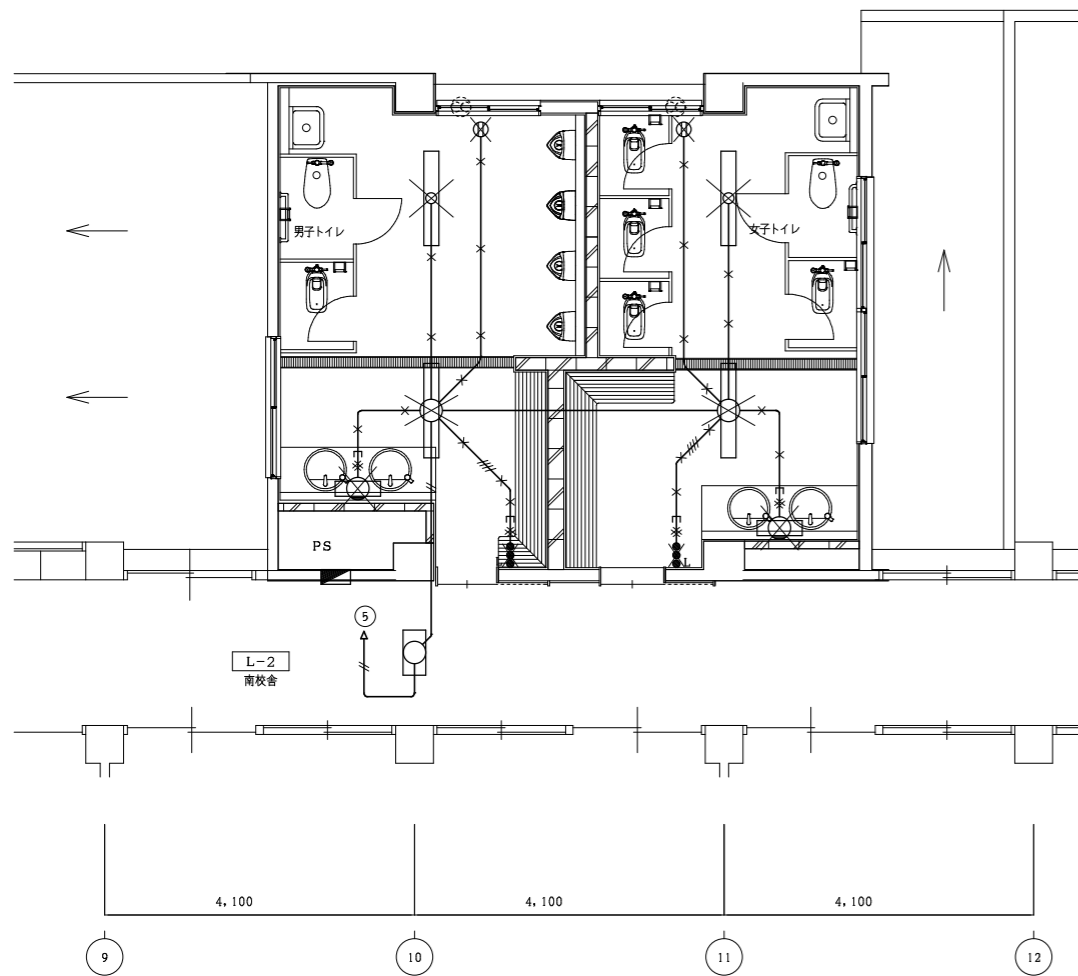
女子トイレ	男子トイレ	昇降場
LSS9-4-30 × 2 新設	LSS9-4-37 × 2 新設	直付Hf32W-1 × 1 既設
LRS1-08 × 4 新設	LRS1-08 × 2 新設	
SP-2 × 1 新設	SP-1 × 1 新設	



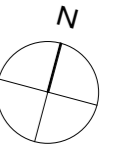
改修後 南校舎1階平面詳細図 S=1/50



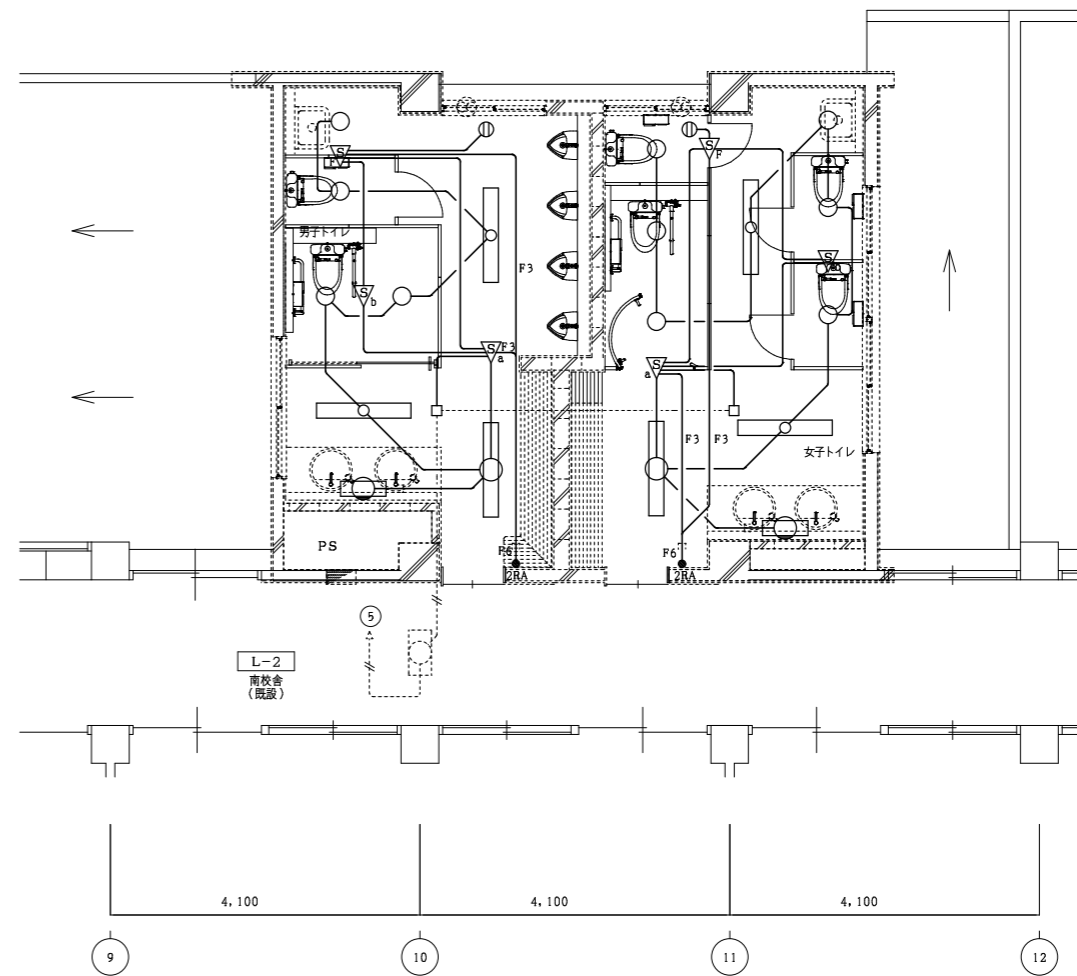
廊下	男子トイレ	女子トイレ
直付FL20W-2 × 1 既設	直付Hf32W-1 × 2 撤去 直付FL20W-1 × 1 撤去	直付Hf32W-1 × 2 撤去 直付FL20W-1 × 1 撤去



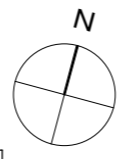
改修前 南校舎2階平面詳細図 S=1/50



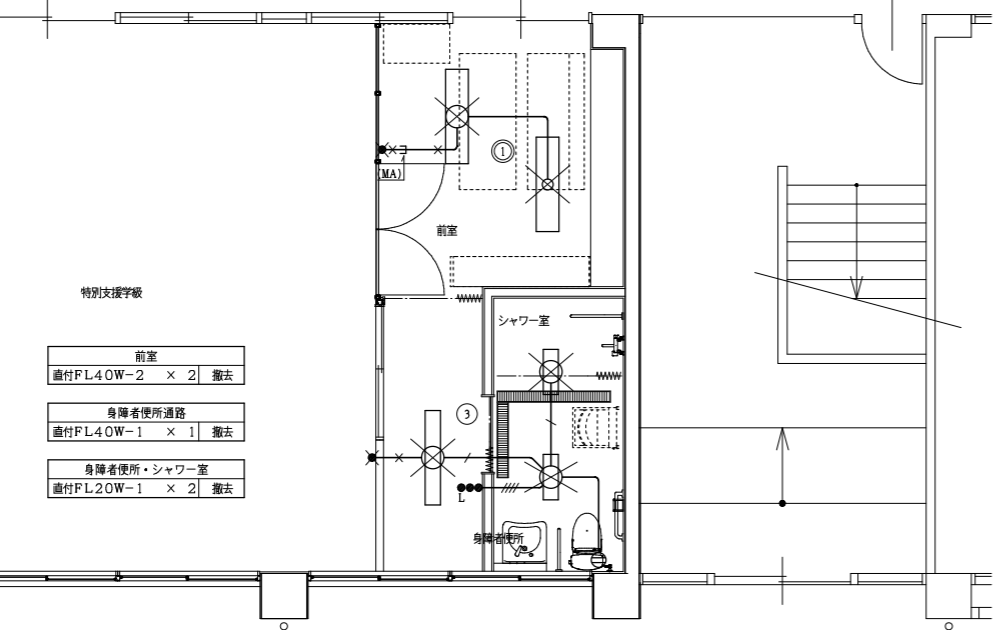
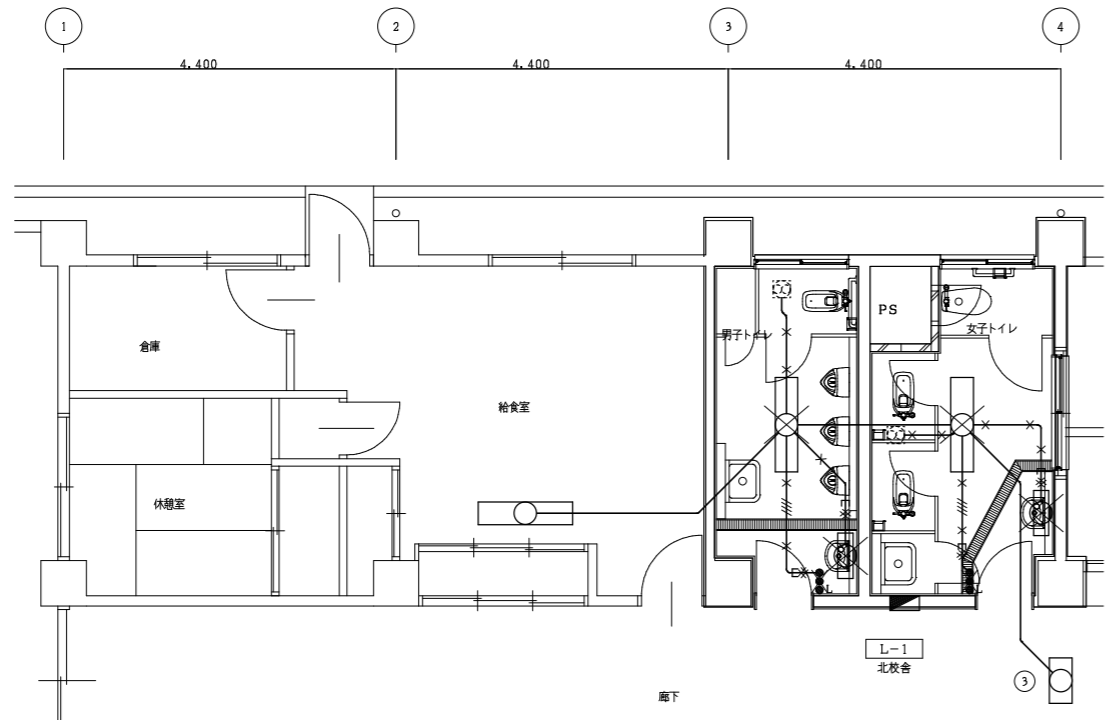
廊下	男子トイレ	女子トイレ
直付FL20W-2 × 1 既設	LSS9-4-30 × 3 新設 LRS1-08 × 4 新設 SP-1 × 1 新設	LSS9-4-30 × 3 新設 LRS1-08 × 6 新設 SP-1 × 1 新設



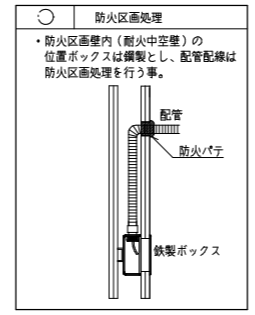
改修後 南校舎2階平面詳細図 S=1/50



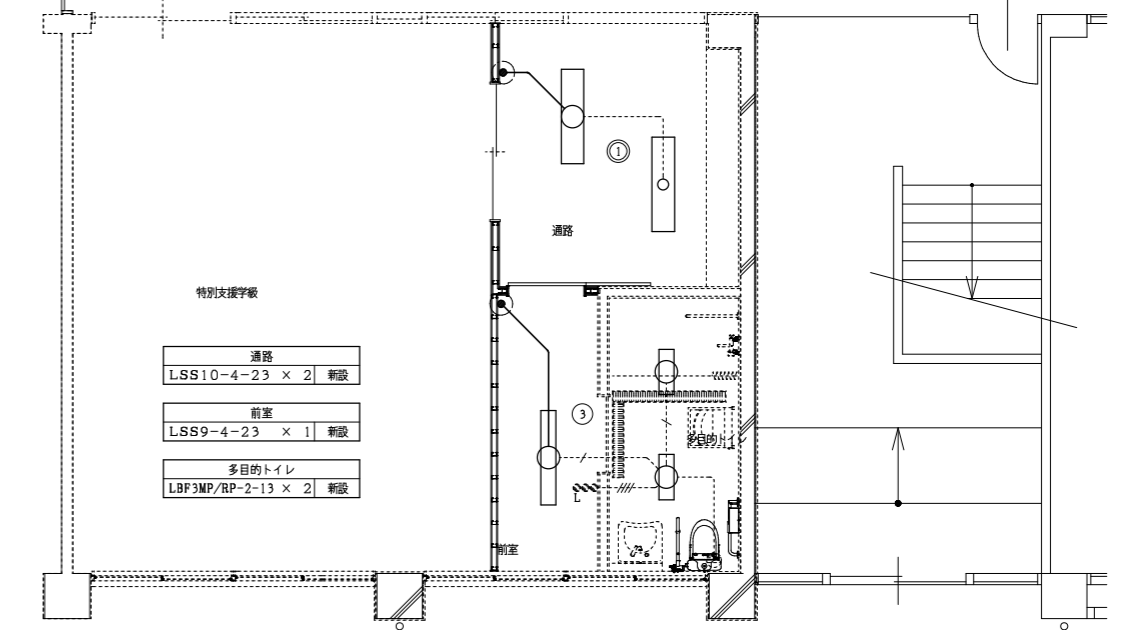
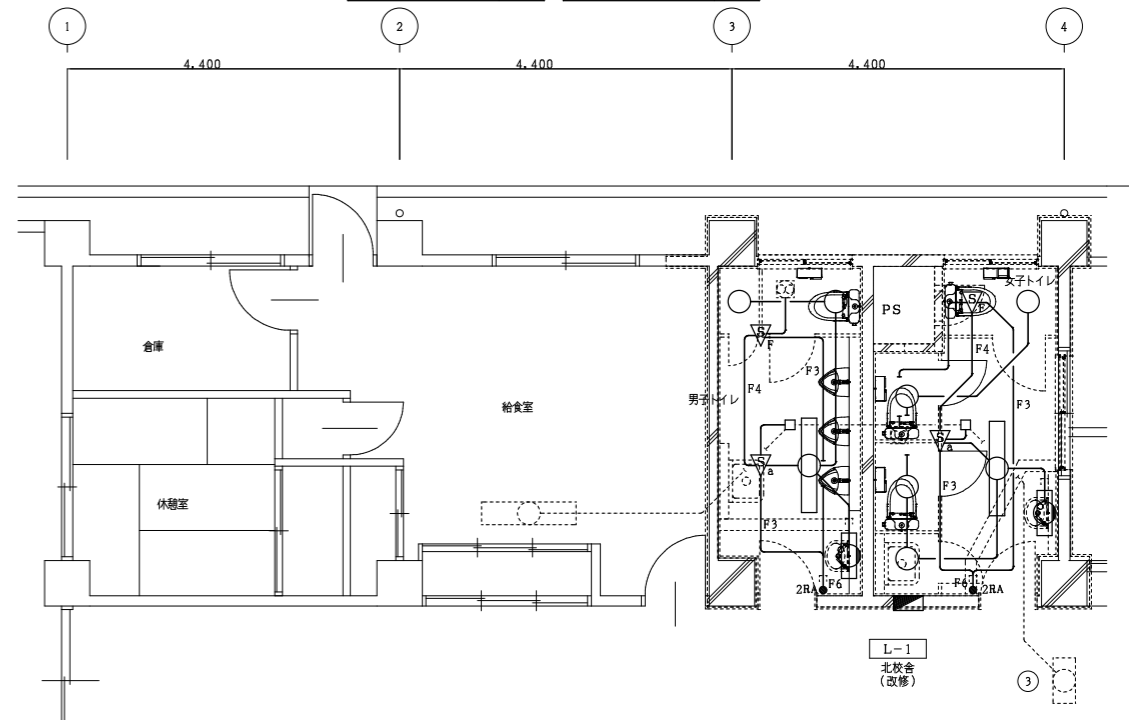
給食室 直付FL40W-2 × 1 既設	男子トイレ 直付Hf32W-2 × 1 撤去 直付FL20W-1 × 1 撤去	女子トイレ 直付Hf32W-2 × 1 撤去 直付FL20W-1 × 1 撤去	廊下 直付FL20W-2 × 1 既設
-------------------------	---	---	------------------------



改修前 北校舎1階平面詳細図 S=1/50



給食室 直付FL40W-2 × 1 既設	男子トイレ LSS9-4-48 × 1 新設 LRS1-08 × 2 新設 SP-1 × 1 新設	女子トイレ LSS9-4-37 × 1 新設 LRS1-08 × 4 新設 SP-1 × 1 新設	廊下 直付FL20W-2 × 1 既設
-------------------------	--	--	------------------------



改修後 北校舎1階平面詳細図 S=1/50

府中市建設部
都市デザイン課

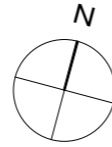
作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

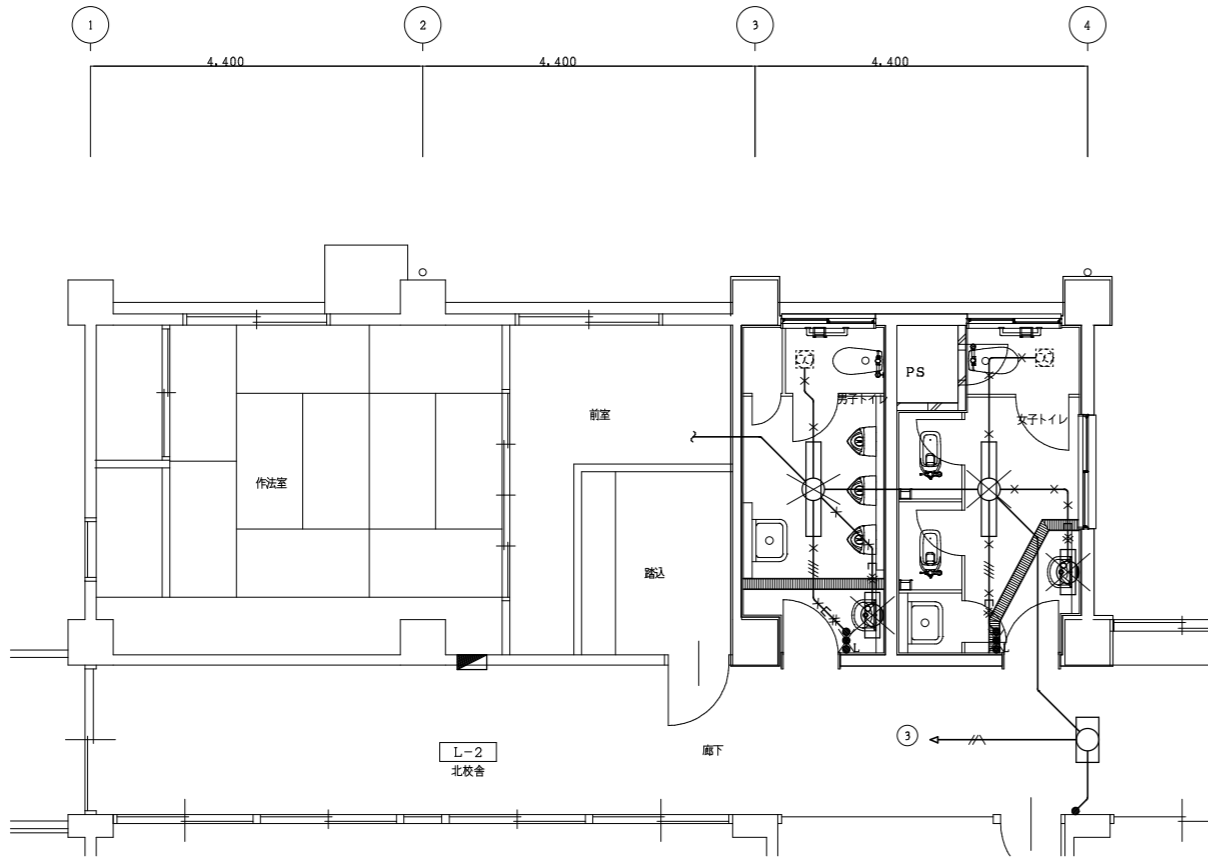
特記	工率名	図面内容・縮尺
----	-----	---------

工率名 上下中学校トイレ改修工事
図面内容・縮尺 改修前後 電灯設備 北校舎1階平面詳細図 1/50
A1-100%, A2-71%

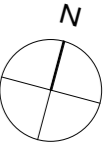
図面番号 E-07
区分 電気



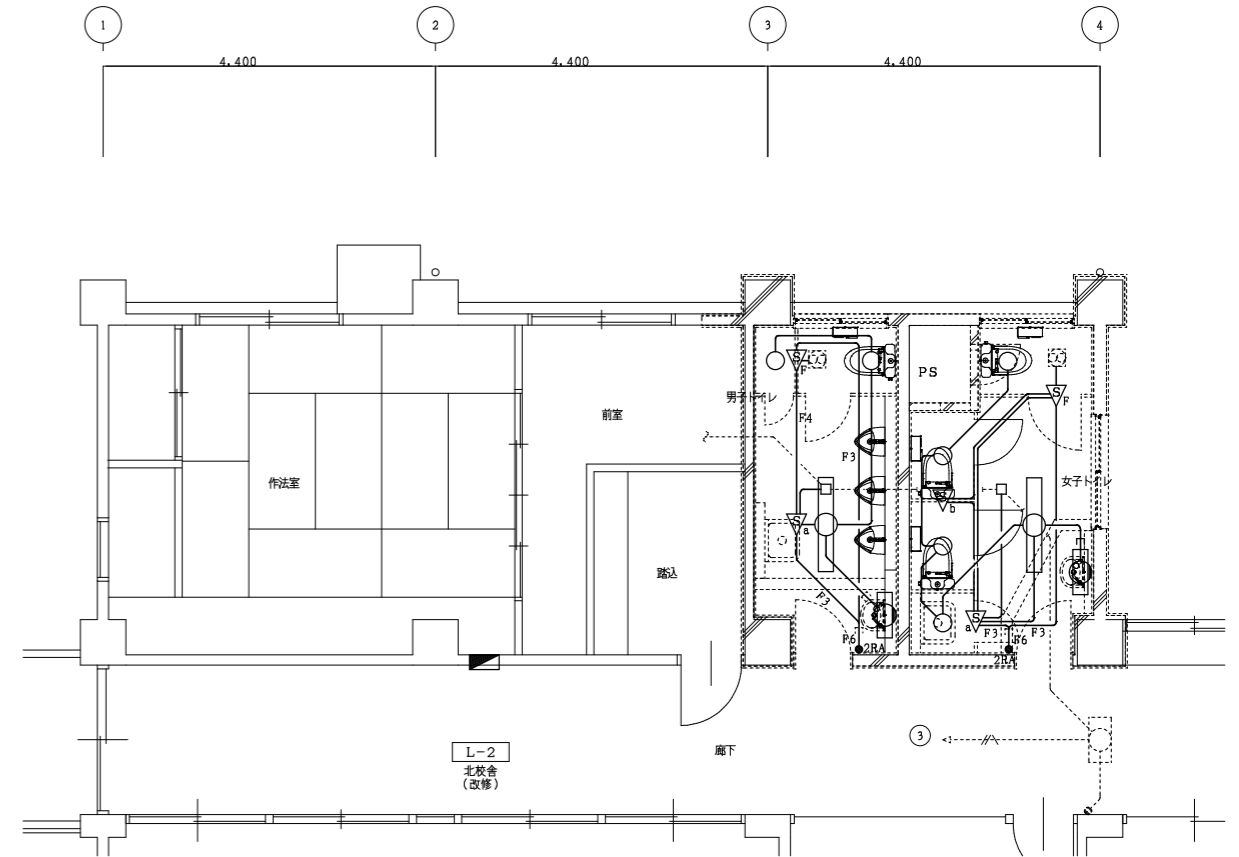
廊下	男子トイレ	女子トイレ
通付FL20W-2 × 1 既設	通付Hf32W-1 × 1 撤去 壁付FL20W-1 × 1 撤去	通付Hf32W-1 × 1 撤去 壁付FL20W-1 × 1 撤去



改修前 北校舎2階平面詳細図 S=1/50



廊下	男子トイレ	女子トイレ
通付FL20W-2 × 1 既設	LSS9-4-48 × 1 新設 LRS1-08 × 2 新設 SP-1 × 1 新設	LSS9-4-37 × 1 新設 LRS1-08 × 4 新設 SP-1 × 1 新設





改修後 北校舎2階平面詳細図 S=1/50



凡例	記号	名称	備考
■		分電盤	
Ⓚ 2		埋込コンセント	2P15A×2
Ⓚ ET		埋込コンセント	2P15A×1 接地端子付
Ⓚ 2ET		埋込コンセント	2P15A×2 接地端子付

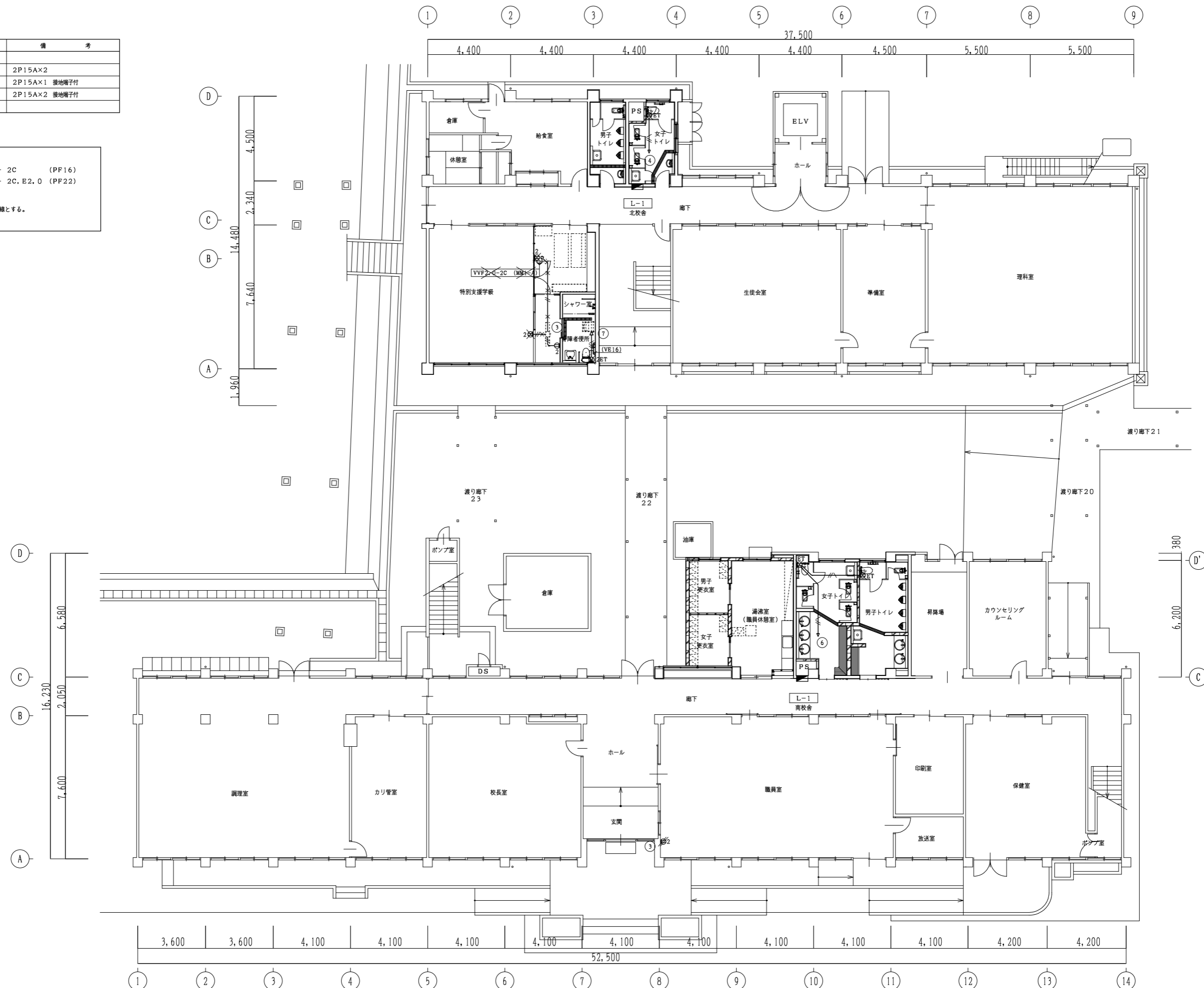
配線特記

1) 図中記入なき配管配線は下記による。

 VVF 2.0 - 2C (PF16)
 VVF 2.0 - 2C, E2.0 (PF22)

但し、二重天井内はケーブルこしがし配線とする。

 印は、撤去を示す。
 印は、取外しを示す。



府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

訂正	特記
----	----

工事名 上下中学校トイレ改修工事

図面内容・縮尺

改修前 コンセント設備 1階平面図

1/100

A1-100%, A2-71%

図面番号 E-09

区分 電気

凡例	記号	名称	備考
■		分電盤	
■		分電盤	増設
Ⓚ	2	埋込コンセント	2P15A×2
Ⓚ	EET	埋込コンセント	2P15A×1 接地版、接地端子付
Ⓚ	2EET	埋込コンセント	2P15A×2 接地版、接地端子付
□		アウトレットボックス	
□	CB	コーナーボックス	メタルモール付属品

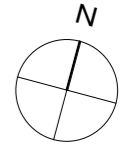
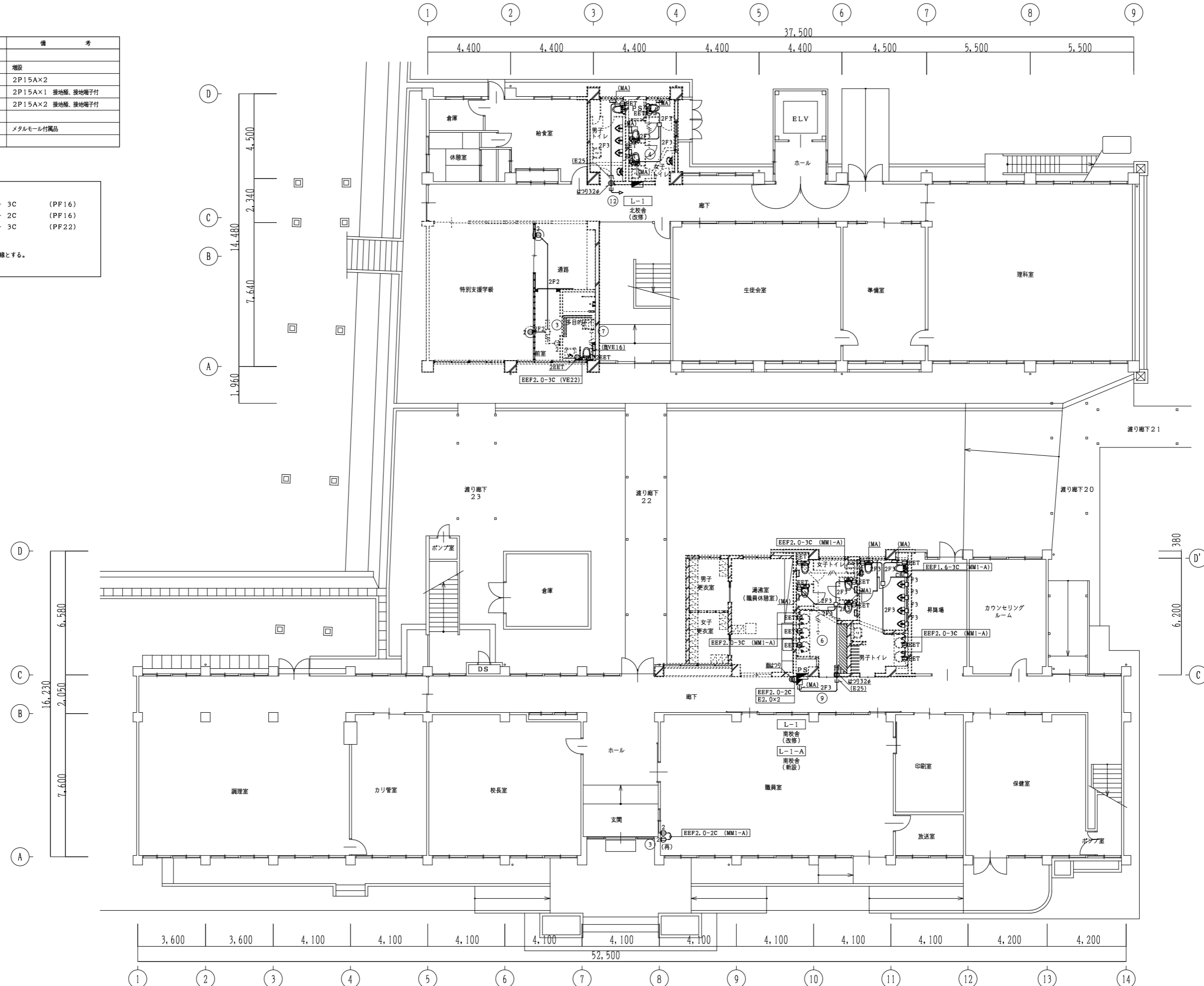
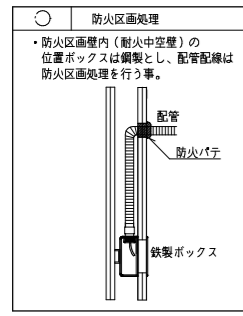
配線特記

1) 図中記入なき配管配線は下記による。

F3	EET 1.6 - 3C	(PF16)
2F2	EET 2.0 - 2C	(PF16)
2F3	EET 2.0 - 3C	(PF22)

但し、二重天井内はケーブルこしがし配線とする。

----- は、既設を示す。
 (既)印は、既設を示す。
 (再)印は、再取付を示す。
 ⊗ は、穴明貫通処理とする。



府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員

訂正

特記

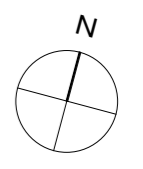
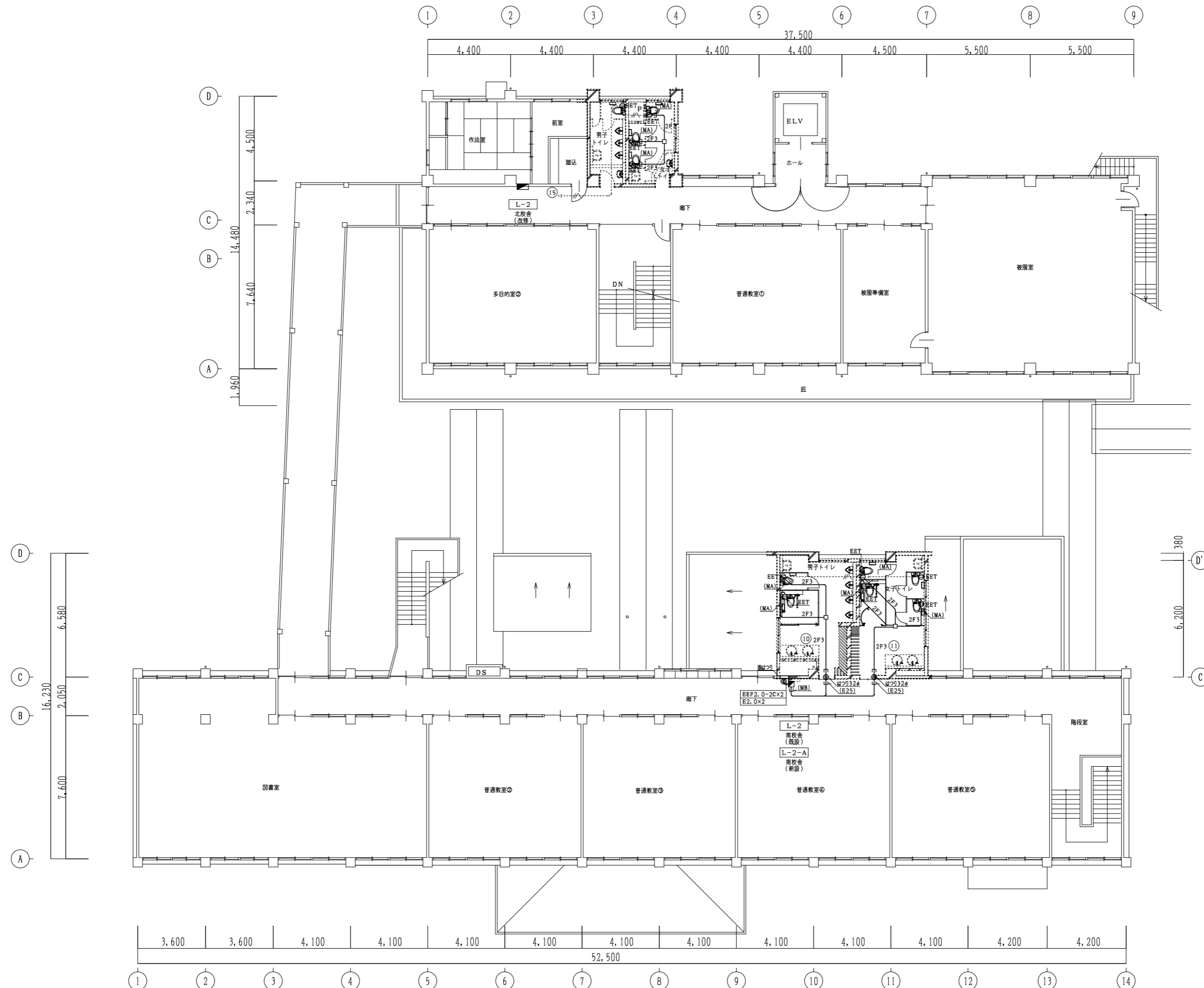
工事名
上下中学校トイレ改修工事

図面内容・縮尺
改修後 コンセント設備 1階平面図

1/100
A1-100%, A2-71%

図面番号
E-11

区分
電気



府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

訂正	特記
----	----

工事名	上下中学校トイレ改修工事
図面内容・縮尺	改修後 コンセント設備 2階平面図 1/100

図面番号 E-12
区分 電気

凡例	記号	名称	備考
	□□□	トイレ呼出表示装置	1号 3個用スイッチボックス共
	Ⓜ	電源アダプター	
	Ⓝ	トイレ呼出ボタン	引きひも付
	○	廊下灯	ブザー付
	□	復旧ボタン	
	□ JB	ジャンクションボックス	メタルモール付属品
	○	露出丸ボックス	

配線特記

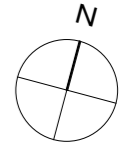
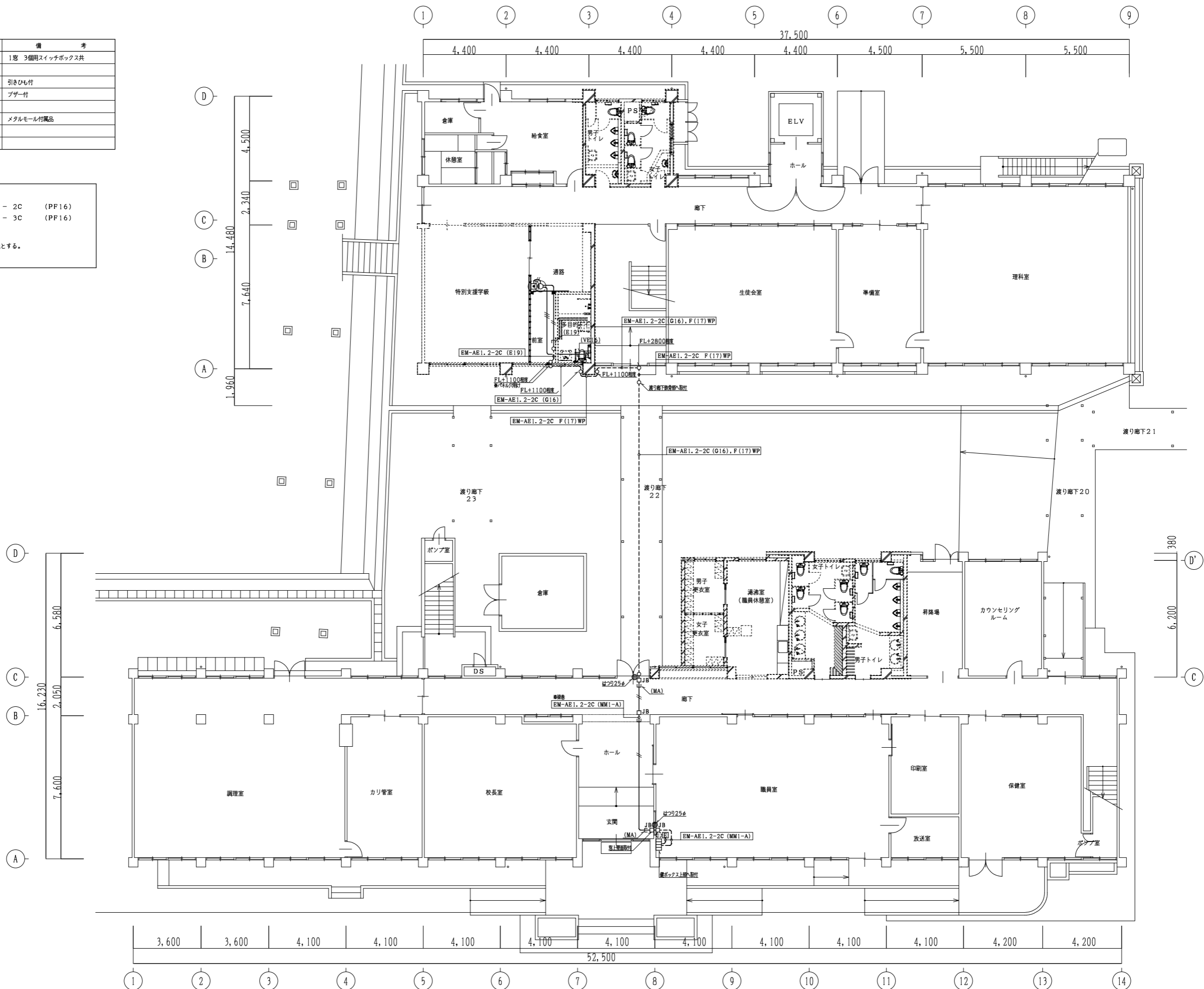
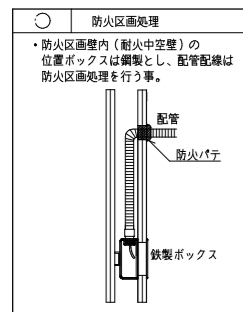
1) 図中記入なき配管配線は下記による。

EM-AE 1.2 - 2C (PF16)

EM-AE 1.2 - 3C (PF16)

但し、二重天井内はケーブルこしがし配線とする。

● は、穴明貫通処理とする。



府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----

訂正

特記

工事名
上下中学校トイレ改修工事

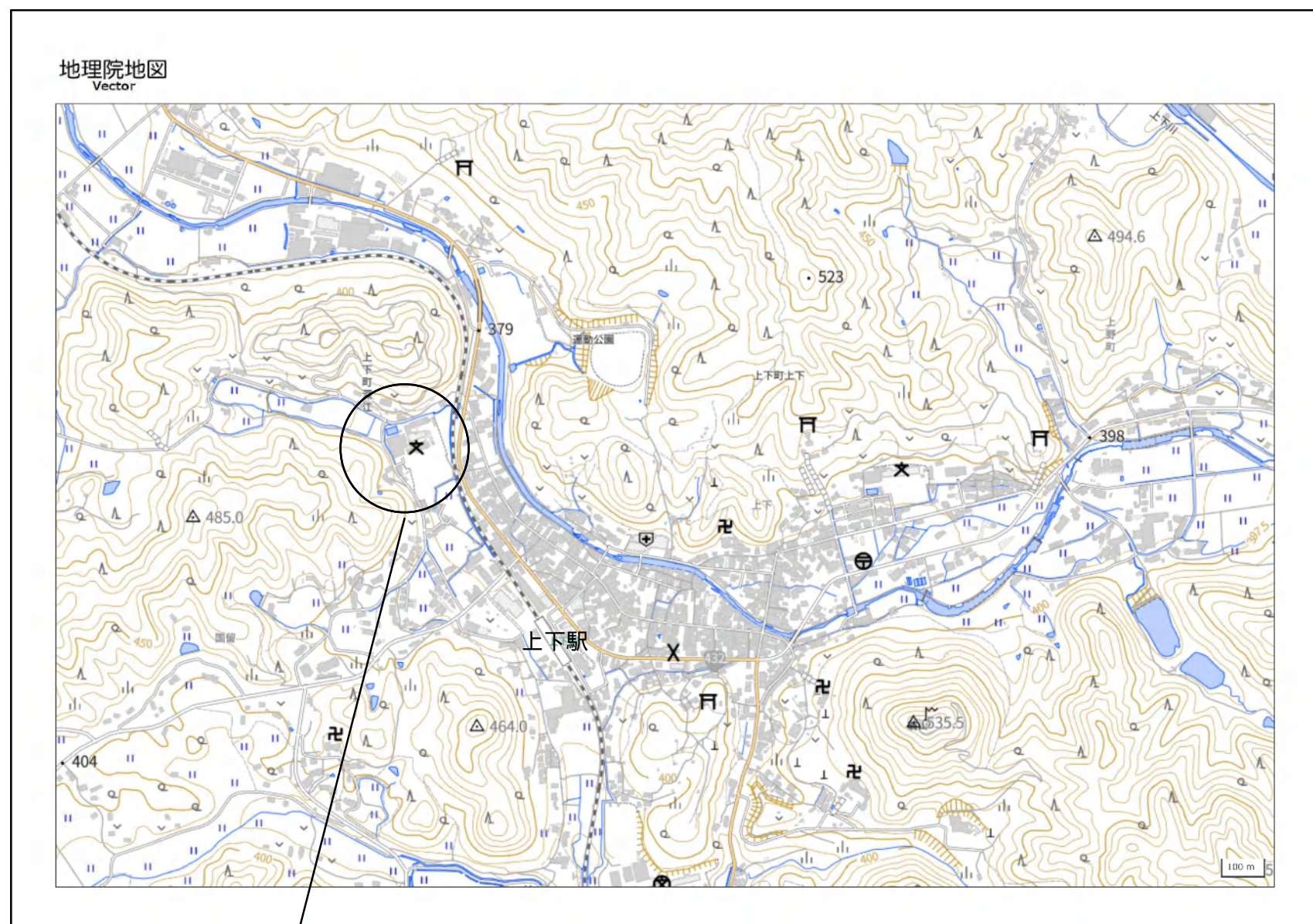
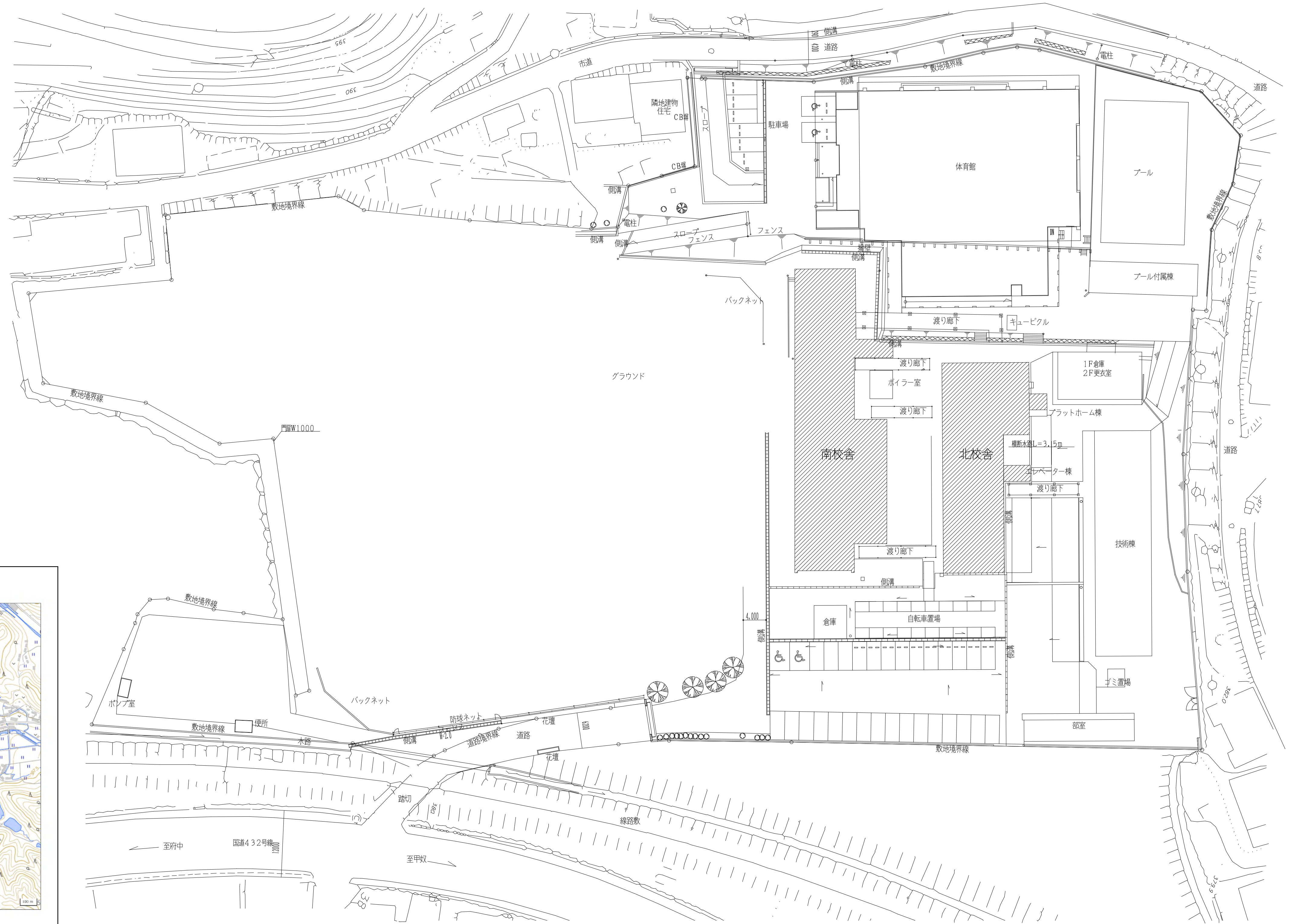
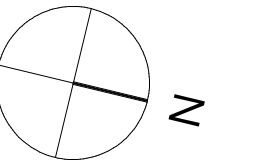
図面内容・縮尺
改修後 誘導支援設備 1階平面図

1/100
A1-100%, A2-71%

図面番号
E-13

区分
電気

<p>空 気 調 和 機 換 気 設 備</p>	<p>1. 設計用温湿度条件</p> <table border="1"> <tr> <td colspan="2">外 気 条 件</td> <td colspan="4">室 内 (調 整 目 標 値)</td> </tr> <tr> <td>温度 (DB)</td> <td>湿 度</td> <td>温 度 (DB)</td> <td>湿 度</td> <td>温 度 (DB)</td> <td>湿 度</td> </tr> <tr> <td>夏季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>冬季</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>2. 配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>3. 弁類</p> <p>4. 空調機用トラップ</p> <p>5. 銅板製煙道</p> <p>6. ばい煙濃度計</p> <p>7. 冷却塔</p> <p>8. ユニット形 空気調和機</p> <p>9. ファンコイルユニット</p> <p>10. パッケージ形 空気調和機</p> <p>11. マルチパッケージ形 空気調和機</p> <p>12. 集中管理リモコン ・個別リモコン</p> <p>13. 空気清浄装置</p> <p>14. オイルポンプ</p> <p>15. 開放形膨張タンク</p> <p>16. 地下オイルタンク</p> <p>17. オイルサーピスタック</p> <p>18. ダクト</p> <p>19. チャンパー等</p> <p>20. 吹出口・吸込口の ボックス</p> <p>21. グリス除去装置</p> <p>22. 風量測定口</p> <p>23. 温度計</p> <p>24. 圧力計</p> <p>25. ダンパー</p> <p>26. 定風量・変風量 ユニット</p> <p>27. 冷温水管等のエア抜き</p>	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)				温度 (DB)	湿 度	温 度 (DB)	湿 度	温 度 (DB)	湿 度	夏季						冬季						<p>1) 冷水・温水・冷温水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>2) 膨張・空気抜き・補給水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>3) 冷却水 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>4) 蒸気給気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)</p> <p>5) 蒸気通水 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (S T P G 3 7 0 S c h 4 0)</p> <p>6) 油・油用通気 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (黒管)</p> <p>7) 冷媒 ・ 断熱材被覆鋼管</p> <p>8) 空調用給水 ・ ステンレス鋼管 (S U S 3 0 4)</p> <p>9) 空調用排水 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) ・ 結露防止層付硬質塩化ビニル管</p> <p>図面に特記なき場合の耐圧は、5 Kとする。</p> <p>トラップの形式はフロートボール式 (床置型) F R P製保温型</p> <p>1) 厚さ 3. 2mm ・ 4. 5mm</p> <p>2) ばい煙濃度計 ・ 取付ける ・ 取付けない</p> <p>3) ばいじん量測定口 (80 × 2) 取付ける ・ 取付けない</p> <p>4) 伸縮継手及び掃出口は図示による。</p> <p>投光器及び受光器は、送風器付きとする。</p> <p>標準型、低騒音型、超低騒音型の規定は、日本冷却塔工業会の騒音基準値による。</p> <p>コイル通過後のケーシングに講じる表面結露対策は 不要 ・ 図示による。</p> <p>風量30. 000m³/hを超える機器の許容騒音レベルは、図示による。</p> <p>冷温水管の接続部 (往・還) にはボール弁を取付ける。 流量調整弁 ・ 定流量弁 を取付ける/ (定流量弁の場合は ・ ダイヤフラム式流量可変式 ・ カートリッジオリフィス形)</p> <p>床置形にはサブドレンパンを設ける。材質等はドレンパンに準ずる。 インバーター機の表示された能力は、型番で選定する。 内外渡配線は、原則として冷媒管と共管とする。(エアコン含む)</p> <p>パッケージ形空気調和機の記載による。</p> <p>集中管理リモコンの機能は、 標準仕様書に記載されている機能 ・ 外部信号を受け一括停止機能 ・ 図示する機能 ・ エネルギーの管理に関する機能 (外部記憶媒体への出力機能含)</p> <p>リモコンの系統区分は図示による。 る材ユニットは (・ 再生式 ・ 非再生式) とし、形式及び性能等は 図示による。</p> <p>形式 渦流形 ・ 歯車形</p> <p>本体の材質 銅板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>鉄製はしこ 要 ・ 不要</p> <p>1) 据付け方法は 標準図 (施工32) (二重設タンク)</p> <p>2) 保護被覆は F R P ・ エポキシ樹脂 ・ アスファルト</p> <p>3) 遠隔油量指示装置 (液面計は (・ 抵抗変化式 ・ 磁至式) で ・ 屋内 ・ 屋外) より油量監視用) を取付ける。</p> <p>4) 基礎杭は 不要 要 (但し杭は 別途工事 ・ 本工事)</p> <p>5) 土留め工事は 不要 ・ 要 (・ 本工事 ・ 別途工事)</p> <p>油面計はゲージ式 (側圧式) とする。</p> <p>1) 低圧ダクト ・ 高圧1ダクト ・ 高圧2ダクト</p> <p>2) 長方形ダクトは ・ コーナポルト工法 (共板フランジ又はスライドオンフランジ) (ただし、長辺が1500mmを超えるものは アングルフランジ工法とする)</p> <p>・ アングルフランジ工法</p> <p>3) 防火区画を貫通するダクトは、その貫通する部分の前後1500mmを 1. 6mm厚銅板製とする。</p> <p>4) 厨房用ダクトの板厚は「火災予防条例準則の運用について」による。</p> <p>1) シーリングディフューザーの接続は標準図 (施工49) を参考とする。</p> <p>2) 接続するダクトの施工が困難な場所はフレキシブルダクトを使用してもよい。</p> <p>3) 線状吹出口には、長さ+100×300×300Hの接続チャンパーを設ける。</p> <p>4) 外壁に面するガラリにチャンパー等を取付ける場合は、雨水等を自然に排出できるように勾配をつける。 垂鉄板製 ・ グラスウォール製</p> <p>・ グリスエクストラクター ・ グリスフィルター</p> <p>標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空調機のサプライチャンパーからの分岐ダクト ・ 外気取入れダクト</p> <p>標準仕様書によるほか図示した箇所及び下記の箇所に取付ける。 ・ 空気調和機、全熱交換器廻りの運気ダクト、外気ダクト及び給気ダクト 機器付属以外の温度計は バイメタル式温度計 ・ ガード付きL形温度計</p> <p>標準図によるほか図示した箇所に取付ける。 (1) 防火ダンパーは表示等により区分する。 (2) 防煙ダンパー 遠隔復帰式 (定格入力はDC24V、0.7A以下。) ・ メカニカル形 ・ 風速センサー形</p> <p>1) エア溜まりを生ずるとされる配管箇所には、必要に応じて操作の容易な位置にエア抜き弁装置 (手動 ・ 自動) を設ける。 2) 自動エア抜き弁装置は、標準図 (施工38 (g)) による。 3) 機械室の手動式エア抜き配管で、特記のない場合の保温範囲は原則として分岐部より2mとする。</p>	<p>2 8. 消音内貼り</p> <p>2 9. 機器用基礎</p> <p>3 0. 空調用流体の水質基準</p> <p>3 1. フィルターの予備品</p> <p>空気調和機器等はフィルターチャンパーの装着枚数の100%を予備品 (枠付) として納める。 ファンコイルユニットは揚気数の (・ 50% ・ 100%) に当たるフィルターを予備品 (枠付) として納める。 自動巻取り形及びグリ-スフィルタ-は装着単位の100%を予備品として納める。</p>	<p>1. ダクト</p> <p>2. 排煙口</p> <p>3. 排煙口開放及び 復帰方式</p> <p>4. 排煙風量測定</p> <p>垂鉄板製 ・ 鋼板製 (厚1. 6mm)</p> <p>・ パネル形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ スリット形 (・ 天井取付 ・ 壁取付) ・ ダンパー形 (・ 天井内取付)</p> <p>電気式 (遠隔操作 不要 ・ 要) 排煙口から手動開放装置への配線は、標準仕様書第4編1. 5. 1表4. 1. 1. 1による耐熱・耐火ケーブルとする。</p> <p>建築設備定期検査業務基準書2016年版 ((一財) 日本建築設備・昇降機センター) の排煙風量の検査方法に準ずる。</p>	<p>1. 配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>2. 弁類</p> <p>3. 保温</p> <p>1) 屋内消火栓 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管)</p> <p>2) 連結送水管 一般配管用 ・ 圧力配管用炭素鋼鋼管 (S c h 4 0)</p> <p>3) 一般配管用 ・ 10K ・ 16K</p> <p>1) 呼水タンクの保温 施工しない ・ 施工する</p> <p>2) 充水タンクの保温 施工しない ・ 施工する</p> <p>3) 消火配管の保温は次による。 (屋外露出、寒冷地は保温種別 e 2・(ハ) ・ による)</p> <p>・ 屋内消火栓 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ スプリングラ- 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結送水管 施工しない ・ 施工する</p> <p>・ 連結散水 施工しない ・ 施工する</p> <p>4) 屋内消火栓 広範囲型2号消火栓 ・ 2号消火栓 ・ 易操作1号消火栓 ・ 1号消火栓</p> <p>開閉弁の材質は ・ 鉄製 (要部青銅製) ・ ステンレス鋳物製 箱の材質は 銅板製 ・ ステンレス鋼板製</p>	<p>4) 屋外排水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V U)</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P) (車道部)</p> <p>記号 C O A D は掃除口を兼用する排水金物とする。 水中形三相誘導電動機は、(乾式 ・ 油封式) とする。 電動機の極数は図示による。 着脱装置、ストレーナー及び水中ケーブルの長さは図示による。 別途工事 ・ 本工事</p> <p>小口径樹等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>	<p>石綿含有設備資材の処理について</p> <p>・ 石綿を含有する設備資材の撤去方法</p> <p>1. 工事受注者は、施工に先立ち以下の報告を行うこと。 撤去に先立ち、「大気汚染防止法」の他「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき関係機関と協議を行い、監督職員に報告を行う。</p> <p>2. 各部位の撤去方法は、以下の内容及び撤去要領図を参考とし、監督職員に計画書を提出し承諾を得ること。</p> <p>(1) ダクトフランジ部 ダクトフランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクトの切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を実施する。</p> <p>2) ダクトの切断は、フランジ部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト片側の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施し、もう片側の切断を行う。</p> <p>(2) たわみ継手フランジ部 たわみ継手フランジ部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) ダクト及び機器の切断に先立ち、飛散防止措置としてダクトフランジ外周部分に、飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等を実施する。</p> <p>2) ダクト及び機器の切断は、フランジ部分の約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>3) ダクト及び機器の切断終了後、フランジ内周部分に外周同様に飛散防止措置を施す。</p> <p>(3) 配管フランジ部 配管フランジ部におけるガスケット撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断は、フランジ部分にからぬ箇所において行う。</p> <p>(4) 成形保温材付き配管の曲線部 成形保温材付き配管の曲線部の撤去は、原則として切断による方法とする。 1) 配管の切断に先立ち、飛散防止措置として成形保温材に飛散抑制剤の塗布を施すとともに、成形保温材前後の保温材を撤去する。</p> <p>2) ビニルシート等で成形保温材を包み配管表面でテープ止めとし密閉する。</p> <p>3) 配管の切断は、密閉部分の両側約100mmの箇所において慎重に行う。</p> <p>・ 石綿を含有する設備資材の処理方法 (撤去費・運搬費・処分費は別途)</p> <p>(1) 処理に先立ち、関係機関と協議を行い監督職員へ計画書を提出し承諾を得る。 (2) 石綿含有廃棄物であることを表示すると共に、石綿飛散防止対策として「大気汚染防止法」の他、「労働安全衛生法、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、建築基準法、建設リサイクル法、地方自治体による条例」等に基づき構外搬出適切処理とする。</p> <p>(3) 構外搬出適切処理後、監督職員へ報告書を提出する。</p> <p>(4) 石綿含有設備機器については、施設管理者及び監督職員と協議の上、適切に処理を行う。</p>
	外 気 条 件		室 内 (調 整 目 標 値)																												
温度 (DB)	湿 度	温 度 (DB)	湿 度	温 度 (DB)	湿 度																										
夏季																															
冬季																															
<p>給 湯 設 備</p> <p>消 火 設 備</p> <p>ガ ス 設 備</p> <p>浄 化 槽 設 備</p> <p>雨 水 利 用 設 備</p> <p>冷 媒 の 回 収 方 法 に 関 し て</p>	<p>1. システム構成・機能</p> <p>2. 自動制御機器</p> <p>3. 自動制御盤</p> <p>4. 中央監視制御装置</p> <p>5. 計装工事の配線</p> <p>図示による。 調節器等の取付け高さは 1300mm</p> <p>屋内用キャビネットは 銅板製 ・ ステンレス鋼板製</p> <p>・ 有り (構成機能は図示による) ・ 無し</p> <p>1) 屋外、屋内露出の配線は、図面に特記のない限り金属管配線とする。 天井隠れ配線は、図面に特記のない限りケーブル配線とする。</p> <p>2) 原則として、次の用途に使用する電線類はEMケーブルとし、規格は一般共通事項19・電線類の規格による。 (機器、盤類はこれよりなくともよい)</p> <p>用途 電源線、接地線 電気式の調節器 (サーモ・ヒューミ等) 用電線 各種検出器 (温度・湿度等)、操作器 (バルブ・ダンパー等) における弱電信号、通信線を除く制御線</p>	<p>1) 都市ガス設備</p> <p>2. 配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>3. ガス漏れ警報器</p> <p>4. 充てん容器</p> <p>5. バルブ貯槽</p> <p>6. ガスメーター</p> <p>7. 容器廻りの配管</p> <p>8. 容器転倒防止</p> <p>ガス事業者の規定する供給約款等の定めによる。 1) 都市ガス ガス事業者の定めによる。 2) 液化石油ガス 一般配管用 ・ 配管用炭素鋼鋼管 (白管) 中地埋設用 ・ ポリエチレン被覆鋼管</p> <p>不要 ・ 要 (取付け位置は図示による。外部出力端子 ・ 不要 ・ 要) 警報器から制御盤、遮断弁までの電線管は別途工事とする。 ・ 10kg ・ 20kg ・ 50kg 20 本 借用 ・ 買取り</p> <p>・ 縦型 ・ 横型 最大充てん量 ____ kg 借用 買取り</p> <p>1) 親メーターはガス供給事業者より借用、子メーターは買取りとする。 2) 子メーター計量方式 (・ 直読 ・ 遠隔表示) 施工方法は標準図 (施工73) の (a) ・ (b) ・ (c) 施工方法は標準図 (施工74) の (a) ・ (b)</p>	<p>1. 処理種別及び方式</p> <p>2. その他</p> <p>小規模合併処理 (・ 担体流動生物濾過方式 ・ 嫌気分離接触床方式) ・ 合併処理 (・) 図示による。</p>	<p>1. システム構成その他</p> <p>2. 配管材料</p> <p>3. 弁類</p> <p>4. 量水器</p> <p>5. 定水位調整弁</p> <p>6. 緊急遮断弁装置</p> <p>7. 水栓柱</p> <p>8. 不凍水栓柱</p> <p>9. 水栓</p> <p>10. タンク</p> <p>11. 引込納付金等</p> <p>12. ボックスのコンクリート巻き</p> <p>図示による。</p> <p>1) 一般配管用 (・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V B - F V B) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ・ 架橋ポリエチレン管)</p> <p>2) 土間配管用 (・ 水道用硬質塩化ビニルライニング鋼管 (S G P - V D - F V D) ・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ・ 架橋ポリエチレン管)</p> <p>3) 地中配管用 (・ 水道用硬質ポリ塩化ビニル管 (H I V P) ・ 水道配水用ポリエチレン管 ・ 水道用ポリエチレン二層管)</p> <p>4) ステンレス鋼管を使用する場合は下記の水質の確認を行う。 電気伝導率、Mアルカリ度、カルシウムイオン、マグネシウムイオン、 全硬度、重炭酸イオン、遊離炭酸、塩素イオン、硫酸イオン、シリカ、 蒸発残留物</p> <p>1) 公営水道に直結する配管に使用するものの耐圧は、10Kとする。 2) 受水タンク以降の配管に使用するものの耐圧は、5Kとする。</p> <p>3) 給水引込部の (・ 止水栓 ・ 弁機) は水道事業者指定品とする。</p> <p>1) 親メーター 借用 ・ 買取り (・ 直読 ・ 遠隔表示) 2) 子メーター 買取り ・ 借用 (・ 直読 ・ 遠隔表示)</p> <p>現地表示式 (直読式) の表示機構は 遠近アナログ式 ・ 乾式デジタル式 遠隔表示式は (バルス式 ・ 電式) 発信器を備える。</p> <p>1) 親メーター用 水道事業者の指定品 ・ 標準図 (機材57)</p> <p>2) 子メーター用 標準図 (機材57) ・ 水道事業者の指定品 ・ 標準仕様書による ・ 水道事業者指定品 ・ 定流量弁を定水位調整弁の手に設置する。</p> <p>遮断弁の駆動方式は (電気式 ・ 機械式) とする。 合成樹脂製 ・ ステンレス製</p> <p>寸法 約70mm角全長約1300mm ・ 図示による 寸法 全長約1300mm ・ 図示による</p> <p>1) 屋外の水栓は ・ キー式ハンドル 2) 台所流し用の水栓は泡沫式とする。 給水栓用配管の接続口を (設ける ・ 設けない) もとする。 2 機式の場合は、連通管を設けるものとする。</p> <p>別途工事 ・ 本工事</p> <p>弁ボックス、散水栓ボックス等はコンクリート巻き仕上げとする。(但し舗装等の仕上げ部分は除く。) (施工の際は鉄筋又は、金網で補強を入れること。)</p>	<p>冷媒の回収方法について</p> <p>冷媒の回収方法は次による。回収費・処分費は (本工事 ・ 別途工事) とする。 (1) フロン類の使用の合理化及び管理の適正化に関する法律 (フロン排出抑制法) に従って行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 第1種フロン類充填回収業者の登録通知書 (都道府県知事登録) の写し ② 事前確認書の写し ③ 回収依頼書の写し ④ 引取証明書 ⑤ 破壊証明書 の写し (2) ルームエアコン等で、「特定家庭用機器再商品化法 (家電リサイクル法)」の対象となっているものは、同法に従ってリサイクル「冷媒の回収は原則としてポンプダウンによる。」を行い、監督職員に次の書類を提出する。 ① 特定家庭用機器廃棄物管理票 (家電リサイクル券) の写し</p>	<p>フランジ外周部に飛散抑制剤の塗布又はビニルテープ貼り等</p> <p>石綿含有ガスケット</p> <p>ダクト切断部</p> <p>機器切断部</p> <p>配管切断箇所 成形保温材に飛散抑制剤の塗布 成形保温材前後の保温材撤去 配管切断箇所</p> <p>100 100 100 100</p> <p>100</p> <p>ダクト・たわみ継手フランジ部撤去要領図 S = NS</p> <p>成形保温材付き配管撤去要領図 S = NS</p>	<p>建築物解体工事 (機械設備の部)</p> <p>工 事 概 要 (解体工事の部)</p> <p>1. 工 事 内 容 (解体工事の部)</p> <p>1) 特記仕様書 (機械設備の部) 2. 建物概要に記載された取り壊し建物等の撤去を行う。</p> <p>2) 上記撤去範囲部分は、地中埋設部分を含めて全て撤去する。 アスファルト舗装及びコンクリート舗装の路盤撤去、埋め戻し・整地は別途建築工事とする。</p> <p>3) 本工事による撤去機器、配管及び樹類は、場内の指定場所に集積する。(図面は参考とする)</p> <p>(1) 建物については、 重機作業に影響のある以下の機器を、建築工事の重機作業に先行して撤去する。 図示された機器のうち、太線またはハッチング等により明示されたもの。 (コンクリート基礎の撤去は建築に含む)。 人体及び地球環境に影響を及ぼす冷媒等の回収・破壊処理を行う。 フロンガスは「冷媒の回収方法について」による。 熱源の残油はタンク及び配管内を含み回収し、適切に処理するものとし、 (本工事 ・ 別途工事) とする。</p> <p>(2) その他の機器及び配管・樹類については、処理に関する記載のない事項は、全て重機による取り壊しとする。</p> <p>(3) 屋外埋設機器及び配管・樹類については全て撤去する。 図示された樹類のうち、量水器樹、弁機、散水栓BOX、ため樹、インパート樹は、 建築工事の重機作業の後に機械設備にて撤去する。 配管およびプラスチック樹は建築工事の重機作業に含む。</p> <p>(4) 給水、排水、ガス設備については指定工事店により、閉栓工事を行う。</p> <p>4) 撤去する配管、ダクト (付属品含む) の保温材の分離は原則として中間処理上で行う。 5) 浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒を施工した後、撤去する。 (浄化槽内の汚泥汲取、清掃、消毒は施設管理者側で実施し本工事では実施しない)</p> <p>工 事 仕 様 (解体工事の部)</p> <p>1. 特記仕様及び図面に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁管理課の「建築物解体工事共通仕様書 (令和4年版)」(以下、「解体共通仕様書」という。)により、解体共通仕様書に記載されていない事項は、特記仕様書 (機械設備工事の部) による。</p>																								
<p>排 水 設 備</p>	<p>1. 配管材料 重複して適用の場合の使用区分は図示による</p> <p>1) 屋内汚水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p> <p>① 耐火2層管</p> <p>2) 屋内雑排水管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p> <p>① 耐火2層管</p> <p>3) 通気管 ・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p>	<p>1) 屋内汚水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p> <p>① 耐火2層管</p> <p>2) 屋内雑排水管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p> <p>① 耐火2層管</p> <p>3) 通気管</p> <p>・ 硬質ポリ塩化ビニル管 (V P)</p> <p>・ 建築用耐火性硬質ポリ塩化ビニル管 (F S - V P)</p>	<p>上下中学校トイレ改修工事</p> <p>特記仕様書 (工種別事項)</p> <p>M</p> <p>02</p>																												



府中市立上下中学校
府中市上下町上下915

付近見取図

配置図 1/400

府中市建設部 都市デザイン課	作成年月日 R06.09	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員	訂正	特記	工事名	上下中学校トイレ改修工事	図面内容・縮尺	配置図・付近見取図	M-03
													A1-100%, A2-71%		機械		

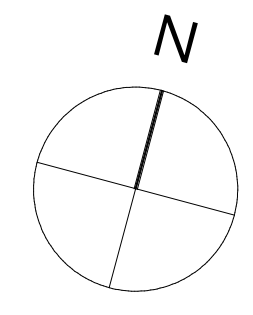
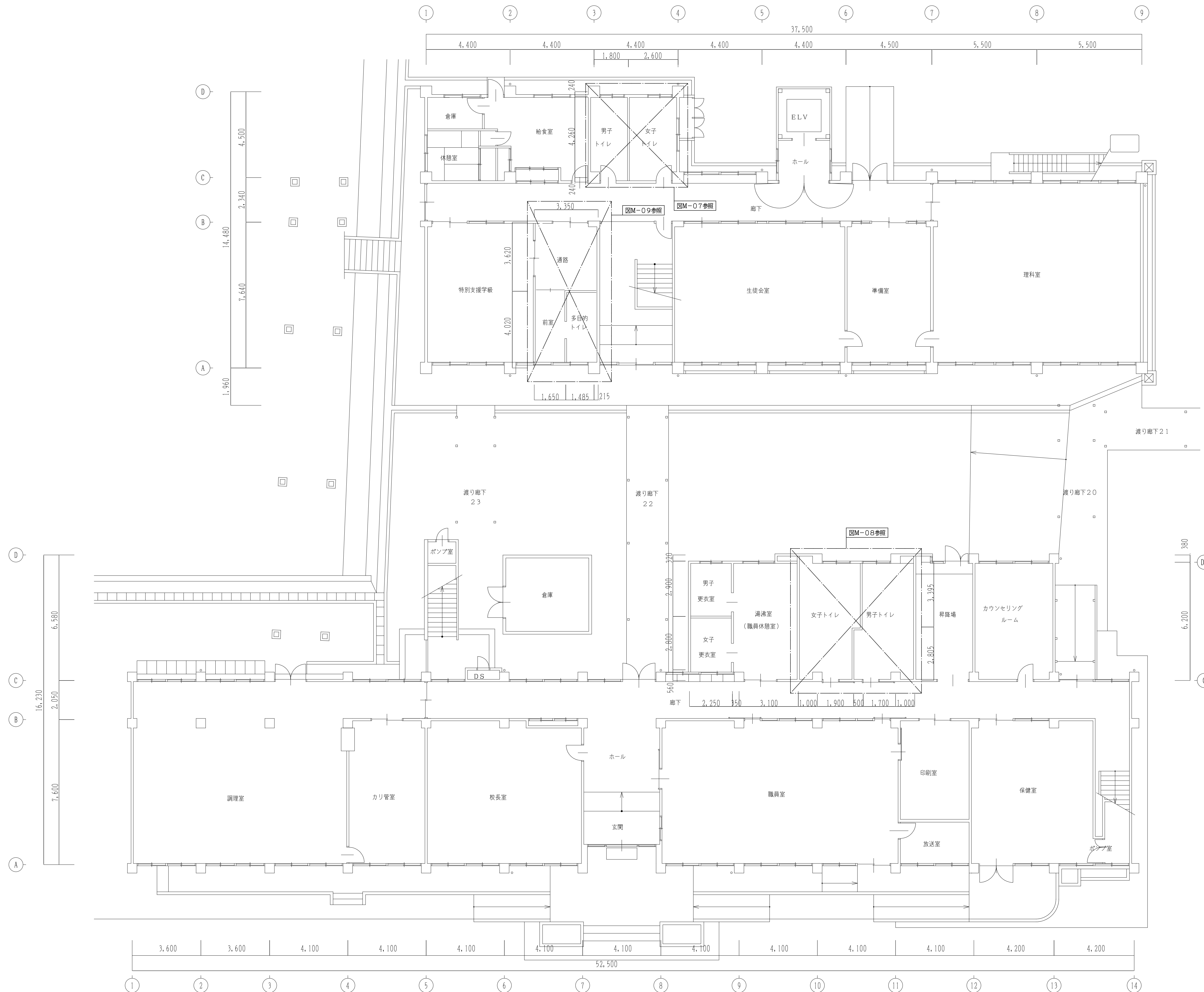
器具名	TOTO品番 (参考)	仕様	合計	北校舎				南校舎				
				1階		2階		1階		2階		
				男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ
洋風便器	CFS498BM TCF5534	フラッシュタンク 床置床排水、床給水（止水栓共） 温水洗浄便座（貯湯式） AC100V	2							1	1	
洋風便器	CFS498BM TCF116	フラッシュタンク 床置床排水、床給水（止水栓共） 暖房便座（貯湯式） AC100V	7			1	2			1	3	
洋風便器	CFS498BM TCF5534	フラッシュタンク 床置床排水、床給水（止水栓共） 温水洗浄便座（貯湯式） AC100V	6					2	4			
洋風便器	CFS498BM TCF116	フラッシュタンク 床置床排水、床給水（止水栓共） 暖房便座（貯湯式） AC100V	4	1	3							
洋風便器	CFS498BM TCF116	フラッシュタンク 床置床排水（リモデルタイプ）、床給水（止水栓共） 暖房便座（貯湯式） AC100V	1			1						
洋風便器	CS5978MCS SH596BAR TCF5534AEP	ロータンク式 便器掃除口付 床置床排水、壁給水（止水栓共） 便器洗浄リモコン（センサー式） 温水洗浄便座（貯湯式） AC100V	1		1							
紙巻器	YH191R	棚付ステンレス製、スベア1個タイプ	21	1	3	1	1	3	2	4	2	4
小便器	UFH500	壁掛壁排水型、手動FV（連結管共）	10	3		3					4	
小便器	UFH500	壁掛壁排水型、自動FV（連結管共） AC100V	4					4				
自動水栓	LLE28SS1W	カウンター式洗面台対応型 単水栓 AC100V	5					2	3			
洗面器	L250CM LLE28SS1A	自動水栓、排水金物共 AC100V	1		1							
手すり	T112HK7R	踏ね上げ式、樹脂製 ※建築工事	(3)		(1)					(1)	(1)	
手すり	T112CL9	L形式、樹脂製 ※建築工事	(3)		(1)					(1)	(1)	

器具名	仕様	合計	北校舎				南校舎				
			1階		2階		1階		2階		
			男子 トイレ	女子 トイレ	多 目的 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ	男子 トイレ	女子 トイレ
洋風便器	手動FV 床置床排水、床給水（止水栓共） 普通便座	7	1		1	1		1	1	1	1
和風便器	手動FV 床給水	14	1	2		2		1	3	1	4
洋風便器	ロータンク式 床置床排水、床給水（止水栓共） 温水便座	1			1						
紙巻器	ステンレス製 縦型スベア収納形	21	1	3		1	3	2	4	2	5
紙巻器	樹脂製 シングル	1			1						
小便器	床置壁排水型、手動FV	14	3			3		4		4	
単水栓	カウンター式洗面台対応型	5						2	3		
身障者用洗面器	単水栓、排水金物共	1			1						
手すり	I形式、樹脂製 ※建築工事	(5)				(1)	(1)	(1)		(1)	(1)
手すり	L形式、樹脂製 ※建築工事	(1)							(1)		

記号	名称	仕様
— — — —	給水管	水道用硬質ポリ塩化ビニル管（H1VP） JIS K 6742
	汚水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741
	雑排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741
— — — —	通気管	硬質ポリ塩化ビニル管（VP） JIS K 6741
— — — —	屋外排水管	硬質ポリ塩化ビニル管（VU） JIS K 6741
— — —	給湯管	保温付被覆銅管（硬質M型） JCDA 0008
— G — —	ガス管	配管用炭素鋼管（SGP-白） JIS G 3452
		穴あけ補修を示す。（ダイヤモンドカッターによる）

注）・建築設備の耐震対策は、建築設備耐震設計施工指針による。
・配管が防火区画貫通する場合の処置は、令129条の2の5及び告示第1422号による。
・水栓の開口部に凍じた水の逆流防止のための措置（水栓とあふれ面の吐水口空間を確保する、逆止弁を設置する等）
・本工において洋便化の工事のみメーカーの該当フロアによる施工によるものとする。（参考 TOTO：和洋リモデル工法、給水配管は各所による）
・北校舎1階（多目的トイレを除く）、南校舎1階については既設給水配管は残置（必要に応じて化粧プラグ取付）の上天井内にて配管新設する。
各2階については建築工事により1階の天井を取外し復旧とし、部分的に給水配管を撤去新設とする。また配管工事に伴うコア空けは本工事とする。
不要となったアンカー穴等はコーキングによる補修を行うこと。不要となった給水立ち上がり部は床面合わせの穴埋め補修を行うこと。

府中市建設部 都市デザイン課	作成年月日 R06.09	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	訂正	特記	工事名 上下中学校トイレ改修工事	図面内容・縮尺 衛生設備 改修前後 器具表・管種凡例	区分 機械	M-04



1階平面図 S=1/100

府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

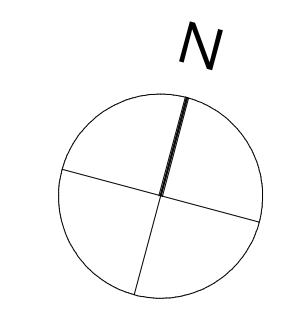
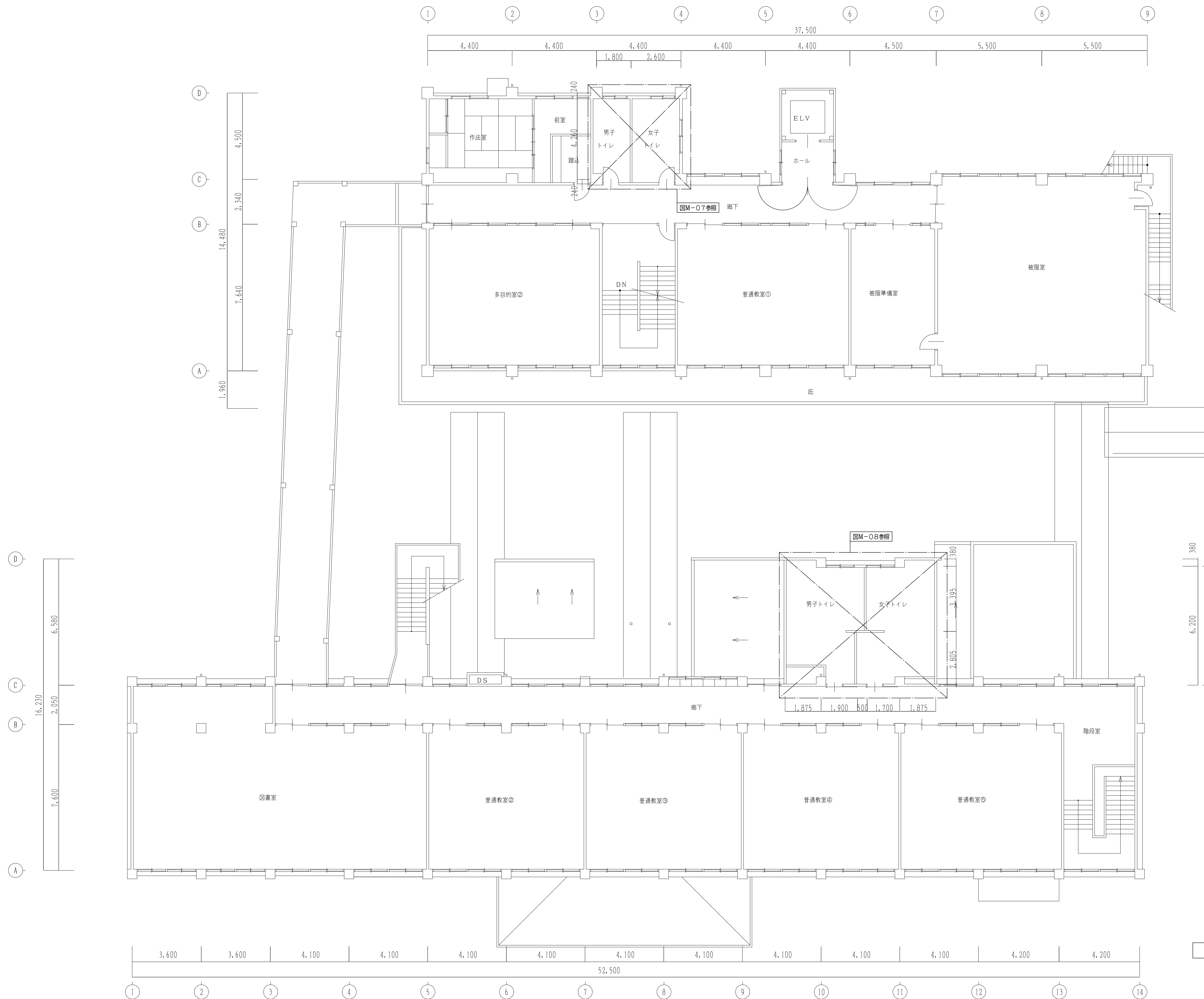
課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員

訂正							

特記							

工事名 上下中学校トイレ改修工事
図面内容・縮尺 衛生設備 1階平面図 S=1/100
A1-100%, A2-71%

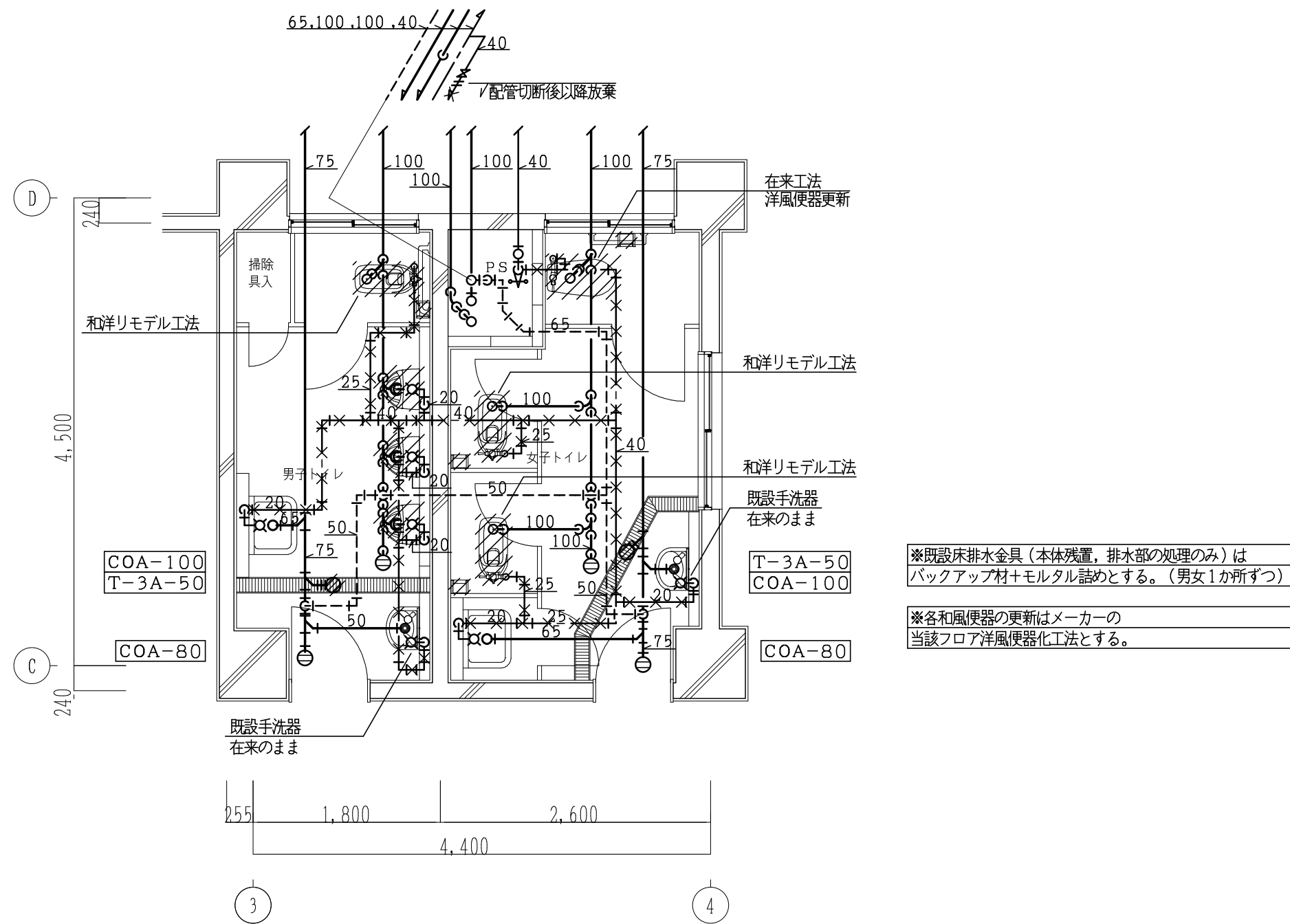
図番 M-05
区分 機械



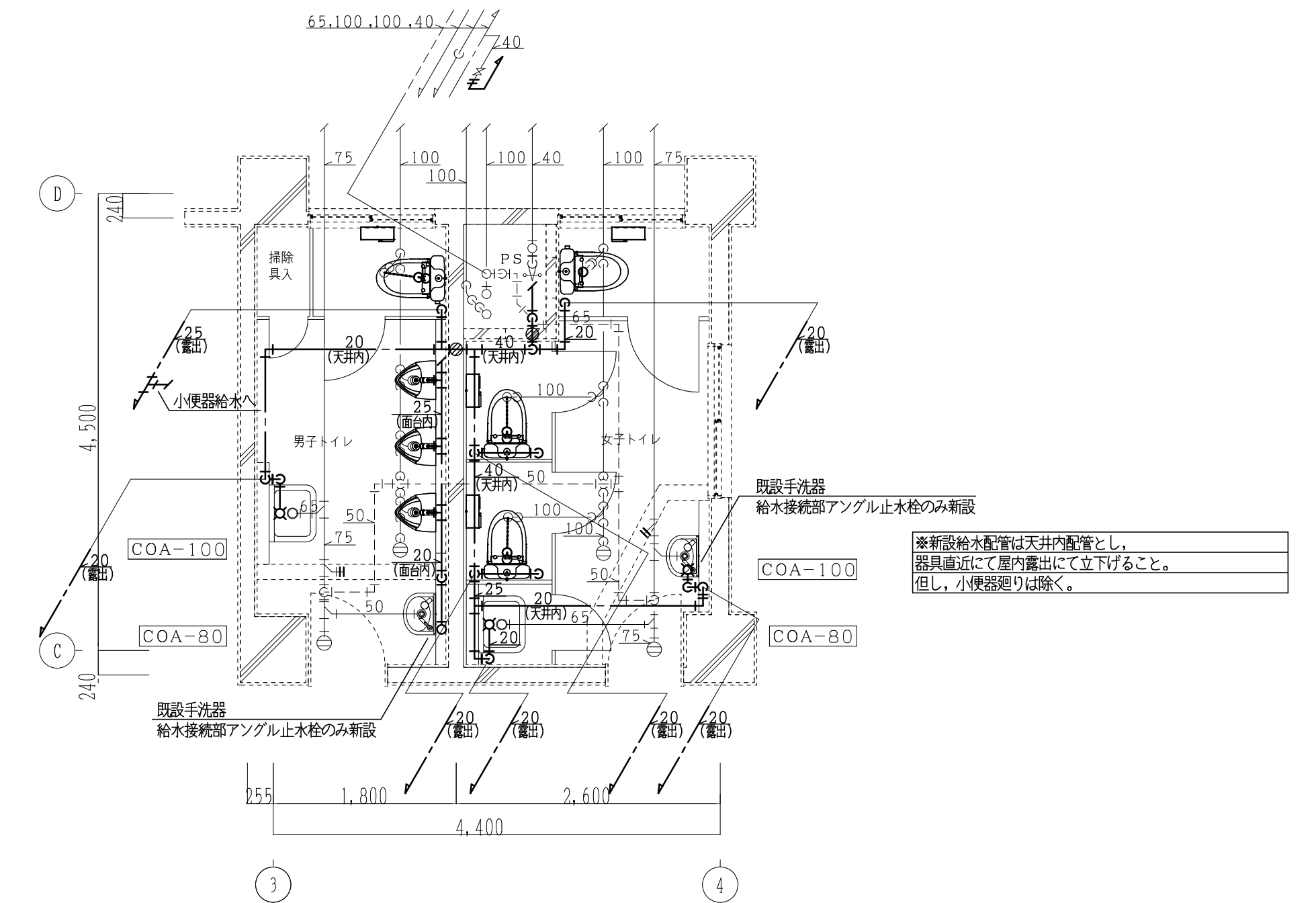
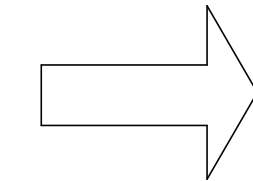
2階平面図 S=1/100

府中市建設部 都市デザイン課	作成年月日 R06.09	都市デザイン課	課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員	訂正	特記	工事名	上下中学校トイレ改修工事	図面内容・縮尺	衛生設備 2階平面図 S=1/100	図面区分	M-06
			課長	係長	課員	課員	課長	係長	課員	課員			機械					

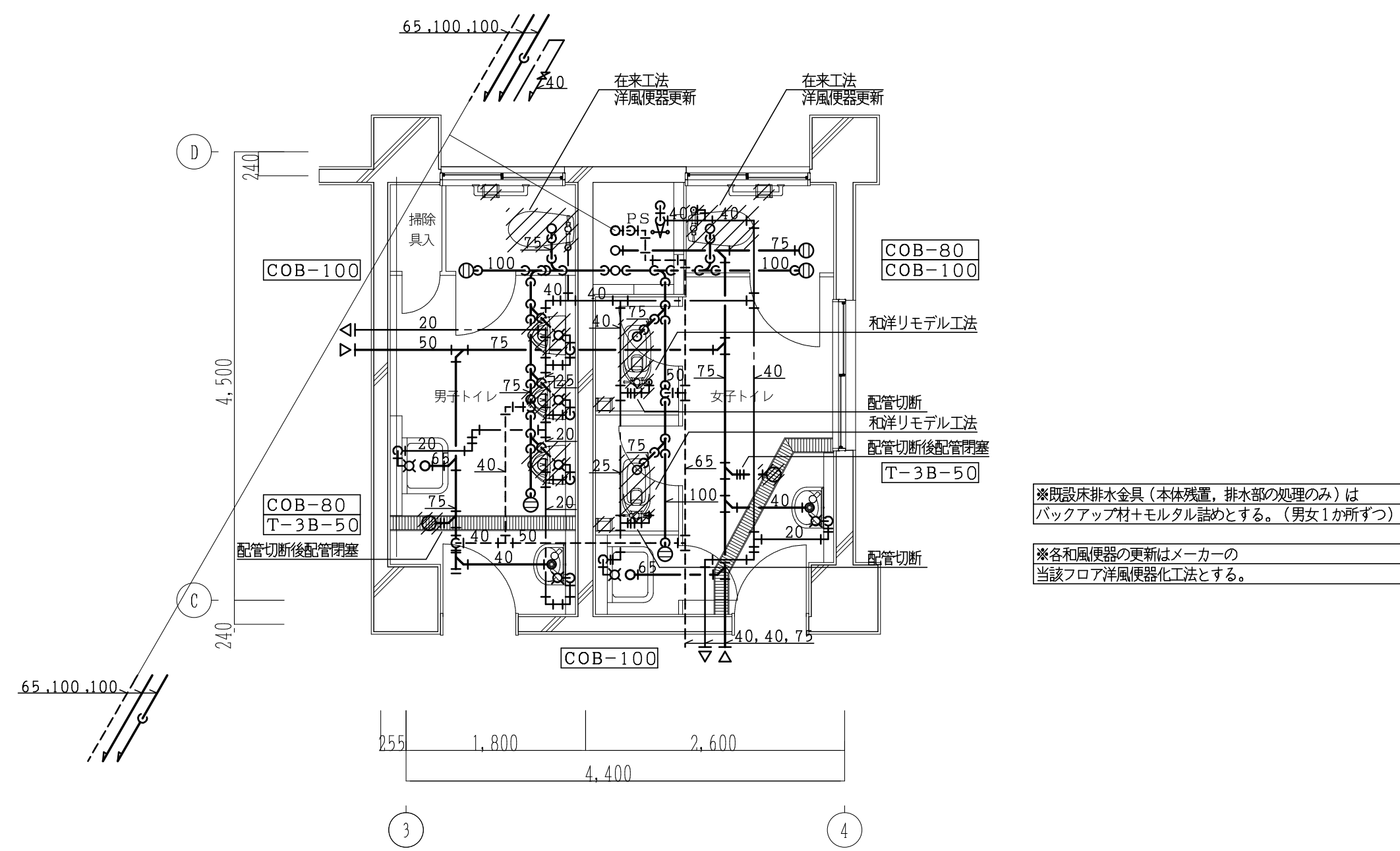
A1-100%, A2-71%



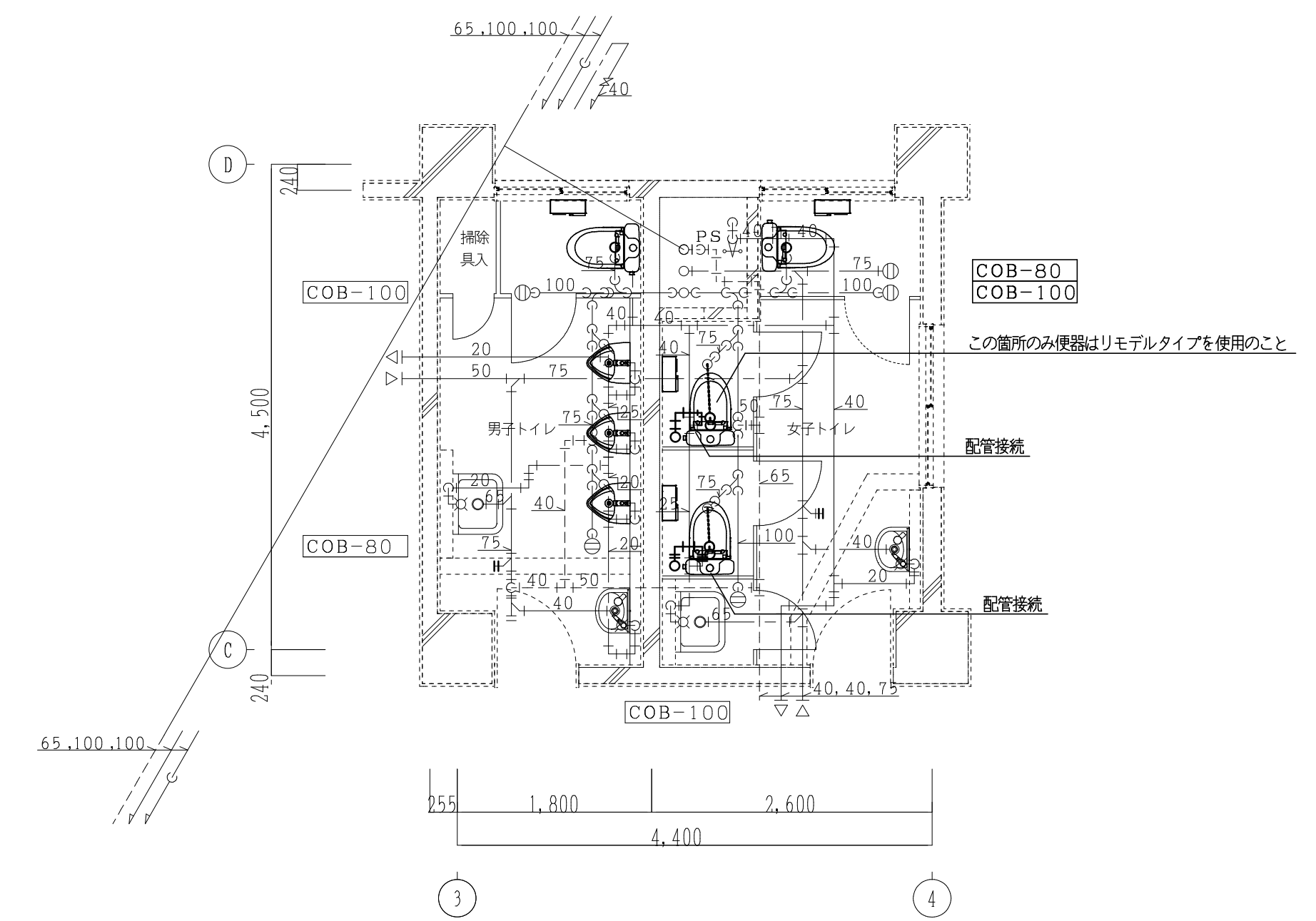
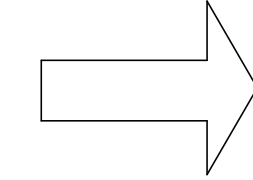
改修前 北校舎1階トイレ 平面詳細図 S=1/50



改修後 北校舎1階トイレ 平面詳細図 S=1/50



改修前 北校舎2階トイレ 平面詳細図 S=1/50



改修後 北校舎2階トイレ 平面詳細図 S=1/50

府中市建設部
都市デザイン課

作成年月日
R06.09

課長	係長	課員	課員	課員	課長	係長	課員	課員
----	----	----	----	----	----	----	----	----

訂正	特記
----	----

工事名 上下中学校トイレ改修工事
改修前後 北校舎1, 2階トイレ平面詳細図 S=1/50

図面番号 M-07
区分 機械

